

学校法人 同志社  
事業報告書  
2021



未来を切り拓く原動力

One purpose, Doshisha, thy name  
Doth signify one lofty aim;  
To train thy sons in heart and hand  
To live for God and Native Land.  
Dear Alma Mater, sons of thine  
Shall be as branches to the vine;  
Tho' through the world we wander far and wide,  
Still in our hearts thy precepts shall abide!



## 学校法人 同志社 事業報告書2021 発行にあたって

官許同志社英学校として1875年に始まった同志社は、創立以来、多くの困難を乗り越えて教育・研究活動を続け、現在では約4万1500名の学生・生徒・児童・園児が学ぶ「一大総合学園」に成長し、日々刻々と進化を続けています。これもひとえに、ご父母等や卒業生をはじめ、地域や行政機関、企業、一般市民の方々からの温かいご支援・ご指導があったからこそと、感謝しております。

2021年度は新型コロナウイルスワクチン職域接種を実施し、法人内学校の安心・安全な教育環境の確保に努めてまいりました。また、2025年の学校法人同志社創立150周年に向けて様々な事業を展開するために創立150周年記念事業事務局を設置し、創立150周年に向けた様々な事業をスタートすることができました。

引き続き法人としての主体的な広報活動にも注力しながら、同志社のブランド力をより一層高め、未来に向かってさらなる歩みを進めていく所存です。

2020年から続く新型コロナウイルスの感染拡大は、生活様式から働き方、学び方まで、世界の日常を一変させました。同志社においても、臨時休校や授業開始時刻の変更、オンライン授業への移行など、感染拡大防止に向けたさまざまな対策・措置を講じてまいりました。いまだ感染収束が見通せない状況が続いていますが、これまでの経験を生かし、各学校が持てる力を最大限に発揮できるよう、引き続き法人としてポストコロナを見据えた環境整備に努めてまいります。また、家計支持者の収入減や学生本人のアルバイト収入の減少等で修学の継続が困難な学生・生徒・児童・園児への支援措置も続けてまいります。

学校法人同志社は、今後も教育・研究に関する様々な改革を推し進め、健全な学校法人運営を維持するため、すべてのステークホルダーの皆様に対して、情報公開を徹底してまいります。

本報告書によって、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが、より一層促進されることを心より願っております。

2022年5月28日  
学校法人 同志社

本報告書の対象範囲  
同志社法人部、ならびに大学から幼稚園までの各校。  
数値・金額にはそれぞれ対象範囲を付記しています。

本報告書の対象期間  
2021年4月1日～2022年3月31日  
(一部、上記期間以前または以後の状況についても記載しています)

## CONTENTS

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 八田 英二 総長・理事長からのメッセージ             | 03 |
| 良心教育の徹底と一貫教育体制の強化により、<br>未来を切り拓く |    |
| 法人の概要                            | 05 |
| 法人の取り組み                          | 07 |
| グラフで見る同志社                        | 09 |
| 事業の概要                            |    |
| 同志社大学                            | 11 |
| 同志社女子大学                          | 15 |
| 同志社中学校・高等学校                      | 17 |
| 同志社香里中学校・高等学校                    | 18 |
| 同志社女子中学校・高等学校                    | 19 |
| 同志社国際中学校・高等学校                    | 20 |
| 同志社小学校                           | 21 |
| 同志社国際学院                          | 22 |
| 同志社幼稚園                           | 23 |
| 沿革                               | 24 |
| 財務の概要                            |    |
| 2021年度決算の概況                      | 25 |
| 資金収支計算書                          | 26 |
| 事業活動収支計算書                        | 29 |
| 貸借対照表                            | 31 |
| 財務比率                             | 33 |
| 学校別の状況                           | 34 |
| 中期財政目標および中期財政計画                  | 35 |
| 2022年度事業計画                       | 36 |

学校法人 同志社  
事業報告書2021

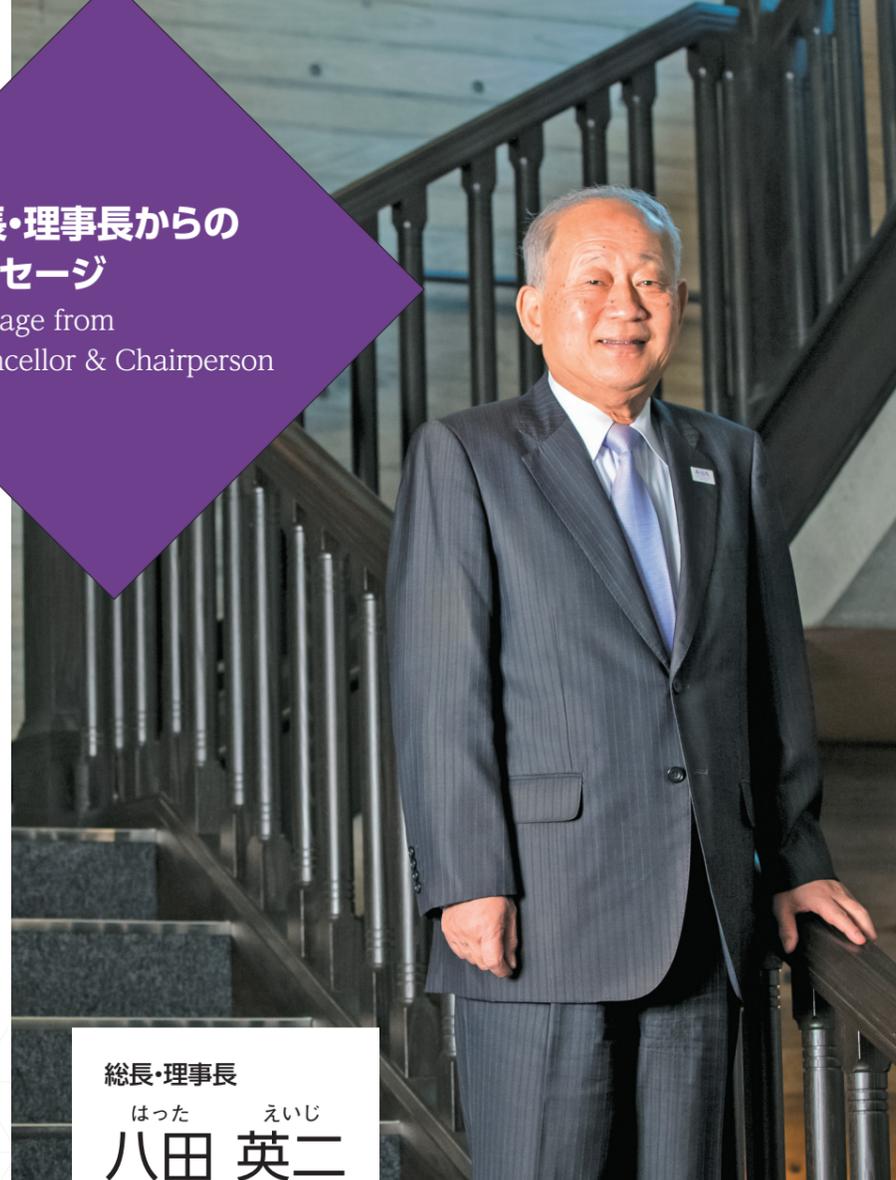
2022年5月28日発行  
発行:学校法人 同志社  
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
URL <http://www.doshisha.ed.jp/>

無断転載を禁止します。  
All Rights Reserved.  
Printed in Japan ©The Doshisha  
The Doshisha Social Responsibility Report 2021

お問い合わせは  
学校法人同志社 法人部法人事務部法人事務室  
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
TEL 075-251-3006  
FAX 075-251-4980  
E-MAIL [ji-hojin@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-hojin@mail.doshisha.ac.jp)

## 総長・理事長からの メッセージ

Message from  
Chancellor & Chairperson



総長・理事長  
はった えいじ  
八田 英二

# 良心教育の徹底と 一貫教育体制の強化により、 未来を切り拓く

## 教職員の一致協力のもと 苦境の克服に尽力

1875年に同志社英学校を創立し、キリスト教を徳育の基本とする人物養成を追い求めた新島襄の篤い思いを受け継ぎ、バトンを渡されたかつての教職員は良心教育を強力に展開しました。1912年の大学設立により新島襄の夢は漸く日の目を見ることになりましたが、その後も同志社の行く手には、幾多の困難が待ち受けていました。しかし志を同じくする教職員の一致協力のもと、幾多の苦境を克服してきたのです。そして2021年11月、同志社は、創立146周年を迎えることができました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、まさに今、直面している苦境の一つです。昨年の春以来、内外社会は大きな影響を受け、同志社教育も例外ではありませんでした。コロナ感染が日常となった現在は、オンライン授業の教育効果面での有効性が認識されているとも聞いて

おり、教育現場に新たな発想での対策が求められています。法人としても、教職員の負担を軽減できるよう対処していく予定です。

2020年6月には、家計が困窮し、学費支弁が困難となった学生・生徒・児童に救済の手を差し伸べることを目的とし、在学生支援募金を開始しました。多くの方々



から寄せられた善意の募金を基に、学生・生徒・児童に対して奨学金の授与を行っており、給付生からは多数の礼状を受け取っています。この支援募金事業は、2026年3月まで継続する予定です。

また2021年7月から9月にかけて、感染拡大防止のため、職域接種を実施しました。初めての経験であり、ワクチン接種に関わった教職員には戸惑いもあったかと思いますが、予定通りの進行となりました。

まだまだ予断を許さない状況が続いています。今後も細心の注意を払い、速やかな対策を講じていく所存です。

## 同志社の強みを活かした 差別化戦略の推進を目指す

このコロナ禍を乗り切れたとしても、私学を取り巻く環境がすべて好転するわけではありません。少子化は加速する一方です。そして、衝撃的な数値が公表されました。私立大学の定員充足率(入学定員全体に占める入学者の割合)が初めて100%を切り、99.8%となりました。大学全入時代の到来です。

良心教育を標榜する本学は、厳しい環境に直面しても、確固たる将来展望を示し、教育活動を維持しなければなりません。そのために毎年度、中期計画を策定・公表していますが、この策定にSWOT分析を取り入れることも一案と考えています。SWOT分析は、経営状況が厳しいと認められる学校法人が、文部科学省に提出する経営改善計画の策定において推奨されているものであり、今後の成長を模索する私学にとっても貴重な分析ツールとなるはずで

SWOT分析の特徴は、自己の強み(Strength)、弱み(Weakness)といった内部環境と、機会(Opportunity)、脅威(Threat)といった外部環境を見極め、各局面に対応した戦略を打ち出すフレームワークにあります。内部環境は自己のコントロール下にある要因で、大学が持つ資源(人材、施設設備、資金、情報、ネットワーク)や特徴などのうち、目標達成に貢献するものが強み、妨げとなるものが弱みとなります。外部環境は自己のコントロール外にある要因で、市場規模や成長性、競合の度合い、景気や経済状況、政治状況、法律などのうち、成長に貢献するものが機会、妨げとなるものが脅威となります。

私学を含む教育機関にとって最大の脅威は、前述の少子化でしょう。家計の教育費負担増も外せません。逆に、本学にとって絶好の機会、「大学のまち」「学生のまち」である京都という立地です。

内部環境に目を向けると、強みは新島襄が理想とした

キリスト教主義精神に立脚した良心教育です。各界で活躍する卒業生・同窓の存在はもちろん、幼児教育から高等教育までをそろえた一貫教育体制を堅持していることも大きいと考えます。

このように脅威に直面していても強みがあるという局面においては、差別化戦略が、SWOT戦略の示唆するところ。つまり今こそ、各校による良心教育の徹底・拡充や、幼少、小中、中高、高大などの学校間協力と連携強化を図るべき時であるということです。今後は、2019年4月に発足した「同志社一貫教育探求センター」を拠点とし、建学の精神に立脚した一貫教育体制のさらなる整備、良心教育の啓蒙活動、教職員の意識向上や研鑽、学校間協調などの取り組みを推し進めていく決意です。

## 未来創造プロジェクトによる 創立150周年記念事業が始動

2025年、同志社は創立150周年の節目を迎えます。すでに創立150周年記念事業委員会が立ち上がり、『同志社150年史』の編纂については、各巻の完成に向けての作業が本格化しています。

記念事業委員会のもとに設置された未来創造プロジェクトのもと、記念事業の企画・実施も進めています。その第1弾として、150周年記念ロゴマークが完成しました。同志社幼稚園から大学までの14の学校が互いに建学の精神のもとに連携する姿を表現した、まさに同志社がめざす未来を象徴するデザインとなっています。

未来創造プロジェクトは、各学校の有志の教職員により構成されていますが、そのメンバー間の交流は、同志社人としての思いを語り合い、同志社への理解を深める場ともなっています。記念事業を通じて14の学校の連携をより深めることにより、同志社のさらなる飛躍の原動力としたいと考えています。

2022年度も、様々な記念事業を展開する予定です。同志社に繋がる多くの関係者、同志社を取り巻く地域社会、国内外のコミュニティ全般をも対象とし、同志社の真価を広く強く発信する好機と捉え取り組む所存です。また記念事業の実施により、同志社に関心を持つ方だけでなく、同志社の未来建設に主体的に寄与する理解者をひとりでも多く得たいと願っています。



2021年竣工  
教遠館にて撮影

# 法人の概要

## 教育理念

同志社は、1875(明治8)年、新島襄によって創立された、わが国有数のキリスト教主義の学園です。創立当時の生徒はわずか8名でしたが、2022年5月現在では、同志社大学、同志社女子大学のほか、4つの高等学校、4つの中学校、小学校、国際学院、幼稚園を含む総合学園となり、学生・生徒・児童・園児は約4万1500名、教職員は約1800名となっています。また30万名を超える卒業生は、経済・政治・宗教・教育・社会事業など多方面で社会のために活躍しています。

新島は同志社の教育目的を1888(明治21)年、全国に発表した「同志社大学設立の旨意」の中で次のように述べています。

「(同志社設立の)目的とする所は、独り普通の英学を教授するのみならず(中略)、其精神を正大ならしめんことを勉め、独り技芸才能ある人物を教育するに止まらず、所謂の良心を手腕に運用するの人物を出さん事を勉めたりき」(\*)

新島は、知育、体育だけでなく徳育を含めた「知・徳・体」の調和ある教育の実践を理想としていました。教育を通して学生・生徒が、型にはまらず独立心と才能あふれる<sup>てきとうふき</sup>個儻不羈なる人物として、「自治自立の人民」「一国の良心」となることを究極の目的としました。

同志社では新島の建学の精神を受け継ぎ、キリスト教主義、自由主義、国際主義を教育の重要な柱としています。また、学生・生徒の個性や自発性を尊重し、全人教育を通して広い視野から現状分析と将来展望を持って行動することのできる人間、自らの良心に従って生きる人間、新島の言う「自治自立の人民」の育成を目指します。グローバル化が進む21世紀では、ますます新島の建学の精神が、そして同志社教育が重要性を増すことでしょう。

(\*)「同志社大学設立の旨意」『新島襄全集』より

## 法人内各学校

- 監事
- 理事会
- 評議員会

|   |   |
|---|---|
|   | <p><b>同志社大学</b> Doshisha University</p> <p>学 部……………神学部／文学部／社会学部／法学部／経済学部／商学部／政策学部／文化情報学部／理工学部／生命医科学部／スポーツ健康科学部／心理学部／グローバル・コミュニケーション学部／グローバル地域文化学部</p> <p>大学院……………神学研究科／文学研究科／社会学研究科／法学研究科／経済学研究科／商学研究科／総合政策科学研究科／文化情報学研究科／理工学研究科／生命医科学部研究科／スポーツ健康科学研究科／心理学研究科／グローバル・スタディーズ研究科／脳科学研究科／ビジネス研究科(修士課程)</p> <p>専門職大学院……………司法研究科(法科大学院)／ビジネス研究科(ビジネススクール)</p> |
|  | <p><b>同志社女子大学</b> Doshisha Women's College of Liberal Arts</p> <p>学 部……………学芸学部／現代社会学部／薬学部／看護学部／表象文化学部／生活科学部</p> <p>専攻科……………音楽専攻科</p> <p>大学院……………文学研究科／国際社会システム研究科／薬学研究科／看護学研究科／生活科学研究科</p>  |
|  | <p><b>同志社中学校・高等学校</b> Doshisha Junior and Senior High School</p>  |
|  | <p><b>同志社香里中学校・高等学校</b> Doshisha Kori Junior and Senior High School</p>   |
|  | <p><b>同志社女子中学校・高等学校</b> Doshisha Girls' Junior and Senior High School</p>   |
|  | <p><b>同志社国際中学校・高等学校</b> Doshisha International Junior and Senior High School</p>  |
|  | <p><b>同志社小学校</b> Doshisha Elementary School</p>   |
|  | <p><b>同志社国際学院初等部・国際部</b><br/>Doshisha International Academy Elementary School and International School</p>  |
|  | <p><b>同志社幼稚園</b> Doshisha Kindergarten</p>  |

(2022年4月現在)

## 理事・監事・評議員

### 理事

- 【総長・理事長】 八田 英二
- 【大学長】 植木 朝子
- 【女子大学長】 小崎 眞
- 【学校長等互選】 菊田 千春 瀧 英次
- 【評議員互選】 新 茂之 川満 直樹 木原 活信 三好 三恵子\*  
中村 友二\* 西山 啓一 山川 寛之\*
- 【学識経験者】 井上 礼之\* 田端 信廣\* 吉岡 康博

\*学外者である理事

### 監事

- 大井 成夫 山下 泰生 百合野 正博

### 評議員

- 【議長】 宿久 洋
- 【教職員互選】 新 茂之 二村 太郎 加藤 憲 勝本 勲  
川満 直樹 木原 活信 小崎 眞 藏野 慎介  
西野 哲史 沼田 和也 阪口 昌 坂下 淳一  
徳永 秀也 土屋 隆生 宿久 洋
- 【校友会選定】 船越 照平 長谷川 正治 井上 幸男 児玉 正之  
小嶋 淳司 宮本 利亮 中村 友二 小栗 成男  
大日 常男 豊原 洋治 山川 寛之
- 【同窓会選定】 加賀 由起子 三好 三恵子 志垣 のぞみ 余田 由香利
- 【理事会選定】 北尾 哲郎 真部 真里子 宮庄 哲夫 西山 啓一  
田端 信廣 高田 啓史 吉田 進

(2022年4月1日現在)

## 責任限定契約、役員賠償責任保険について

### 責任限定契約

私立学校法に従い、2020年4月1日から責任限定契約を締結しています。

1. 対象役員の氏名(2020年8月4日現在の役員)

非業務執行理事(井上 礼之、三好 三恵子、中村 友二、山川 寛之)、監事(大井 成夫、山下 泰生、百合野 正博)

2. 契約内容の概要

理事又は監事が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金10万円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事等と締結する。

### 役員賠償責任保険制度への加入

私立学校法に従い、理事会決議により2020年4月1日から会社役員賠償責任保険に加入しています。

1. 契約者

学校法人同志社

2. 被保険者

個人被保険者 … 理事・監事等

3. 補償内容

- (1) 役員(個人被保険者)に関する補償

法律上の損害賠償金、争訟費用等

- (2) 記名法人に関する補償

法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用等

4. 支払い対象とならない主な場合

法律違反に起因する対象事由等

5. 保険期間中総支払限度額

5億円

## 新型コロナウイルスワクチン職域接種

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために職域接種を実施しました。今出川校地では7月1日から、京田辺校地では7月8日から学生、教職員、家族、嘱託講師等を対象に第1回目接種を開始しました。第1回目接種の直後にはワクチン供給が計画通りに捗らず、関係者には戸惑いもありましたが、その後、供給は軌道に乗り、接種は予定通りの進行となりました。第2回目接種も9月27日の今出川校地での接種をもって無事に終了しました。

接種対象予定者は約37,500名で、接種完了者は約15,800名、接種率は42%となりました。

さらに外部の民間企業や組織の方々にもワクチン接種の機会を提供し、地域の公私立大学、民間企業から3,000名を超える方々が本学でワクチン接種を済まされました。良好な教育環境を守るとともに地域貢献という点で極めて意義のあった事業と考えています。なお、第3回目接種について2022年3月23日より実施しています。



## 学校法人同志社における「私立大学版ガバナンス・コード」採用について

学校法人同志社では、本学が加盟する日本私立大学連盟が定める「私立大学ガバナンス・コード」を採用し、本学の諸活動について強固なガバナンス体制を構築するとともに、本学の経営状況や意思決定の仕組み等について、透明性を確保し、学生、保護者、卒業生、産業界、地域社会等のステークホルダーに説明責任を果たしてまいります。

また、「私立大学ガバナンス・コード」に基づく本学の遵守状況は学校法人同志社ホームページにて公開しています。(2022年3月26日現在)

なお、全ての項目について、「comply or explain」(実施するか、しないか。しない場合は説明する。)で表示しています。

私大連 私立大学  
ガバナンス・コード



本学の遵守状況  
(2022.3.26)



## 同志社創立150周年記念募金

同志社は2025年に創立150周年の節目を迎えます。これを記念し様々な事業を展開することを決定しました。

創立150周年事業は次の三つの大きな意義を持ちます。

- ①150年にわたって積み重ねられてきた歴史を正確に把握し、後世に伝えること。
- ②建学の精神、教育の理念を念頭に、同志社教育の現況を過去に照らし合わせ検証すること。
- ③かつて勝海舟に問われた新島が「同志社教育の理想の実現には200年の歳月が必要」と答えているように、同志社教育理想の実現とされる創立200周年(2075年)に向けて、同志社創立150周年を機に学生・生徒・児童・園児、卒業生、教職員が一丸となって新たな歩みを強力に進めること。

学校法人同志社の決意と本募金の趣旨をご理解いただきご支援ご協力をお願いしています。



## 同志社創立150周年記念事業

同志社創立150周年記念事業委員会のもとに、企画・実行組織として同志社未来創造プロジェクトが発足しました。各学校の教職員を対象に公募を行い、2021年6月、プロジェクトメンバー16名を決定しました。柔軟な発想やアイデアで記念事業の設計図を描き、様々な企画を進めるとともに、特設サイトを開設し、記念事業の告知・報告を行いました。各学校から参加したメンバー間の交流により、互いの同志社への思いに触れ、同志社をより深く知る機会になったと感じています。メンバーからは、企画に携わる過程で、

同志社について深く学ぶことができたという声も聞かれました。2022年度のメンバー16名は4月に決定し、同志社手話の造語の作成や、VR技術によるバーチャルキャンパスの制作などを進めています。同志社未来創造プロジェクトのメンバーは自分たちのアイデアが形になることにワクワクしながら、「200周年の時に、150周年を振り返り語り合ってほしい」との思いを共有し、学生・生徒・児童・園児、卒業生、教職員を巻き込んだ形での展開を目指しています。

### 同志社創立150周年記念ロゴマークの公募・選考

学生・生徒・児童・園児、卒業生、教職員、一般を対象に募集したところ、応募作品総数は496点に上りました。同志社創立150周年記念事業委員会にて審議し、最優秀賞・優秀賞・優良賞・特別賞の計11名を選出。最優秀賞の松井美野さんの作品が同志社創立150周年ロゴマークとして採用されました。

#### <記念ロゴとコンセプト>

「150」の数字は、同志社で最も古い大学今出川キャンパスのチャペルを飾るステンドグラスをモチーフに、幼稚園から大学まで同志社を構成する14の学校が連携する調和と一体感を表すために、14個のピースで組み合わせました。スクールカラーのパープルと共に並ぶブルーは、創業者・新島襄が自由を求めて乗り出した海の色であり、国際感覚豊かな人物の育成という理念を表現しています。

同志社中学校2年 松井 美野  
(学年は受賞時点です)



### 「Doshisha New Day」の開催

記念ロゴマーク選定に続く記念事業第2弾として、2021年11月29日、「同志社の未来をつくる特別な1日」をコンセプトに掲げる「Doshisha New Day」を開催しました。同志社女子大学アナウンス部の学生が司会を務め、記念ロゴマークの発表および受賞者の表彰、元同志社大学神学部教授・本井康博氏によるミニ講義「志を継ぐ—新島襄の同志《小新島》たらん—」、本井氏とミニ講義受講生(各学校の学生・生徒)によるディスカッション、同志社大学出身のシンガーソングライター・伊藤誠氏による同志社オリジナルソング「あなたの愛がとどなく降りそそぐ」の歌唱、同志社香里高等学校ダンス部によるパフォーマンス(映像紹介)など盛りだくさんの内容で、手作り感にあふれたものとなりました。ライブ配信動画視聴者のアンケート回収率は海外在住の方を含む約7割に上り、「来年もぜひオンライン配信してほしい」といった声が寄せられました。配信動画は特設サイトにて公開しています。「Doshisha New Day」は、2025年まで毎年11月29日、またはその前後に実施する予定です。



同志社創立  
150周年記念事業  
特設サイト

### その他の企画の一例

#### ■同志社・新島かるたの制作

同志社国際学院初等部6年生が描いた絵をもとに同志社大学漫画研究会の学生がリライトし、同志社未来創造プロジェクトのメンバーである国際学院初等部の教員が読み札を制作しました。数世代にわたり同志社人というケースも見られますが、「幅広い世代が集まる場で一緒に楽しみながら同志社のことを知ってほしい」との思いを込めたものです。各絵札の裏面には歌の解説を記載し、時代や項目ごとに解説したミニ冊子も作成しました。2022年6月下旬に同志社エンタープライズより販売予定です。



#### ■同志社オリジナル賛美歌の公募

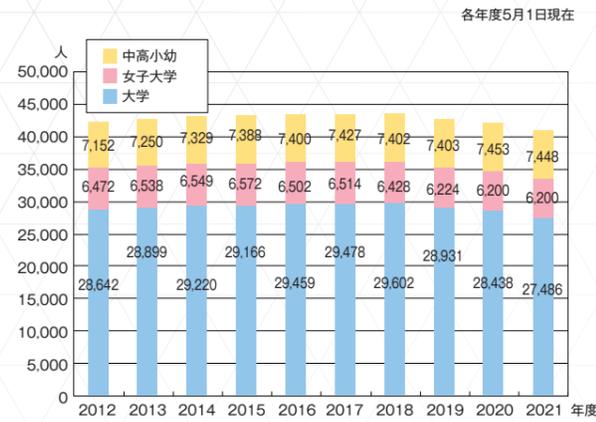
幼稚園児から大学生、卒業生まで一緒に歌うことのできる同志社独自の賛美歌を制作するため、2022年2月より、同志社各学校の在校生、卒業生、教職員などの同志社関係者を対象に、歌詞の公募を開始しました。5月6日まで公募を行い69作品の応募がありました。同志社創立150周年記念事業委員会にて最優秀賞・優秀賞を選出の上、6月に特設サイトにて入賞者を発表します。最優秀作品に選ばれた歌詞に、同志社女子大学芸学部音楽学科の教員が曲をつけ、2022年度の「Doshisha New Day」で披露する予定です。

#### ■「新島襄寄港の地」碑建立30周年記念イベントの開催(青森県風間浦村)

1864年、新島襄は洋式帆船「快風丸」で江戸から函館に航海中、北風と激しい潮流を避けるため、現在の青森県風間浦村に寄港し2日間滞在しました。その様子は「函館紀行」に詳しく書き留められており、この縁から、風間浦村に記念碑が建立されたほか、風間浦中学校と同志社中学校・高等学校の交流などが継続して行われています。同志社ゆかりの地との連携事業の第1弾として、「新島襄寄港の地」碑建立30周年記念イベントを2022年秋に実施予定です。今後も他の地域・団体・企業などとの連携を積極的に行っていきます。

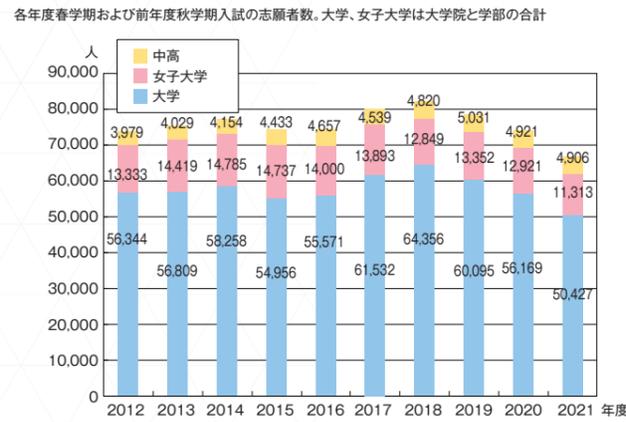
# グラフで見る同志社

図1 学生・生徒・児童・園児数



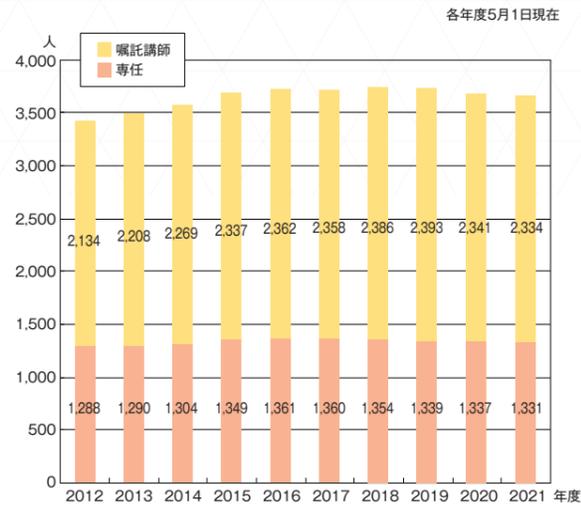
学生・生徒・児童・園児数は、40,000人を超える規模で安定しています。

図2 志願者数



2021年度の志願者数は、前年度から若干、減少しましたが、総志願者数は堅調に推移しています。

図3 教員数



教員数は、専任、嘱託講師とも近年は3,700名規模で推移しています。また職員数については800名規模で推移しています。

図4 職員数

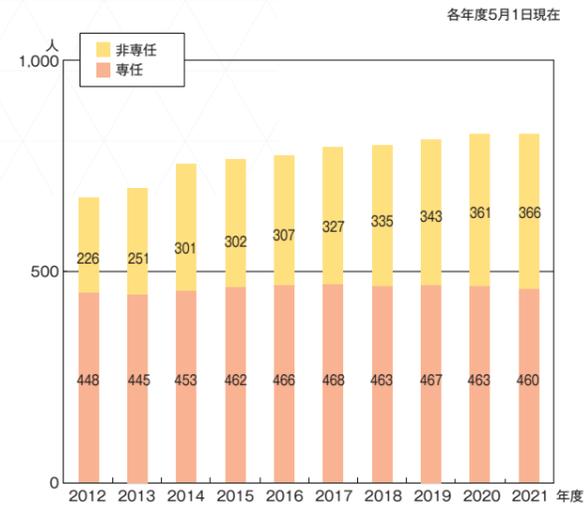
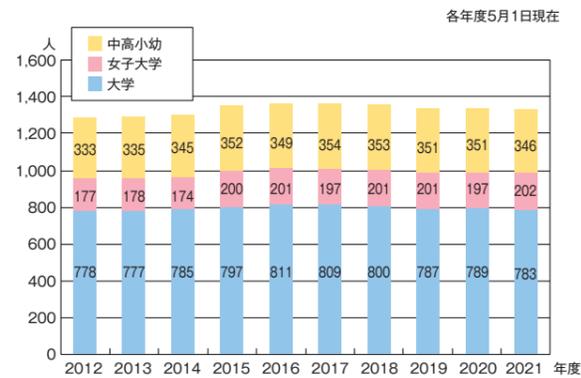


図5 専任教員数



専任教員数は、近年、1,300名規模で安定しています。内訳は、大学が最も多く約60%、女子大学が約15%と続き、残りを両大学以外の諸学校で占めています。

図6 専任教員1人当たりの学生・生徒・児童・園児数

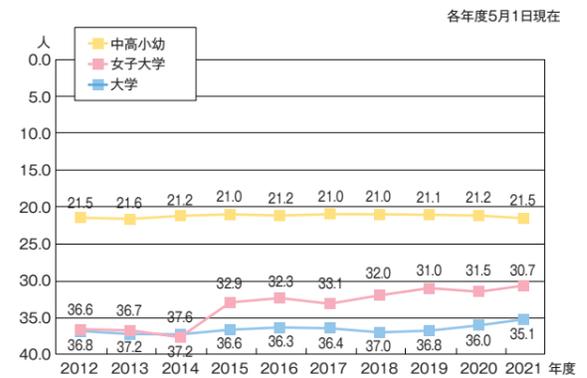
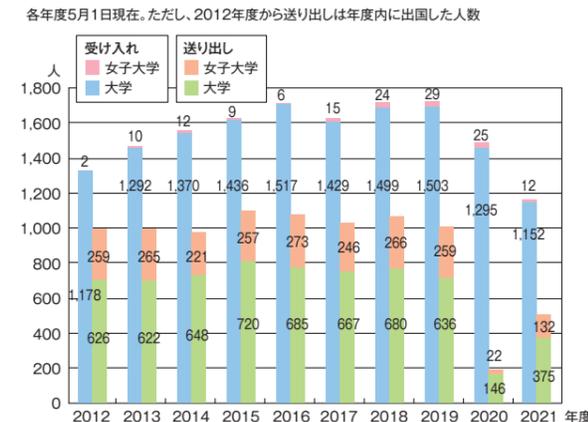


図1の学生生徒数を図5の専任教員数で割ったのがこのグラフで、数値が小さいほど教育研究条件の充実度が高いと考えられます。近年は各校ともほぼ同じ水準を保っています。女子大学は、看護学部の設置により、2015年度から専任教員一人当たりの学生数が減少しています。

図7 留学生数



近年、留学生の受け入れは、1,500名規模、送り出しについては北米を中心に大学、女子大学あわせて900名規模で推移していました。2020年度、新型コロナウイルス感染症の拡大により、留学生の受け入れに関し、大きく減少しましたが、2021年度から回復傾向にあります。

図8 留学生地域別状況

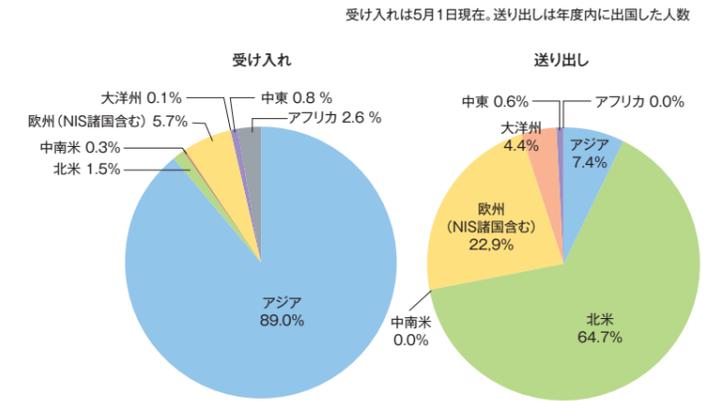
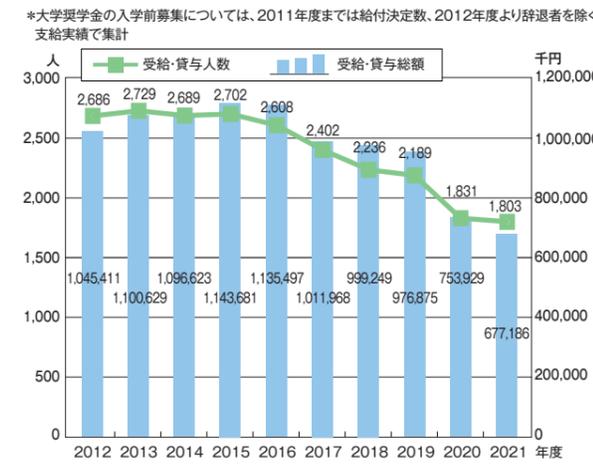
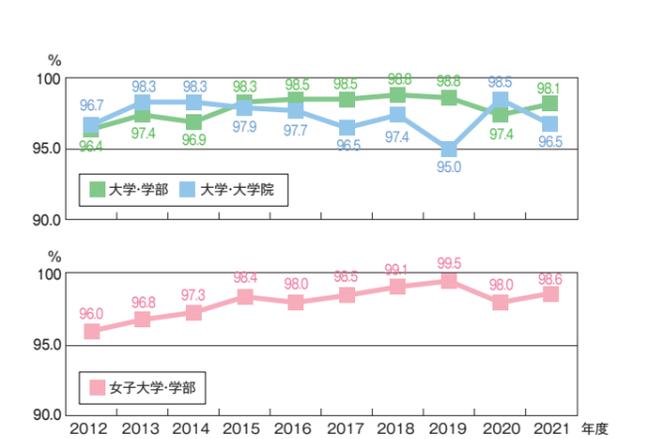


図9 学内奨学金



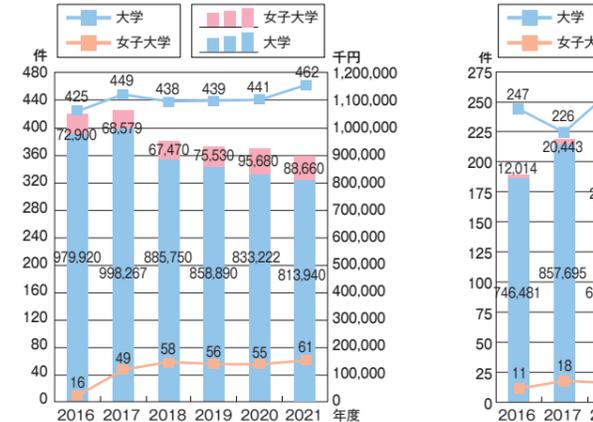
給付・貸与総額は減少していますが、これは2020年度から「高等教育の修学支援新制度」が導入された影響等によるものです。学生への支援体制については、大学、女子大学における募金を通じた奨学金の確保をはじめとする取組を通じて、引き続き学生生徒の勉学を支えてまいります。

図10 就職率(内定率)



就職率(内定率)とは就職希望者数に対する就職決定者数の比率です。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学部において若干の低下しましたが、2021年度は回復傾向にあります。

図11 科学研究費助成事業



折れ線は各研究費の採択・受入れ件数、棒グラフは金額を表しています。研究支援の充実、産官学連携の推進を図っており、研究費に対する外部資金の導入は堅調に推移しています。

図12 受託研究費・共同研究費

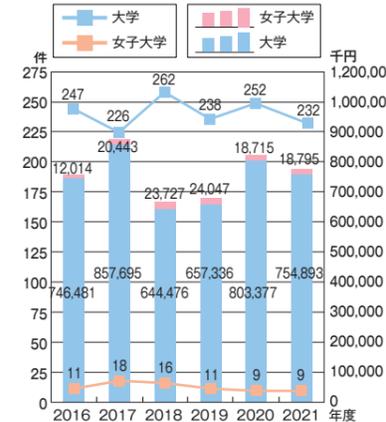
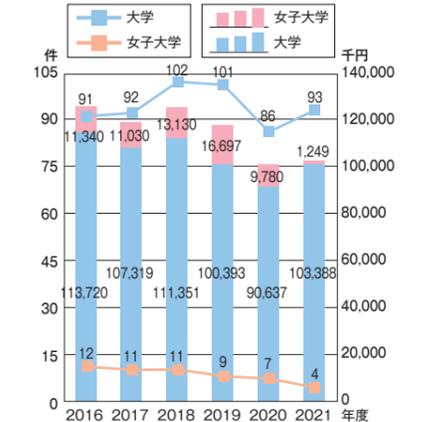


図13 奨学寄付金(研究助成)



# 同志社大学

Doshisha University

## 創立150周年の2025年に向け、同志社大学VISION2025を推進



### 2021年度に重点的に取り組んだ課題の達成状況

「同志社大学ビジョン2025 一躍する同志社大学」中期行動計画(第3版)の着実な実行及びその他の課題に対応するため、2021年度は重点的に以下の課題に取り組みました。なお、ウイズコロナ及びポストコロナを見据えた全学的な課題への対応は、重点的に取り組む課題と並行して速やかに取り組みました。

#### 1 ダイバーシティの推進

同志社大学ダイバーシティ推進委員会において、本学のダイバーシティ推進に係る現状を把握し、課題を抽出したうえで施策に反映させるため、①本学におけるダイバーシティ推進の現状調査(統計情報等)、②学部・研究科、各機構その他組織における取組に関する調査、③教職員を対象とした実態把握のための調査アンケートを実施しました。実施した3つの調査結果を踏まえ、推進委員会から学長に今後取り組むべき課題を提案しました。また、科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ」(調査分析)に、上智大学と共同申請し採択を受け、研究センターや委員会設置など、事業実施体制を整備するとともに調査分析事業を開始しました。

ダイバーシティキャンパスの具現化においては、ダイバーシティに係る啓発として「ダイバーシティ推進の取り組みリーフレット」や「性の多様性に関するガイド」を作成し、SOGIや人権問題をテーマとしてSD研修会を実施するなど、学生及び教職員に対し多様な活動を通じて、ダイバーシティに係る理解促進や啓発を行いました。また、障がい学生に対する修学支援として、スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室の主導により、身体障がい、精神・発達障がいの種別を問わず窓口の一本化を実現し、合理的配慮をめぐる学部・研究科との手続き及び調整機能を統一しました。さらに継志寮では、人種、性別、障がいの有無、文化等の様々な違いや背景を持つ学生が混住・交流する環境の下、多文化共生、地域社会との異世代共生を実践する生活を通して多様な価値観を理解し合い、その違いを新たな創造へ導く力を持つ人物の養成を目指して、9月から運営を開始しました。

#### 2 ポストコロナにおける本学の新たな教育のかたちの構築

ポストコロナにおける本学の新たな教育のかたちの構築においては、

文部科学省から示された「大学等における遠隔授業の取扱いについて(周知)」、「学事日程等の取扱い及び遠隔授業の活用に係るQ&A等の送付について」(事務連絡)により「遠隔講義」の概念が明確になったことを踏まえ、春学期は教務主任会議の下に4つの部会を設置し、対面授業、ネット配信授業、対面授業とネット配信授業を併用するハイブリッド型授業について、教育効果及び質保証の観点から意見を聴取しました。秋学期も教務主任会議の下に2つの部会を設置し、ネット配信授業を実施できる科目の基準、ICTの積極的な活用により高い教育効果が得られるネット配信授業について意見を聴取し、教育のデジタルトランスフォーメーションを念頭に置いたポストコロナにおける本学の授業のあり方について検討を重ねました。また、ネット配信授業を円滑に実施するため、常設カメラ及び映像収録機器を増設するとともに、貸出用の大型Webカメラやデジタル4Kビデオカメラを増設するなど、教育環境の整備を進めました。

多様な教育活動に対応できる新たな学年暦編成については、教育改革推進部会において、学生支援機構及び国際連携推進機構の関係者も出席の下、機構横断的に対面授業とネット配信授業を組み合わせた授業運営の可能性を検討しました。その結果、2019年度から継続審議となっていた105分・13週・6講時制に替えて、授業時間設定は現行どおりの90分7講時制を維持し、13週の対面授業と2週分(180分)のネット配信授業(オンデマンド配信)で構成する新たな学年暦編成案を策定し、2024年度から導入することについて全学的合意を得ました。

#### 3 社会の変化に対応する全学共通教育の充実

全学共通教養教育検討部会において、教養教育の現状と課題を把握し、既存科目の改廃や統合、科目区分及び科目群の見直しを含む新たな体系化の考え方をまとめました。また、科学技術が高度に発達した現代社会において、文系理系を問わず全学生に必要な教養教育として「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)」を開発し、リテラシーレベルのプログラムを2022年度からスタートさせます。ALL DOSHISHA教育推進プログラムについては、FD研修会において全学教職員を対象にプログラムの取組などを紹介する機会を設け、取組成果の全学波及に取り組みました。

大学院教育においては、アドバンス・トリベラルアーツ科目群(含む「次の環境」協創コース)やGRM、Comm 5.0を人材育成プログラムとして申請し、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」と科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プロジェクト」に採択されたことにより、全学共通教育に対する大学院学生の関心度が高まり、文理融合型の教育環境や社会人との共修環境を充実させることができました。また、京都クオリアフォーラム、カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション、ジョブ型研究インターンシップ協議会、大学ファンドの動向や情報を収集・分析し、次の展開に向けた課題について検討しました。

#### 4 次世代を担う本学出身の若手研究者の養成

次世代を担う優れた若手研究者を育成することを目的に、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパス確保のための取組を一体として実施する「同志社大学院博士後期課程若手研究者育成フェローシップ制度」(以下、「フェローシップ制度」という。)の運用を開始しました。また、フェローシップ制度の運営体制を基盤として、「自由で挑戦的・融合的な研究や、海外活動への挑戦を希望する学生への経済的支援」及び「修了後のキャリアパス確保のための各種支援や人材育成プログラムの実施」を一体的に行う「同志社大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト」を立ち上げました。支援対象学生には、フェローシップ運営委員会委員と博士キャリアコーディネーターによる年2回の定期面談を実施し、必要なアドバイスを行うとともに、研究者基礎力養成プログラムを開始することで、研究力や社会適応能力の向上を目指した各種支援と、博士キャリアコーディネーターによるキャリアパスの総合的支援を一体的に実施しています。また、研究開発推進機構と高等研究教育院との連携により、4月に開設したアドバンス・トリベラルアーツ科目群に設置するキャリア形成科目の履修を義務化し、トランスファラブル能力(俯瞰力、総合力、創造力、提案力)の育成を図りました。さらに文部科学省が推進し、博士後期課程の正課教育に位置付けられる「ジョブ型研究インターンシップ」の導入及び実施支援の方向性を確定させました。

#### 5 戦略的産学連携に関する中期行動指針の推進

ダイキン工業株式会社との包括的連携協力協定に基づく共同研究プロジェクト、人材育成プロジェクト(「次の環境」コース)について、組織対組織の連携を着実に進めました。7月にはダイキン工業株式会社の社員と本学教員で交流会を開催し、これを起点として新たな共同研究に発展するなど、連携を一層深化させました。

産官学連携を基軸にしたオープンイノベーションによる教育、研究及び研究成果の社会実装の推進を目的とする「教育研究プラットフォーム」の制度整備を経て、6月には「カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム」を設置しました。本学技術シーズを核とした事業構想に取り組み、学外に広く情報発信するとともに、参加企業の呼びかけを行いました。参加する企業等との情報交換や技術検討の仕組として、会員制の「カーボンリサイクル技術フォーラム」を設置し、社会実装に向けた枠組の形成と共同研究を目指すことを確認しました。

#### 6 グローバルマインドの涵養とダイバーシティ推進に向けた教育研究活動の活性化

外国人留学生の新規入国と本学学生の海外渡航の厳しい状況が続くなか、COILについての理解を深めるために、JPN-COIL協議会へ加盟し、COIL研修会を開催しました。EUキャンパスプログラムにおいても「COIL型」授業を試験的に実施しました。

グローバル化推進検討部会では、学内での共修環境の拡充とダイバーシティ推進の一環として外国人留学生受入体制の再構築について検討

行いました。前者に関しては、オンラインを活用した国際交流、SAPセンターとの連携強化等の重要性和課題を確認しました。後者については、グローバル教育センターと日本語・日本文化教育センターの組織的統合を目指す「国際教養教育院の実質化案」の継続的な議論の方向性を定めました。

EUキャンパス整備推進部会では、EUキャンパスの運営が軌道に乗ったことを踏まえ、当部会を発展的に解消し、EUキャンパス運営委員会の設置を確定させました。

また、同志社創立150周年記念事業(大学事業)である「『国際主義』の深化に向けた『人を植ゆる』の事業」が掲げる事業を具現化するためのワーキングを新たに立ち上げ、EUキャンパスの拡充的運用はもとより、アーモスト大学との新たな交流に向けて、学長会談を皮切りに交渉を開始しました。「ダイバーシティプロジェクト in アジア(仮称)」構想を実現させるべく、その工程の検討に入るとともに、ACUCA副幹事校の任に就き、アジア地域にあるキリスト教主義大学との連携の強化を図りました。

#### 7 意欲があり主体性を持つ生徒の受け入れへの対応

本学が求める意欲があり主体性を持つ生徒を受け入れるべく、2020年度に構築した汎用的スキルの育成を目的としたアクティブ・ラーニング型高大接続プログラムをベースとして、これまで実施してきた大学と高等学校の1対1の関係に留まらず、同じキリスト教主義教育を掲げる連携ネットワークの大学・高等学校間の魅力ある取組として広く展開するため、複数校同時開催による高大接続プログラムを策定しました。2021年度の実施に際しては、「キリスト教主義学校の連携ネットワーク」に加盟する高等学校のうち、従前から本学と連携実績のある3高等学校(九州学院、近江兄弟社、新島学園)を対象とし、本学及び各高等学校との組織的連携による新たな高大接続プログラムを試行展開し、2022年度以降の戦略的展開の礎を築きました。

また、法人内高等学校とは、新しい時代にふさわしい高大接続方策のパイロット・モデル構築に向けて、法人内高等学校との複数回に及ぶ意見交換会を経て制度の提案等を行いました。これにより、法人内高等学校のニーズに則した大学設置科目の履修や単位認定を中心とした新たな高大接続プログラム構築に向けた方向性を見出しました。

#### 8 ブランディングの強化と推進

2020年度に引き続き、大阪、名古屋、福岡を重点拠点と定め、中京テレビを媒体とするフィラー広告(「お天気レポート」)や大阪(梅田駅)における「同志社大学ビジョン 2025」を報せる大看板の掲出を継続しました。高校総体が実施された北信越地区では、福井放送・福井テレビ・テレビ新潟にてテレビCMを放映するとともに、同地域の「ファミリーマート」店内でアナウンス広告とレジ広告を展開しました。「同志社大学ビジョン2025」が掲げる目標の中でも、とりわけ「同志社大学ダイバーシティ推進宣言」を軸とした広報活動については、朝日新聞、読売新聞、AERAなどの新聞・雑誌を通しての情報発信や、首都圏のマスコミ関係者を対象とした「東京メディア懇談会」の開催によって本学の取組を発信しました。また、オンライン形式での「記者レク」開催に挑戦し、研究大学のイメージ強化を意識したマスコミへの情報発信を展開しました。大学や学部・研究科の公式HPとの連動をコンセプトとする「大学案内」の全面改訂は滞りなく初版を発行し、並行して大学公式HPのリニューアル作業を年度計画どおり進めています。東京サテライト・キャンパスについては、運営面におけるコンプライアンス上の改善や情報環境の整備を行い、より多彩なキャンパスの活用を見据えた整備を行いました。

卒業生との生涯にわたる連携においては、校友会本部との連携強化に重点をおき、学生生活支援への協力体制を構築しました。2020年度に引き続き、学生への食支援事業を7月と12月に実施し、延べ10万8千人の学生が校友会食支援事業を利用しました。また、コロナ禍によりホーム

## 事業の概要

カミングデーの対面形式での開催が困難であったため、校友会・同窓会と連携しホームカミングデーをオンライン形式にて開催しました。海外からのアクセス数150件を含む、延べ5,000件ものアクセスがあり、新たな連携のかたちを展開しました。

### 9 同志社創立150周年記念事業(大学事業)の推進

「同志社創立150周年記念事業(大学建設事業)」については、京田辺キャンパスリニューアル事業、今出川校地新図書館建設事業、スポーツコンプレックス事業の3つの事業において、各事業を計画どおりに進捗させるため、事業毎に委員会を立ち上げ、同志社創立150周年に向けて検討を開始しました。また、「同志社創立150周年記念事業(大学事業)」については、「国際主義」の深化に向けた「人を植ゆる」の事業、「ブランド戦略の展開「志その先へ」の事業」を事業化し検討を開始しました。

### 10 「同志社大学2025 ALL DOSHISHA募金」の活動展開

2020年度に引き続き、法人においては緊急事態宣言下での訪問は難しく、解除された時期に重点を置き企業訪問を行いました。企業訪問時に出された大学への要望に対して、学内関連部門と調整をすることにより、大学と企業の間を構築しました。その結果として、訪問先のうち56%の企業からあらためて寄付の申込みを受けることができました。個人を対象とする募金活動については、校友会本部や支部と協力して活動を展開したことにより、校友の寄付者は2021年3月から比べ118%の5,391人(約840人の増加)となりました。

また、更なる寄付者の獲得につなげるため、「芳名録」に募集期間全ての寄付者氏名を掲載しました。他方で、海外はGive 2 Asiaを通じた寄付が可能となり、校友会海外支部への依頼準備まで進めることができました。継続的な寄付者の獲得にも努め、2021年度の個人寄付者のうち、過去に寄付実績のある寄付者は67%を占めています。

2022年3月末現在、募金事業全体では対前年度比4,864件増

(+37.5%)、約2億4,700万円の増額となりました。コロナ禍等で困窮する学生への支援としては、校友会支部から会員に対し「特定寄付奨学金」への協力要請等を行ったことにより、目標金額である5,000万円に到達しました。

### 11 財政基盤の確立

2021年度は、収支均衡した予算編成及び支出超過の解消のために、収入の増加に向けた取組の推進、とりわけ、2023年度及び2024年度入学生の学費の検討を進めるとともに、支出面では、事業計画と財政計画との両立を進めました。

2023年度及び2024年度入学生の学費については、財務部会から出された答申に基づき、授業料と実験実習料の一体化及び授業料の改定方法について検討を行いました。授業料と実験実習料については、2023年度及び2024年度入学生から一体化し、実験実習に係る経費を含め、授業料として徴収することになりました。このことにより、学費費目の整理が一歩進み、高等教育の修学支援制度においても、実験実習料相当額も減免対象となる可能性を開きました。また、学費の改定方法についても、本学を取り巻く経済状況や社会状況の変化等を踏まえて、学部と大学院ともに、従来の学年進行に伴い額が漸増する方式を廃止し、在学中の学部は、各年次同額とすることに決定しました。

事業計画と財政計画の両立については、これまでの事業計画の成果の検証結果に基づき、2022年度予算編成に係る特定事業の予算額については、経常勘定は6億円以内、建設勘定は17億円以内とするとともに、新たに情報基盤整備のための情報基盤整備資金の組入や奨学金制度充実のための同志社大学奨学金基金への組入再開を決定するとともに、中・長期財政計画(2021年度~2029年度)に基づき、教学施設設備整備資金の組入計画も変更しました。さらに、「同志社大学ビジョン2025」の取組期間後の施設整備に向け、「2026年度から2030年度の大規模建設事業に係る財政計画」も策定し、確固たる財政基盤の確立も図りました。

## 同志社大学 2021年度の事業実績

| 区分   | 事業                                | 内容補足   |
|------|-----------------------------------|--|
| 教学組織 | 新たな学年暦の編成                         | 13週(対面授業と2週分(180分)のネット配信授業(オンデマンド配信)で構成する新たな学年暦編成案を策定し、2024年度から導入することを決定   |
|      | ダイバーシティの推進                        | ・文部科学省の科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ」(調査分析)に、上智大学と共同申請し採択、事業実施体制を整備し、調査分析事業を開始<br>・「ダイバーシティ推進の取り組みリフレット」や「性の多様性に関するガイド」の作成、SOGIや人権問題をテーマとしたSD研修会の実施等を通じ、ダイバーシティキャンパスの具現化を推進  |
| 教育研究 | 教育のデジタルトランスフォーメーション               | ネット配信授業を円滑に実施するため、常設カメラ及び映像収録機器を増設するとともに、貸出用の大型Webカメラやデジタル4Kビデオカメラを増設するなど、教育環境の整備を加速   |
|      | 「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)」の開発 | 科学技術が高度に発達した現代社会において、文理系を問わず全学生に必要な教養教育として「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)」を開発、リテラシーレベルのプログラムを2022年度からスタート  |
|      | ALL DOSHISHA 教育推進プログラム            | ・2021年度は合計8プログラムを実施<br>ALL DOSHISHA論理的思考教育プログラム(文学部・文化情報学部)<br>産官学連携を中核としたキャリア形成プログラムの策定(経済学研究科)<br>安全・安心のための課題解決力をもった良心を手腕とする高度技術系職業人養成プログラム(理工学研究科)<br>グローバルマインド養成を目的とした日本人学生と外国人留学生との共修プログラム(理工学部・理工学研究科)<br>ALL DOSHISHA サイエンスコミュニケーター養成プログラム(生命医科学部)<br>社会実践のためのプレントリッド・ラーニングの構築「地の塩」プロジェクト(神学部)<br>「スポーツ・健康科学研究」を通して学力の3要素を育成する高大接続プログラムの開発とその強化(スポーツ健康科学部)<br>アカデミック・ポートフォリオを活用したセルフ・プロデュース型キャリア開発システムの構築(心理学研究科) |
|      | 同志社大学新島塾                          | 第四期生15名を決定、人物養成の指針に掲げる資質や能力を身に付け、それらを統合的に活用して発揮する力を養う  |
|      | グローバル・リソース・マネジメント(GRM)プログラム       | 文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」(2012年度~2018年度)採択の実績を経て、2019年度からは専門職大学院を除く全研究科・専攻の大学院生が履修できるプログラムとして継続設置、強靱な精神と高度な倫理観を持って活躍していくグローバル・リーダーの養成を目指す   |
|      | Comm5.0-AIデータサイエンス副専攻プログラム        | AI・データサイエンスの先端的情報工学技術を駆使して社会的信頼と安全性を確保しながら、社会における多様な価値、イノベーション、ヒトのwell-beingを創造することのできるCommunicationとCommunityの構築に取り組む人物を養成  |
|      | アドバンスト・リベラルアーツ科目群(ALA科目群)の開設      | 「良心」を精神的支柱とした、独自の新しい大学院教育プログラムを2021年度から開設、世界に必要とされる「社会イノベーター」を養成する同志社リベラルアーツの新たなカタチを展開   |
|      | 「同志社ダイキン「次の環境」研究センター」の運営          | ダイキン工業株式会社との包括的な教育研究に関する協定に基づく活動を推進、地球環境問題解決に資する技術開発とともに、自然科学知識と人文・社会科学知識をあわせ持ち、環境問題に取り組むことのできる人物養成をミッションに掲げ、共同研究及び人材育成プログラム(「次の環境」コース)を実施   |
|      | 赤ちゃん学研究拠点の運営                      | 文部科学省の共同研究・共同利用拠点として、赤ちゃん学研究拠点(同志社大学赤ちゃん学研究センター)が期末評価結果ではA評価獲得の上認定更新(2022年4月1日~2028年3月31日)   |
|      | 宇宙生体医学工学研究プロジェクトの推進               | 「宇宙生体医学工学を利用した健康寿命の延伸を目指す統合的研究基盤と国際的連携拠点の形成(宇宙生体医学工学研究プロジェクト)」について、2020年度までの私立大学等経常費補助金による支援を経て引き続き推進  |
|      | 「カーボンリサイクル教育研究プラットフォーム」の設置        | 産官学連携を軸にしたオープンイノベーションによる教育、研究及び研究成果の社会実装の推進を目的として設置、今後、参画企業等との情報交換や技術検討のための会員制の「カーボンリサイクル技術フォーラム」を設置予定   |
|      | 若手研究者の育成                          | ・文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロウシップ創設事業」及び科学技術振興機構の「次世代研究者挑戦的研究プロジェクト」に採択、博士後期課程学生への経済的支援とキャリアパス確保のための取組みを一體的に実施するための枠組みを構築<br>・ジョブ型研究インターンシップ推進協議会への加入(2022年4月~)を決定  |

| 区分       | 事業                          | 内容補足   |
|----------|-----------------------------|--|
| 教育研究     | コロナ禍を機としたICT活用によるCOIL型教育の推進 | ・JPN-COIL協議会への加盟<br>・EUキャンパスプログラムにおける「COIL型」授業の実施<br>「国際主義」の深化に向けた「人を植ゆる」の事業の推進  |
| 学生支援     | 継志寮の運営開始                    | 人種・性別・障がいの有無・文化等の様々な違いや背景を持つ学生が混住・交流する環境のもと、多文化共生、地域社会との異世代共生を実践する生活を通して多様な価値観を理解し合い、その違いを新たな創造へ導く力を持つ人物の養成を目指し、9月から運営を開始                |
|          | 障がい学生に対する修学支援               | スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室の主導により、身体障がい、精神・発達障がいの種別を問わず窓口の一本化を実現し、合理的配慮をめぐる学部・研究科との手続き及び調整機能を統一   |
|          | コロナ禍における在学学生への経済的支援         | ・同志社大学短期貸付金の拡充<br>・同志社大学奨学金の特別枠の設定<br>・同志社大学大学院奨学金の特別採用の実施   |
|          | コロナ禍における在学学生への生活支援          | ・同志社校友会において学内の食堂利用で一定金額を補助する「同志社校友会ランチ・プロジェクト」を2020年度に引き続き7月と12月に実施し、延べ10万8千人の学生が利用、卒業生との連携体制を強化   |
| 学生を受入れ   | 志願者数                        | 一般選抜入試37,726名(昨年度比1,236名増)、大学入学共通テストを利用する入試8,128名(昨年度比137名増)   |
|          | 高大接続プログラムの展開                | 「キリスト教主義学校の連携ネットワーク」に加盟する高等学校のうち、従前から本学と連携実績のある3高等学校(九州学院、近江兄弟社、新島学園)を対象とし、2020年度に構築したアクティブ・ラーニング型高大接続プログラムをベースとした、新たな高大接続プログラムを展開       |
| 財政       | 寄付金                         | 「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」<br>個人:6,405人(実人数)、715,133千円<br>団体・法人:394団体・法人(実数)、494,351千円<br>合計:1,209,484千円(金額は2017年10月1日~2022年3月31日の累計額) |
|          | 第2号基本金組入                    | 教学施設等整備資金12億円、研究装置設備整備資金1億円  |
| 記念事業(法人) | 創立150周年記念事業                 | 同志社内各学校の専任教職員による「同志社未来創造プロジェクト」の発足<br>・記念ロゴの決定<br>・記念イベント「Doshisha New Day」の実施<br>・「同志社百五十年史」刊行に向けての編集事業<br>・創立150周年記念事業準備金の積立           |

## 同志社大学 2021年度の事業実績

| 施設設備整備事業の内容 |         |   |                                 |                               |                                  |
|-------------|---------|---|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 事業          | 内容補足    | 事業期間  | 事業費                             | 財源                            |                                  |
| 今出川校地       | 継志寮の整備  | 建設工事  | 2018年度~2021年度                   | 15億5,900万円                    | 学生生徒等納付金・第2号基本金・寄付金              |
|             | 育真館の整備  | 改築工事  | 2020年度~2022年度                   | 2億9,300万円                     | 学生生徒等納付金                         |
|             | 寧静館の整備  | 改築工事  | 2020年度~2023年度                   | 1億8,700万円                     | 学生生徒等納付金                         |
|             | その他整備   | 寒梅館空調照明設備高効率化改修工事<br>弘風館改修工事<br>弘風館換気設備更新工事     | 2021年度<br>2021年度<br>2021年度      | 1億円<br>1億円<br>5,100万円         | 学生生徒等納付金<br>学生生徒等納付金<br>学生生徒等納付金 |
| 京田辺校地       | トイレ改修工事 | 香柏館、創考館、知源館、紫苑館等                                | 2018年度~2022年度                   | 2億9,100万円                     | 学生生徒等納付金                         |
|             | 体育施設整備  | 陸上ホッケー場人工芝                                      | 2021年度                          | 1億5,000万円                     | 学生生徒等納付金                         |
|             | その他整備   | 香知館空調設備更新工事                                     | 2019年度~2021年度                   | 4,400万円                       | 学生生徒等納付金                         |
|             |         | 知源館受変電設備更新工事<br>多目的ホール吊り天井改修工事<br>副業館非常用発電機更新工事 | 2020~2021年度<br>2021年度<br>2021年度 | 3,500万円<br>3,100万円<br>3,000万円 | 学生生徒等納付金<br>学生生徒等納付金<br>学生生徒等納付金 |

## 入学定員、入学者数、収容定員、在学生数 (2021年5月1日現在)

| 学部                                    | 学部・研究科名           |       |        |        | (2021年5月1日現在) |      |      |      |
|---------------------------------------|-------------------|-------|--------|--------|---------------|------|------|------|
|                                       | 入学定員              | 入学者数  | 収容定員   | 在学生数   | 入学定員          | 入学者数 | 収容定員 | 在学生数 |
| 学 部                                   | 神学部               | 63    | 61     | 252    | 268           |      |      |      |
|                                       | 文学部               | 705   | 724    | 2,820  | 2,954         |      |      |      |
|                                       | 社会学部              | 442   | 429    | 1,768  | 1,796         |      |      |      |
|                                       | 法学部               | 893   | 912    | 3,572  | 3,627         |      |      |      |
|                                       | 経済学部              | 893   | 891    | 3,572  | 3,578         |      |      |      |
|                                       | 商学部               | 893   | 862    | 3,572  | 3,632         |      |      |      |
|                                       | 政策学部              | 420   | 435    | 1,680  | 1,718         |      |      |      |
|                                       | 文化情報学部            | 294   | 281    | 1,176  | 1,244         |      |      |      |
|                                       | 理工学部              | 756   | 736    | 3,064  | 3,062         |      |      |      |
|                                       | 生命医科学部            | 265   | 260    | 1,060  | 1,041         |      |      |      |
|                                       | スポーツ健康科学部         | 221   | 211    | 884    | 922           |      |      |      |
|                                       | 心理学部              | 158   | 155    | 632    | 648           |      |      |      |
|                                       | グローバル・コミュニケーション学部 | 158   | 152    | 632    | 651           |      |      |      |
|                                       | グローバル地域文化学部       | 190   | 173    | 760    | 833           |      |      |      |
| 合 計                                   | 6,351             | 6,282 | 25,444 | 25,974 |               |      |      |      |
| 大 学 院<br>博 士 後 期<br>修 士<br>前 期<br>修 士 | 神学研究科             | 20    | 5      | 40     | 32            |      |      |      |
|                                       | 文学研究科             | 47    | 27     | 107    | 57            |      |      |      |
|                                       | 社会学研究科            | 37    | 21     | 74     | 46            |      |      |      |
|                                       | 法学研究科             | 130   | 59     | 260    | 109           |      |      |      |
|                                       | 経済学研究科            | 50    | 12     | 100    | 41            |      |      |      |
|                                       | 商学研究科             | 65    | 14     | 130    | 25            |      |      |      |
|                                       | 総合政策科学研究科         | 70    | 18     | 140    | 61            |      |      |      |
|                                       | 文化情報学研究科          | 30    | 11     | 60     | 26            |      |      |      |
|                                       | 理工学研究科            | 315   | 288    | 630    | 647           |      |      |      |
|                                       | 生命科学研究科           | 110   | 115    | 220    | 230           |      |      |      |
|                                       | スポーツ健康科学研究科       | 8     | 6      | 16     | 13            |      |      |      |
|                                       | 心理学研究科            | 10    | 7      | 20     | 14            |      |      |      |
|                                       | グローバル・スタディーズ研究科   | 45    | 37     | 90     | 76            |      |      |      |
|                                       | ビジネス研究科           | 45    | 28     | 90     | 51            |      |      |      |
| 合 計                                   | 982               | 648   | 1,977  | 1,428  |               |      |      |      |

## 入学定員、入学者数、収容定員、在学生数 (2021年5月1日現在)

| 大学院                                   | 学部・研究科名         |       |        |        | (2021年5月1日現在) |      |      |      |
|---------------------------------------|-----------------|-------|--------|--------|---------------|------|------|------|
|                                       | 入学定員            | 入学者数  | 収容定員   | 在学生数   | 入学定員          | 入学者数 | 収容定員 | 在学生数 |
| 大 学 院<br>博 士 後 期<br>修 士<br>前 期<br>修 士 | 神学研究科           | 5     | 2      | 15     | 23            |      |      |      |
|                                       | 文学研究科           | 17    | 4      | 55     | 36            |      |      |      |
|                                       | 社会学研究科          | 18    | 3      | 54     | 44            |      |      |      |
|                                       | 法学研究科           | 15    | 3      | 45     | 22            |      |      |      |
|                                       | 経済学研究科          | 5     | 2      | 15     | 14            |      |      |      |
|                                       | 商学研究科           | 5     | 0      | 15     | 5             |      |      |      |
|                                       | 総合政策科学研究科       | 15    | 11     | 45     | 55            |      |      |      |
|                                       | 文化情報学研究科        | 5     | 3      | 15     | 8             |      |      |      |
|                                       | 理工学研究科          | 30    | 17     | 90     | 52            |      |      |      |
|                                       | 生命医科学研究科        | 14    | 5      | 42     | 29            |      |      |      |
| 大 学 院<br>(一貫制)                        | スポーツ健康科学研究科     | 3     | 3      | 9      | 10            |      |      |      |
|                                       | 心理学研究科          | 6     | 3      | 18     | 13            |      |      |      |
|                                       | グローバル・スタディーズ研究科 | 18    | 23     | 54     | 84            |      |      |      |
|                                       | 合 計             | 156   | 79     | 472    | 395           |      |      |      |
| 大 学 院<br>(一貫制)                        | 脳科学研究科          | 10    | 5      | 50     | 25            |      |      |      |
|                                       | 総合政策科学研究科       | -     | -      | -      | 9             |      |      |      |
| 大 学 院<br>(専門職)                        | 合 計             | 10    | 5      | 50     | 34            |      |      |      |
|                                       | 司法研究科           | 70    | 47     | 210    | 98            |      |      |      |
| 大 学 院<br>(専門職)                        | ビジネス研究科         | 30    | 39     | 60     | 87            |      |      |      |
|                                       | 合 計             | 100   | 86     | 270    | 185           |      |      |      |
| 合 計                                   | 7,599           | 7,100 | 28,213 | 28,016 |               |      |      |      |

## 教員数、職員数 (2021年5月1日現在)

| 教員数  |       | 職員数   |      |       | 教職員数  |
|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 専任教員 | 嘱託講師  | 専任職員  | 有期職員 | 職員合計  | 総計    |
| 783  | 1,523 | 2,306 | 346  | 2,099 | 2,861 |

事業の概要

# 同志社女子大学

D W O L A

Doshisha Women's College of Liberal Arts

## 学びの領域をさらに深化させ多岐にわたる研究活動を展開



小嶋 真 学長

DATA

創立 1876年  
所在地 〒610-0395  
京都府京田辺市興戸南鉾立  
97-1 TEL:0774-65-8411  
〒602-0893  
京都府京都市上京区今出川通  
寺町西入玄武町602-1  
TEL:075-251-4111  
URL https://www.dwc.doshisha.ac.jp/

### 内部質保証

内部質保証推進委員会を中心に全学的な内部質保証システムの確立に努め、公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価(大学評価)において、書面評価、実地調査を受審しました。その結果、「本学が大学基準に適合していると認定する」旨の判定を受けました(認定期間は2022年4月1日~2029年3月31日)。大学評価結果の提言においては、社会連携・社会貢献における「長所」が示される一方で「是正助言」1件、「改善課題」5件の指摘を受けたため、今後は改善・向上の方策を検討し、着実に取り組んでいく予定です。

### 教育研究

より効果的な遠隔授業の在り方を探求するために、遠隔授業を学科毎に数科目選定して試験的に実施。その教育効果を検証して、さらなる教育の充実を図りました。そのためのICT環境の整備を、費用対効果の観点からも検証しながら推進し、知徳館、聡恵館、楽真館、純正館の講義・演習室にWi-Fiアクセスポイントの整備を行いました。また、ネットワーク機器更新に際しては、前述の4棟以外でのWi-Fi整備も視野に入れた機種選定を行いました。また、授業の出席管理や授業時間内でのリアルタイムアンケート機能を有するコミュニケーションツール「respon」(レスポン)を導入。4月の授業開始前に利用方法等の説明会を開催、10月には2名の授業担当者による使用事例等の報告会を実施し、2021年度は延べ937の授業科目で「respon」が使用されました。

### 学生支援

2020年度に両キャンパスに設置した「障がい学生サポートセンター」について、教職員への啓発活動や関係セミナー等への参加による知見の蓄積、情報収集を行い、支援内容の充実を図りました。

### 管理運営

(1) パーパレス・デジタル化・オンライン化の推進

電子決裁システム(ワークフロー)を2020年10月に導入。2021年度は、大学運営における様々な分野でのデジタル化・パーパレス化をさらに推進し、業務の合理化・最適化を図りました。

また、コロナ禍において緊急的に実施した各種会議のオンライン化について、その効果や参加者の負担、会議の目的、情報セキュリティ等を検証し、オンラインによる恒常化を視野に置いて運営してきました。

更に、コロナ禍において2020年4月から実施してきたテレワークについて、セキュリティ環境を向上させるためリモートデスクトップを導入。さらなる業務の生産性向上と働きやすい環境整備等働き方改革を推進するため、その充実を図りました。

(2) 「VISION150」の第2期(2022-2026)中期計画の策定

2022年度から「VISION150」の第2期を迎えることから、第1期の点検・評価を行い、創立150周年に向けた第2期中期目標及びアクションプランを新たに策定しました。

### 施設設備

(1) キャンパス整備

2019年度に策定した営繕計画を基本として営繕を進め、新型コロナウイルス感染症対策に重点を置き、聡恵館東館及び知徳館2号棟の湿式トイレの乾式化、屋内体育施設等への空調・換気設備の設置、網戸が設置されていない教室等への網戸設置を行いました。また、京都府まちづくり条例に合致するように、各建屋の自動ドア化を年次計画で進め、2021年度は恵真館と頤啓館、学生の利用頻度の高い知徳館8号棟に設置しました。

(2) 大規模地震等防災対応

両キャンパス同時開催全学防災訓練は、感染症対策のため、訓練の対象を学生・教職員の希望者に絞り、全館一斉放送設備を用いた避難訓練、無線機によるキャンパス間連絡訓練、通報訓練、垂直式救助袋の操作訓練等を11月に行いました。さらに、今出川キャンパスでは、消火訓練、防水板の操作訓練も行いました。

| 同志社女子大学 2021年度の事業実績 |                                      |  |
|---------------------|--------------------------------------|--|
| 区分                  | 事業                                   | 内容補足   |
| 教学組織変更              | 定員変更                                 | 収容定員<br>学芸学部メディア創造学科 490名<br>学芸学部国際教養学科 330名<br>現代社会学部社会システム学科 1,220名<br>薬学部医療薬学科 730名<br>看護学部看護学科 340名<br>表象文化学部英語英文学科 590名<br>生活科学部人間生活学科 340名<br>生活科学部食物栄養科学科食物科学専攻 230名  |
| 教職員採用               | 教員採用(25名)                            | 専任教員<br>学芸学部音楽学科 1名<br>学芸学部国際教養学科 1名<br>現代社会学部現代こども学科 2名<br>薬学部医療薬学科 2名<br>看護学部看護学科 1名<br>表象文化学部英語英文学科 1名<br>表象文化学部日本語日本文学科 2名<br>特別任用教授(規程第2条第2号)<br>学芸学部音楽学科 1名<br>学芸学部メディア創造学科 2名<br>薬学部医療薬学科 2名<br>看護学部看護学科 2名<br>表象文化学部日本語日本文学科 1名<br>生活科学部食物栄養科学科 1名<br>教職課程センター 1名<br>任期付教員<br>学芸学部メディア創造学科 1名<br>現代社会学部社会システム学科 1名<br>表象文化学部英語英文学科 1名<br>特別契約教員 表象文化学部英語英文学科 1名<br>特別任用助教 薬学部医療薬学科 3名<br>特別任用助手 薬学部医療薬学科 3名<br>実習助教 看護学部看護学科 1名<br>実習助手 看護学部看護学科 2名<br>職員採用(1名)<br>専任職員 1名 |
| 教育・研究               | ICTを活用した教育の充実(出席管理およびクリック機能)の導入      | 授業支援システムとの連携機能をもつ出席管理やクリック機能等を有するシステムを導入し、各授業での出席管理も可能となる環境を整備したことで、出席管理に係るデータを、大学運営や学生支援に係る様々な分析のための基礎資料として活用を開始した。   |
|                     | 授業目的公衆送信保証金制度への対応                    | 授業支援システム等における授業に関する「著作物」の更なる活用を想定し、同制度に則った対応を行うことで授業に係る著作物が無許諾で利用が可能となった。  |
|                     | 遠隔授業の充実を目的とした試験的実施および検証              | 新型コロナウイルス対応ではなく、より効果的な遠隔授業の在り方を探求するために、学科毎に遠隔授業実施科目を数科目選定し、試験的に実施。その教育効果を検証して、さらなる充実を図っている。  |
|                     | PBLの推進                               | 生活科学部食物栄養科学科では、「京都市との食に関する連携協定」に基づき紹介された企業を含む食品関連企業の協力のもと、各企業の現場が有する課題(新商品開発等)の解決に取り組みPBL科目「食品開発プロジェクト-II」を開講。専門知識を深め、実践的なマーケティング思考を習得することに加え、ソーシャルスキルや人間力を向上させることを目的としている。  |
|                     | 共通学芸科目キャリア教育科目内「キャリアのためのプロジェクト演習」を新設 | 連携企業先である株式会社JTB京都支店と共同で実施した。企業等が提示するビジネス環境の具体的な課題に対して課題解決案を作成。キャリア意識の醸成やキャリアプラン形成に役立てることを目的に開講した。  |
|                     | 教職課程カリキュラム改正                         | 英語英文学科において、教育実習の履修前条件となる一部の科目の履修年次を引き下げることにより、海外留学を行う学生が、帰国後4年次に教育実習を行い、4年間の在学期間中に教員免許状を取得することを可能とした。  |
| 入試制度                | 音楽学科における入試制度変更                       | 2022年度入試(2021年度に実施)より、演奏専攻については「一般入試(前期日程)音楽実技方式」の実施方法の一部を変更。音楽文化専攻については入試区分ごとの募集人員を見直し一部の入試区分を新設・廃止。  |
| 学生生徒支援              | 奨学金制度の充実                             | 修学支援制度の運用開始によって得られたデータ分析に基づき、2020年度に運用(支給額)の見直しを行った本学独自の同志社女子大学奨学金への影響(経済困難度や支給範囲等)等について、より適切な支援となるよう検証を継続。また、同志社女子大学サポーターズ奨学金を財源とする「ぶどうの樹記念奨学金」についても、更なる検証を加え、経済的支援を必要とする学生へ適切な支給を行った。  |
|                     | 学寮                                   | 教育寮としての活動を実践するために、寮生によるレジデント・アシスタント(RA)制度を導入。寮生の交流等を目的として、RA 独自の創造的活動により、自主自立の精神や社会性の醸成などを図るとともに、コロナ禍にあって寮内感染を防ぐ対策等にあたる。   |
|                     | 障がい学生支援                              | 2020年度に開設した「障がい学生支援センター」の支援内容の充実を図るほか、教職員への啓発活動や関係セミナー等への参加による知見の蓄積、情報収集にも着手した。  |
|                     | コロナ禍における学生支援                         | 「Be Handsome」キャンペーン及びアルコール消毒スプレーや除菌シートの配布などを継続して取り組み、感染防止対策に対する意識啓発に努めた。また、感染懸念により中止とした創立者墓前礼拝(全新生徒対象)の代替として2020年度に実施した「Pray & Hike」を2021年度も実施した。その他、AIチャットボットによる「Chat VIV」についても、コロナ禍におけるオンラインサービスの一つとして更なる充実を図った。   |
|                     | 学内礼拝を始めとする宗教部諸活動の充実                  | 学内礼拝を始めとする宗教部諸活動の開催について、対面式並びに配信による形式等コロナ禍に対応した実施方法等を工夫し、つながりを持つことが感じられるように更なる充実、活性化を目指した。   |
|                     | ボランティア活動支援センター活動の更なる充実               | ボランティア活動奨励コンテスト、ガーデニングボランティア、書き損じ・未使用ハガキキャンペーンなど学内外でのボランティア活動を支援した。単位化を実現できるような具体的に議論を深め、ボランティアに関する情報の共有、啓発をはかり、更なる充実、活性化を目指した。  |

| 同志社女子大学 2021年度の事業実績               |                                      |  |                    |         |       |     |
|-----------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------|---------|-------|-----|
| 区分                                | 事業                                   | 内容補足   |                    |         |       |     |
| 財政                                | 募金事業                                 | 募金事業として、同志社女子大学サポーターズ募金「ぶどうの樹」を実施  |                    |         |       |     |
| その他                               | 認証評価 受審                              | 公益財団法人大学基準協会による第3期認証評価において、書面評価、実地調査を受審。2022年3月大学評価結果として「適合」の判定を受けた(認定期間:2022年4月1日~2029年3月31日)。評価結果の提言は、「長所」1件、「是正助言」1件、「改善課題」5件。                  |                    |         |       |     |
|                                   | 卒業生のためのキャリア支援                        | 卒業生の管理職育成やキャリアアップを支援するため、キャリアサロンを年3回、京都・大阪・東京で開催。卒業生のためにWEBによる資格取得支援講座を開講。卒業生のための求人検索システムに掲載する求人情報を充実  |                    |         |       |     |
|                                   | 連携事業の促進                              | 時代の変化や多様な価値観に対応できるフレキシブルな感性を持った人材を育成することを目的に、連携を図った。<br>《大学連携》日本女子大学<br>京都アカデミアフォーラム<br>《企業京都支店との連携》大塚製薬株式会社京都支店 株式会社JTB京都支店                       |                    |         |       |     |
|                                   | 学術交流等各種連携協定に基づく事業の実施                 | 京田辺市、関西化学術研究都市推進機構、日本航空株式会社、独立行政法人国立病院機構南京都病院、医療法人社団石鐘会  |                    |         |       |     |
|                                   | Wi-Fi環境の充実                           | 教室棟(知徳館、聡恵館、楽真館、純正館)へのWi-Fiアクセスポイント100%整備。Wi-Fiとスマートフォンの組み合わせにより、出欠管理、クリック、アンケート等、運用面での利便性・経済性が向上し、ICT環境の基盤の一つとなった。                                |                    |         |       |     |
|                                   | 学内ネットワークシステムリプレース                    | 2016年度に構築したネットワークシステムがリプレースサイクルとなり全面的なリプレースを実施。リプレースに際しては、キャンパス全棟へのWi-Fi整備や、遠隔授業・対面授業でのIT活用等、今後ますますデータ通信量が增大することを想定して、ネットワーク機器の処理能力向上や通信回線の増速を図った。 |                    |         |       |     |
|                                   | ペーパーレス化・デジタル化の推進                     | 大学運営における様々な分野でのデジタル化・ペーパーレス化をさらに推進し、業務の合理化・最適化を図った。2020年10月導入の電子決裁システムで取り扱う文書をさらに充実  |                    |         |       |     |
|                                   | 非対面決済サービス導入                          | 証明書自動発行システム「パピルスメイト」の改修により、諸費用支払いの機械化・キャッシュレス化等による学生の利便性向上及び、費用納入受付業務の自動化により業務を軽減  |                    |         |       |     |
|                                   | 卒業生向け証明書オンライン申込システム導入                | オンライン申込システムの導入により、卒業生向け証明書オンライン申込システムの導入。また、発行手数料等の支払い方式を変更することで、手数料等の支払い状況の照合作業が不要になり、未回収の可能性がほぼなくなった。  |                    |         |       |     |
|                                   | 在学生向け証明書オンライン申込システム導入                | オンライン申込システムの導入により、科目の履修状況や就職活動等により学内の証明書発行装置による証明書発行が困難な学生に対して、滞りなく証明書を発行・送付することが可能となった。   |                    |         |       |     |
| 施設設備整備事業の内容                       |                                      |  |                    |         |       |     |
| 事業                                | 内容補足                                 | 事業期間   | 事業費                | 財源      |       |     |
| 今出川キャンパス                          | 防災 自報警報総合盤更新                         | 2021年度   | 20,400千円           | 学生生徒納付金 |       |     |
|                                   | 防災 栄光館共用部非常放送設備改修                    | 2021年度   | 11,000千円           | 学生生徒納付金 |       |     |
|                                   | 省エネ LED化推進                           | 2021年度   | 13,790千円           | 学生生徒納付金 |       |     |
|                                   | インフラ安定化 図書館電力設備更新                    | 2021年度   | 25,600千円           | 学生生徒納付金 |       |     |
| 京田辺キャンパス                          | バリアフリー化 恵真館・知徳館・頤啓館自動ドア設置            | 2021年度   | 10,702千円           | 学生生徒納付金 |       |     |
|                                   | 省エネ LED化推進                           | 2021~2023年度  | 22,979千円のうち5,707千円 | 学生生徒納付金 |       |     |
|                                   | 換気・快適性向上 恵真館(卓球室・ダンストレーニング室・資料室)空調設置 | 2021年度   | 50,000千円           | 学生生徒納付金 |       |     |
| 研究科                               | 換気・快適性向上 知徳館教員研究室空調設備更新              | 2021年度   | 20,000千円           | 学生生徒納付金 |       |     |
|                                   | 衛生環境・アメニティ向上 知徳館2号棟・聡恵館東館トイレ改修       | 2021年度   | 200,000千円          | 学生生徒納付金 |       |     |
| 入学定員、入学者数、収容定員、在学生数 (2021年5月1日現在) |                                      |  |                    |         |       |     |
| 学部・研究科名                           | 入学定員                                 | 入学者数   | 収容定員               | 在学生数    |       |     |
| 学部                                | 学芸学部                                 | 325  | 336                | 1,280   | 1,289 |     |
|                                   | 現代社会学部                               | 410  | 411                | 1,620   | 1,607 |     |
|                                   | 薬学部                                  | 125  | 122                | 730     | 743   |     |
|                                   | 看護学部                                 | 90   | 95                 | 340     | 357   |     |
|                                   | 表象文化学部                               | 270  | 273                | 1,070   | 1,134 |     |
| 生活科学部                             | 230                                  | 258  | 890                | 944     |       |     |
| 合計                                | 1,450                                | 1,495  | 5,930              | 6,074   |       |     |
| 研究科                               | 文学研究科                                | 31   | 8                  | 70      | 23    |     |
|                                   | 国際社会システム研究科                          | 10   | 5                  | 20      | 11    |     |
|                                   | 薬学研究科                                | 4  | 2                  | 16      | 7     |     |
|                                   | 看護学研究科                               | 9  | 5                  | 18      | 11    |     |
|                                   | 生活科学研究科                              | 13   | 4                  | 26      | 13    |     |
| 合計                                | 67                                   | 24   | 150                | 65      |       |     |
| 専攻科                               | 音楽専攻科                                | 20   | 9                  | 20      | 9     |     |
| 合計                                | 20                                   | 9  | 20                 | 9       |       |     |
| 総計                                | 1,537                                | 1,528  | 6,100              | 6,148   |       |     |
| 教員数、職員数 (2021年5月1日現在)             |                                      |  |                    |         |       |     |
| 教員数                               |                                      | 職員数  |                    | 教職員数    |       |     |
| 専任教員                              | 嘱託講師                                 | 専任職員   | 有期職員               | 総計      |       |     |
| 202                               | 557                                  | 759  | 75                 | 79      | 154   | 913 |

法人の概要

法人の取り組み

グラフで見る同志社

事業の概要

財務の概要

事業計画

# 同志社中学校・高等学校

Doshisha Junior and Senior High School

## 幼稚園から大学までの一貫教育の一拠点としての使命を果たす



| DATA |  |
|------|--|
| 創立   | 1875年  |
| 所在地  | 〒606-8558<br>京都市左京区岩倉大鷲町89<br>TEL:075-781-7121<br>URL https://js.doshisha.ac.jp/ |

### ハイブリッド型の授業を実施

2021年度はコロナ感染状況に応じて、対面とリアルタイム配信によるハイブリッド型の授業を実施しました。課題は、グループワークを取り入れにくい状況、あるいは、オンラインで授業を受ける生徒がいる状況において、いかに学力の向上と主体的な学びを両立できるような授業を展開できるかという点にあると考えています。2022年度は、この経験も糧としながら、授業づくりにおいて教員一人ひとりの力を向上させていく年にしたいと考えています。

### オンラインによる国際交流や同中学びプロジェクト

同中学びプロジェクトとして、リモートのメリットを活かし、新企画を含む多彩な特別講座・課外授業を実施しました。今後も、取り組みの幅が広がっていくのではないかと思います。中高における国際交流プログラムも、オンラインで実施。特にオーストラリア・メルボルンのウェズリーカレッジとは、20余年にわたって短期交換留学を通して築いてきた同校との親密な関係性もありオンラインで充実した交流ができました。2022年度も少しずつ制限が緩和される中で、これまでできなかった様々な企画を実現していきたいと考えています。

### 2021年度の総括と150周年に向けた思い

2010年の中高統合から12年目を終えた今、あらためて、中高それぞれがその歴史の中で築いてきたスタンス、培ってきたノウハウを活かしながら教育活動を展開するという形が、定着したという実感を得ています。

この12年で高大接続も進み、大学でリーダーとして活躍する生徒を共に育てる体制、その土台となる信頼関係は、より強固なものとなりました。幼稚園から大学までの一貫教育の中に本校があるという位置付け、本校が果たすべき役割が、より明確化したのではないかと感じています。

幼稚園から高校までが共有する、14年一貫教育の精神とも言えるものが、確かにあります。そして本校は、その精神を受け

継ぎ体現していく拠点の一つであるという自負があります。

本校が大切にしてきた、いろいろなものに興味を持ち、多くのものを吸収しながら学び、社会を生き抜く力を着実に育む教育を、自信を持って推進していくことをもって、より良い一貫教育の実現を目指します。

### 同志社中学校・高等学校 2021年度の事業実績

| 区分     | 事業                               | 内容補足   |
|--------|----------------------------------|--|
| 教職員採用  | 高等学校キリスト教専任教員1名                  | 前年度退職者補充   |
| 教育・研究  | 高等学校 土曜日特別補講<br>中学校 「同中学びプロジェクト」 | 2年生対象(国語・数学・英語)、3年生対象(化学・生物・物理)<br>ワークショップ、フィールドワーク、工作、実験、研究室・企業訪問等(オンラインによる)  |
| 学生生徒支援 | 奨学金制度                            | 給付・四方秀和奨学金(1名)<br>同志社高等学校特別奨学金(23名)<br>同志社在学学生修学特別支援金(32名)<br>*うち10名は新島奨学金に充当して給付<br>同志社中学校新島基金・新島会奨学金(13名)<br>同志社中学校司鐘担当奨学金(1名)<br>貸与・同志社高等学校学貸与金(0名)<br>同志社中学校桑の実貸与奨学金(0名) |

| 施設設備整備事業の内容 |                   |        |         |                |
|-------------|-------------------|--------|---------|----------------|
| 事業          | 内容補足              | 事業期間   | 事業費     | 財源             |
| 教育環境整備      | ネットワーク環境施設整備      | 2021年度 | 約140万円  | 国庫補助金・生徒納付金    |
|             | 教室ICT機器環境整備       | 2021年度 | 約160万円  | 生徒納付金          |
| 校舎整備事業      | コロナ感染症対策空調機分解洗浄   | 2021年度 | 約220万円  | 国庫補助金・生徒納付金    |
|             | コロナ感染症対策更衣室換気設備増設 | 2021年度 | 約260万円  | 国庫補助金・寄付・生徒納付金 |
| 校地整備        | 四方秀和謝恩事業          | 2021年度 | 1,000万円 | 寄付             |

### 入学定員、入学者数、収容定員、生徒数 (2021年5月1日現在)

|      | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員  | 在籍者数  |
|------|------|------|-------|-------|
| 中学校  | 288  | 294  | 864   | 881   |
| 高等学校 | 360  | 367  | 1,080 | 1,096 |
| 合計   | 648  | 661  | 1,944 | 1,977 |

### 教員数、職員数 (2021年5月1日現在)

| 教員数、職員数 |      |      |      |      |      |      |
|---------|------|------|------|------|------|------|
| 教員数     |      |      | 職員数  |      |      | 教職員数 |
| 専任教員    | 嘱託講師 | 教員合計 | 専任職員 | 有期職員 | 職員合計 | 総計   |
| 86      | 57   | 143  | 11   | 12   | 23   | 166  |

# 同志社香里中学校・高等学校

Doshisha Kori Junior and Senior High School

## アフターコロナを見据えた新しい教育の創造に挑む



| DATA |  |
|------|--|
| 創立   | 1951年  |
| 所在地  | 〒572-8585<br>大阪府寝屋川市三井南町15-1<br>TEL:072-831-0285<br>URL https://www.kori.doshisha.ac.jp/ |

### 対面を重視しながらオンライン活用を推進

コロナ禍においても「教育活動を止めない」という観点から、2020年度は共感力を育むために対面授業にこだわりましたが、2021年度は中1~高1に一人1台のタブレット端末を導入し、対面重視の姿勢のままに、対面では難しい部分、不足する部分を補う目的でオンラインを活用したハイブリッドな学習形態を取り入れました。教育活動を止めないことを徹底する上では、感染防止対策として入校を制限している点も大きく、ご協力・ご理解に感謝しています。

入試広報では新たに、万全の感染防止対策のもとで30分間の学校見学を2回実施。15~20分刻みで順次受付、1グループ25~30組とし、全800組に参加いただきました。今年度も学校説明会や個別相談はオンラインのみという体制を貫いたことで、教育活動を止めないことを最優先とする本校の姿勢を広く示すことができたと感じています。

### 適当りの授業時間数を増加し探究学習を始動

中学の教科学習において、2022年度から高校で始まる探究学習を見据えた活動を取り入れました。従来の内容を削るのではなく、プラスアルファとして実践できるよう、土曜日を1時間増の4時間授業に変更。2022年度より高1が論文の書き方など基礎から学んでいきますが、2・3年のプログラム詳細については、高大連携も視野に入れ、探究委員会で検討を進めます。

### 2021年度の総括と150周年に向けた思い

2022年度には5学年、2023年度には全学年が一人1台のタブレット端末を持つこととなります。メディアセンターの活用を本格化させ、読書・探究活動の推進につなげたいと考えています。また、学びのさらなる進化に着手したいという思いがあります。目指すのは、対面での学びを軸とし、単なる代替としてのオンライン活用ではなく、むしろオンライン活用の比重が小さくなるような、新しい教育活動の創造です。その決意を込めた2022年度のテーマが、「躍動する香里」。ニューノーマル時代を見据えた新たな展開の検討・実践を推し進めていきます。

### 同志社香里中学校・高等学校 2021年度の事業実績

| 区分     | 事業                              | 内容補足  |
|--------|---------------------------------|---|
| 教職員採用  | 専任教員 1名 採用                      | 国語科1名   |
| 教育・研究  | 海外交流プログラム                       | 年間留学生派遣(1年間) 中止<br>留学生受け入れ(9か月) 中止<br>夏期期間来日外国高校生受け入れ(3週間) 中止<br>韓国奨学生受け入れ(1か月) 中止<br>アメリカ・サンフランシスコ 又エバ/中学受け入れ 中止<br>アメリカ・ボストン フィリップス・アカデミーサマーセッション 中止<br>カナダ語学研修プログラム(21日間) 中止<br>オーストラリア・ペンブルレイティースカレッジ 短期留学プログラム(30日間) 中止<br>日韓交流プログラム(24日間) 中止<br>ニュージーランドタム留学(3か月間、中学生) 中止<br>アメリカ・サンフランシスコ スエバ/高校受け入れ 中止<br>アメリカ・ボストン交流プログラム 中止<br>アメリカ・サンフランシスコ 又エバスクール 交流プログラム 中止 |
|        | 国際交流イベント The Small Planet 2020* | 12月11日土曜日に、木村敬一氏による講演「東京パラリンピック金メダルへの挑戦〜米国留学で得たもの〜」、スピーチコンテストを実施  |
|        | アドバンス講座                         | 主に土曜・木曜に、国公立等を目指す生徒を対象に、外部講師を招き、英数国3科目の講義を実施。4月より全20回。  |
|        | キャリア教育                          | 中学3年生のリベルタスの時間に、様々な分野で活躍する社会人講師を招き、実践的キャリア教育を実施。  |
|        | 人権アッセンブリー                       | 12月13日月曜日実施。大阪映画センターに依頼し、人権映画「水の上のフライト」を校内ライブ配信を行った。中学生と高校生全員参加。  |
|        | 福祉体験授業                          | 10月20日水曜日、21日木曜日、中学1年生を対象に寝屋川市福祉協議会・ボランティア団体・PTAの協力で車椅子体験学習を実施。   |
| 学生生徒支援 | 同志社香里高等学校就学支援奨学金<br>学内奨学金(給付制)  | 大阪府の就学支援推進校指定に伴う授業料負担<br>同志社香里奨学金・同志社香里奨学金(臨時)・PTA奨学金・校友会奨学金  |

| 施設設備整備事業の内容 |                   |                 |         |         |
|-------------|-------------------|-----------------|---------|---------|
| 事業          | 内容補足              | 事業期間            | 事業費     | 財源      |
| 教育環境整備      | 防犯カメラ更新工事         | 4月              | 1,265万円 | 学生生徒納付金 |
|             | 興文館LED改修工事        | 8月              | 198万円   | 学生生徒納付金 |
|             | ロータリー改修工事         | 12~2月           | 1,998万円 | 学生生徒納付金 |
| 校舎整備事業      | 普通教室WEBカメラ設置工事    | 3月              | 811万円   | 学生生徒納付金 |
|             | 製菓館(メディアセンター)建設工事 | 2020年2月~2021年4月 | 8億円     | 学生生徒納付金 |

### 入学定員、入学者数、収容定員、生徒数 (2021年5月1日現在)

|      | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員  | 在籍者数  |
|------|------|------|-------|-------|
| 中学校  | 240  | 253  | 720   | 761   |
| 高等学校 | 315  | 304  | 945   | 903   |
| 合計   | 555  | 557  | 1,665 | 1,664 |

### 教員数、職員数 (2021年5月1日現在)

| 教員数、職員数 |      |      |      |      |      |      |
|---------|------|------|------|------|------|------|
| 教員数     |      |      | 職員数  |      |      | 教職員数 |
| 専任教員    | 嘱託講師 | 教員合計 | 専任職員 | 有期職員 | 職員合計 | 総計   |
| 68      | 41   | 109  | 8    | 7    | 15   | 124  |

# 同志社女子中学校・高等学校

Doshisha Girls' Junior and Senior High School

ICTの活用により、伝統の継承と進取の精神の実践を目指す。



| DATA |  |
|------|--|
| 創立   | 1876年  |
| 所在地  | 〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入玄武町602-1<br>TEL:075-251-4305 |
| URL  | http://www.girls.doshisha.ac.jp/                     |

## 国際交流プログラムを充実化

2020年度と同様に、中学1年生の春のイングリッシュキャンプを、校内において3日間の日程で実施。また新たに、中学2年生・3年生の希望者を対象としたサマーイングリッシュキャンプを3日間の日程で、高校生の希望者を対象としたエンパワーメントプログラムを4日間の日程で行いました。

この拡充は、2020年度の春のイングリッシュキャンプが、参加のしやすさなどにより生徒・保護者からの高評価につながったことや、留学プログラムとは異なり希望者を広く受け入れられたことを通して、校内実施ならではのメリットを実感したことに端を発したものです。今後も状況に応じて校内・校外の二つの選択肢を持ちながら、留学へとステップアップするきっかけとなるような「国際交流の第一歩」と位置付け、国際交流プログラムの一つとして継続していきたく考えています。

## ICT環境の活用を授業・行事で推進

一人1台のタブレット端末を導入。配布した中学生1年生と高校1年生以外の学年には貸与する形をとることで、全校的にICTを活用した授業を推進してきました。情報教育部主催の研修会や教員間におけるノウハウの共有を積極的に行うだけでなく、中学1年生・高校1年生の各クラスに新設したテックサポーター係を窓口として生徒から要望・活用方法のアイデアを募り、情報教育部において検討した上で適宜導入。まさに教員と生徒が一体となって実践の幅を広げてきました。

行事におけるICT活用も活性化しています。特に文化祭に向けては、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、教員と生徒会とで議論を重ねて内容を検討。結果、ステージ発表やクラス動画の配信、初の試みとなる全校生徒約1500人による巨大絵画の作成など、生徒の主体性や柔軟性、ICTを使いこなす力が発揮され、創意工夫が際立つ文化祭となりました。

2021年度から着手している、より快適な通信環境の整備は、2022年4月末に完了する予定。教育活動におけるICTのさらなる活用を推進します。

## 2021年度の総括と150周年に向けた思い

新型コロナウイルス感染症対策を通して校内の議論が活発化し、生徒の団結力を目の当たりにしました。女子校の底力、そしてその存在意義を再確認する1年になったと感じています。また朝の礼拝は、栄光館からのライブ配信とすることで、全校生徒が同じ時間に臨むという伝統のスタイルを維持することができました。これらの経験を生かし、良き伝統はできるだけそのままに、臨機応変に新しいものを取り入れて、新しい時代に合った教育を形づくっていきたくと思っています。

### 同志社女子中学校・高等学校 2021年度の事業実績

| 区分     | 事業                                   | 内容補足  |
|--------|--------------------------------------|---|
| 教育・研究  | 国際交流プログラム                            | エンパワーメントプログラム(高校) サマーイングリッシュキャンプ(中2・中3) スプリングイングリッシュキャンプ(中1) 国際交流講演会(中学)                                |
|        | TOEIC受験 新入生交流プログラム 宗教交流プログラム チューター制度 | 高校1年生 Bridge、2年生 BridgeおよびIP、3年生 IP 中学1年生修養会(1日 校内) 中学2年生・3年生修養会、高校修養会(1日 校内) 本校卒業生の指導による中学生の英語・数学の学力向上 |
| 入試制度   | 入学前・後期日程実施                           | 志願者 前期299名 後期406名 自己推薦65名   |
| 学生生徒支援 | 奨学金制度                                | 同志社女子中学校・高等学校奨学金(給付6名、貸与1名) 古田務奨学金(給付3名)  |
|        | 修学支援事業 クラブ活動費補助                      | あんしん修学支援奨学金事業(給付93名) 全国大会等学校が認めた行事への活動費補助を強化  |
| 財政     | 特定支出準備金繰入                            | 教育機器整備準備金1,000万円を繰入れ、957万円を取崩し(サーバ機器更新)   |
| その他    | 学校見学会                                | 小学5、6年生、父母等参加   |

| 施設設備整備事業の内容 |                |        |         |            |
|-------------|----------------|--------|---------|------------|
| 事業          | 内容補足           | 事業期間   | 事業費     | 財源         |
| 教育環境整備      | 静和館LED照明更新     | 2021年度 | 1,985万円 | 学生生徒納付金 経常 |
| 教育環境整備      | 新生館ダンス室LED照明更新 | 2021年度 | 374万円   | 学生生徒納付金 経常 |

### 入学定員、入学者数、収容定員、生徒数 (2021年5月1日現在)

|      | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員  | 在籍者数  |
|------|------|------|-------|-------|
| 中学校  | 240  | 245  | 720   | 743   |
| 高等学校 | 270  | 268  | 810   | 796   |
| 合計   | 510  | 513  | 1,530 | 1,539 |

### 教員数、職員数 (2021年5月1日現在)

| 教員数  |      | 職員数  |      | 教職員数 |     |
|------|------|------|------|------|-----|
| 専任教員 | 嘱託講師 | 専任職員 | 有期職員 | 職員合計 | 総計  |
| 64   | 45   | 109  | 9    | 21   | 139 |

# 同志社国際中学校・高等学校

Doshisha International Junior and Senior High School

多様性に満ちた環境のもと、個々の可能性を最大限に伸ばす教育を追求



| DATA |   |
|------|---|
| 創立   | 1980年   |
| 所在地  | 〒610-0321 京都府京田辺市多々羅谷60-1<br>TEL:0774-65-8911 |
| URL  | http://www.intnl.doshisha.ac.jp/              |

## ICT環境の整備と幅広い活用を推進

最大で1学年を6つに分けた習熟度別授業を展開しており、少人数用の教室が多数ありますが、それらも含めた全教室に、プロジェクターとホワイトボードを設置。並行して、朝の礼拝や教科学習など様々な場面でオンライン方式を取り入れました。選択科目の一つである中国語の授業内で台湾の学校とのオンライン交流を行うなど、メリットを最大限に活かした活用ができており、今後は、対面とオンライン、それぞれの良い面を活かした学びがスタンダードな形として定着していきたくと思っています。広報活動においては、海外にいる父親、日本にいる母親との三者面談など、オンラインだからこそ実現したものもありました。特別推薦入試におけるオンライン活用で、アフリカからの受験も実現。結果として、志望度の高い受験生が集まりました。引き続きオンラインを併用しますが、本校の認知度向上の観点から、可能な限り、現地での学校説明会・入試も実施していく予定です。

## 生徒の課外活動をサポートする教育開発センターを新設

図書館機能としてのコミュニケーションセンターと国際交流部門、教育開発部門を一体化し、課外活動を支援する教育開発センターを発足させました。本校の生徒はこれまで、社会課題の解決策を提案する国際競技のアジア大会で入賞するなど、高い実績をあげています。2022年度よりそうした挑戦を組織的に支え、本校を特徴づける活動のさらなる活性化を目指します。

## 2021年度の総括と150周年に向けた思い

コロナ禍で浸透したオンデマンド型授業は、知識の習得において一定の成果が見られました。それは、対面授業の意義が問われるということでもあります。学校の存在意義は、知識以外のものを得られることにこそあるのです。本校には多様性と刺激に満ちた、付加価値の高い環境があります。某国の大統領選挙の日はその話題でもちきりですし、どこかで紛争が勃発すれば帰国生の仲間が増えます。世界各国のニュースが、隣にいる友人にとって身近な出来事なのです。平和に対する意識も、実感を伴った形で根付いていくと思います。2021年度より授業料を引き上げましたが、それは、多様な生徒のニーズに応える

質の高い教育実践するという覚悟のあらわれでもあります。ゴールは定めず、いつも我々の期待をいい意味で裏切ってくれる生徒たちの可能性を最大限に引き出せる仕掛けを充実させたいと思っています。

### 同志社国際中学校・高等学校 2021年度の事業実績

| 区分     | 事業  | 内容補足   |
|--------|---|--|
| 教職員採用  | 宗教科専任教員 1名採用<br>理科専任教員 1名採用<br>体育科専任教員 1名採用 | 前年度退職者補充<br>前年度退職者補充<br>体育科教員の在外教育施設への派遣に伴い2023年度退職者分先取り補充   |
| 教育・研究  | ワールドワイドラーニング採択<br>国際交流プログラムの実施              | 高度かつ多様な科目内容の開発と実践<br>NUEVA MIDDLE SCHOOLオンライン交流(10名)<br>Phillips Academy Andover Summer Session(2名)<br>Harvard Summer School Secondary School Program(1名)<br>台北市VIS国際実験教育中等部オンライン交流(9名)<br>Wainuiomata High Schoolオンライン交流(18名) |
|        | 校内英語試験の実施                                   | 生徒全員が実用英語検定またはTOEFLを受験   |
| 平和教育   |   | 中学2年生 長崎研修旅行の代替行事 校内で実施<br>高校2年生 沖縄研修旅行の代替行事 校内で実施   |
| 学生生徒支援 | 奨学事業の実施<br>修学支援事業の実施                        | 海外長期留学奨学金(給付2名)<br>First Semester留学奨学金(給付1名)<br>あんしん修学支援金(給付63名)、同志社在学修学特別支援金(8名)  |

### 施設設備整備事業の内容

| 事業     | 内容補足              | 事業期間      | 事業費     | 財源           |
|--------|-------------------|-----------|---------|--------------|
| 教育環境整備 | プロジェクター設置事業       | 2021年8-9月 | 2,695万円 | 学生生徒等納付金、補助金 |
| 校舎整備事業 | 有隣館換気機能付冷暖房設備設置工事 | 2021年8月   | 3,630万円 | 学生生徒等納付金、補助金 |
| 体育施設整備 | 志遠館トイレ改修工事        | 2021年8月   | 495万円   | 学生生徒等納付金、補助金 |

### 入学定員、入学者数、収容定員、生徒数 (2021年5月1日現在)

|      | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員  | 在籍者数  |
|------|------|------|-------|-------|
| 中学校  | 130  | 102  | 420   | 382   |
| 高等学校 | 270  | 270  | 810   | 820   |
| 合計   | 400  | 372  | 1,230 | 1,202 |

### 教員数、職員数 (2021年5月1日現在)

| 教員数  |      | 職員数  |      | 教職員数 |     |
|------|------|------|------|------|-----|
| 専任教員 | 嘱託講師 | 専任職員 | 有期職員 | 職員合計 | 総計  |
| 56   | 87   | 143  | 7    | 2    | 152 |

# 同志社小学校

Doshisha Elementary School

## 実際に見て、聞いて、体験して、感じる、本来の道草教育の実践に尽力



よこい かずひこ 横井 和彦 校長

| DATA |  |
|------|--|
| 創立   | 2006年  |
| 所在地  | 〒606-0001<br>京都市左京区岩倉大鷲町89-1<br>TEL:075-706-7786 |
| URL  | https://www.doshisha-ed.jp/                      |

### 京都ユネスコ協会とのSDGs連携事業が始動

伸び伸びと楽しみながら学び、グローバル社会の中で生きていくための土台を築く道草教育。その一環として、京都ユネスコ協会とのSDGs連携事業をスタートさせました。2021年度の取り組みとしては、5・6年生を対象に、京都ユネスコ協会の方によるUNESCOとSDGsに関する特別授業を実施。一人1冊ずつ配布されたユネスコ協会SDGs/パスポートに、活動内容や感想を記入しました。

### 外部講師による授業や校外での活動を再開

コロナ禍以前は道草教育の一環として、外部の専門家による特別授業や校外での活動、スポーツフェスティバルなどの行事、ワイルド・ローヴァー活動（異学年活動）などを展開していました。2020年度はそれらが大きく制限されましたが、2021年度は可能な範囲で再開。ICTを活用しながら各学年を対象に専門家による特別授業を行ったほか、2年ぶりに校外学習や全校集会、スポーツフェスティバルを実施しました。

### 各種受賞を通して道草教育の成果を実感

第26回京都サイエンスコンテストでは、1700作品の中から6年生1名が化学賞を受賞。第60回京都ユネスコ協会「自然観察展」を含め、3~6年生の夏休みの自由研究の作品で、計8名の児童が賞をいただきました。また、一般財団法人数理教育研究会主催の塩野直道記念 第9回「算数・数学の自由研究」作品コンクールでは、約17000作品の中から、2年生が最優秀賞の文部科学大臣賞を、小学校高学年の部で6年生が中央審査委員奨励賞を受賞。道草教育の成果のあらわれであると感じています。

### 学校説明会の代替としてドキドキ学校探検を開催

年長児とその保護者に対して、施設見学と質疑応答を行うドキドキ学校探検を企画・実施。たくさんのお申し込みがあり、受験者数も例年並みとなりました。「見たい」「聞きたい」という要望に応えるべく、2022年度も実施する方向で検討しています。

### 2021年度の総括と150周年に向けた思い

2020年度にできなかったことを再開させたいという強い思いを抱き、その実現に努めた1年でした。海外協定校との交流を含め、各活動の実施においてはLAN環境が不可欠です。2020年度に比べてオンラインの活用が飛躍的に進んだことを受け、今後も見据えた大々的な改修工事を行い、ICT環境を整えました。

2022年度は、この2年間の経験を活かして年間スケジュールを調整し、なかよし遠足や水泳教室はもちろん、6年生のアメリカ修学旅行に向けて段階的に宿泊日数を増やしていく各学年の宿泊体験学習も再開させる予定です。その中でICTを、単にマイナスを補うためだけではない、プラスを生み出すツールと捉え、新たな活用を創造していきたいと考えています。

#### 同志社小学校 2021年度の事業実績

| 区分    | 事業                       | 内容補足   |
|-------|--------------------------|--|
| 教職員採用 | 専任教員1名採用                 | 前年度退職者補充                                       |
| 教育研究  | 国際理解・国際理解教育              | 海外の協定校交流校と動画や音声スライドを作成し交換、手紙交換、ビデオでオンライン授業を実施。 |
|       | 宿泊体験学習                   | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全学年とも実施を見送り               |
|       | 修学旅行                     | 6年生：熊本・長崎（二泊三日）                                |
|       | 大学附属を生かした教育活動            | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送り                    |
| 児童支援  | 奨学事業の実施                  | 同志社小学校奨学金の給付                                   |
| 財政    | 同志社小学校教育支援および施設・設備整備資金募金 | 一口20万円   |

#### 施設設備整備事業の内容

| 事業     | 内容補足                                     | 事業期間   | 事業費      | 財源          |
|--------|--|--------|----------|-------------|
| 情報環境整備 | 安定したICT教育実現のため学内LAN配線・無線アクセスポイント、情報機器の更新 | 2021年度 | 18,902千円 | 学生生徒納付金・寄付金 |
| 施設設備整備 | チャペルコートの外壁塗装                             | 2021年度 | 3,630千円  | 学生生徒納付金・寄付金 |

#### 入学定員、入学者数、収容定員、児童数 (2021年5月1日現在)

| 小学校 | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 在籍者数 |
|-----|------|------|------|------|
| 小学校 | 90   | 90   | 540  | 540  |

#### 教員数、職員数 (2021年5月1日現在)

| 教員数  |      | 職員数  |      | 教職員数 |    |
|------|------|------|------|------|----|
| 専任教員 | 嘱託講師 | 専任職員 | 有期職員 | 職員合計 | 総計 |
| 27   | 16   | 43   | 2    | 2    | 4  |
| 43   |      | 2    |      | 6    |    |
| 47   |      | 4    |      | 53   |    |

# 同志社国際学院

Doshisha International Academy - DIA

## 良心教育の礎を築く場として、より良き人生と世界を創造する力を育む



やなぎだ まさひこ 柳田 昌彦 校長

| DATA |  |
|------|--|
| 創立   | 2011年  |
| 所在地  | 〒619-0225<br>京都府木津川市木津川台7-31-1<br>TEL:0774-71-0810 |
| URL  | https://www.dia.doshisha.ac.jp/                    |

### 初等部の教育内容と児童募集

初等部では、「一条校」「バイリンガル教育」「探究的な学び」を三本の柱としています。バイリンガル教育は、6年間を通じて約50%の授業を英語で実施し、また、探究的な学びは、2019年IB（国際バカロレア機構）にPYP校として認定され、引き続き三本柱の充実に取り組みました。児童募集に関しては、新1年生入学試験と年間2度の編転入試を行うことにより、各学年における定員の充足を図り、多くの学年で定員を満たすようになってきました。

### 国際部の教育内容と生徒募集

国際部DISK (Doshisha International School, Kyoto) は、インターナショナルスクールとして、全ての授業を英語で行っています。また、IB (PYP・DP) 認定校として、国際基準の教育環境にあります。現在、5年生以上の学年に生徒が在籍中（新入生募集停止）です。

### 新型コロナウイルス感染症対策と学校生活

児童は日頃から健康観察カードを記入し、教室では机にパーティションを設置するとともに換気を徹底。下校後には教員が机と椅子等の消毒を行いました。児童等にコロナ陽性者が出た場合は、「学級・学年閉鎖及び休校の指針」に沿って休校措置を取りました。初等部全学年に対しては、9月13日~30日は隔日登校と自宅学習（オンライン授業）の併用、2022年1月24日~2月4日は休校（自宅学習）としました。自宅学習中は、Zoomミーティングやロイロノートによって授業サポートを行いました。

行事については、10月18日~20日に学年別のスポーツデイを開催。11月11日・12日には広島修学旅行を実施しました。11月19日には10周年記念式典を開催し、オンラインにより配信しました。

### 2021年度の総括と150周年に向けた思い

本校では、同志社教育の原点である良心教育の礎を築く場として、一人ひとりがより良き人生を営むために、また、より良き世界を実現するために、ユニークな教育プログラムと豊かな教育環境を整備しています。開校10周年という節目を迎えた2021年度は、公式ホームページのリニューアルを実施。法人内諸学校の中でも特に「国際主義」に力点を置いた、魅力ある教育内容の積極的な発信を行いました。次年度も引き続き、動画配信などホームページの更新頻度を高め、広報活動を強化したいと考えています。

#### 同志社国際学院 2021年度の事業実績

| 区分      | 事業   | 内容補足                          |
|---------|--|-------------------------------|
| 教学組織    | 開校11年目として初等部1年57名受入れ、転・編入生を5名受入れ<br>国際部G1~4募集停止、在学生のいる学年へ転入受入れ(6名)         | 初等部:360名(定員)<br>6学年×60名、12クラス |
| 児童の受け入れ | 編転入、2022年度新入生の入学審査   |                               |
| 児童・生徒支援 | 同志社国際学院奨学金<br>同志社国際学院国際部生徒に係る高等学校等就学支援金相当の助成<br>同志社国際学院国際部大学進学関係試験に係る受験料助成 | 校友会寄付金及び新島基金奨学金を財源とする         |
| 財政      | 初等部教育支援および施設・設備整備資金募金  |                               |

#### 入学定員、入学者数、収容定員、児童数 (2021年5月1日現在)

|      | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 在籍者数 |
|------|------|------|------|------|
| 国際学院 | 60   | 60   | 360  | 346  |
| 初等部  | 25   | 19   | 275  | 44   |
| 国際部  |      |      |      |      |
| 合計   | 85   | 79   | 635  | 390  |

#### 教員数、職員数 (2021年5月1日現在)

| 教員数  |      | 職員数  |      | 教職員数 |    |
|------|------|------|------|------|----|
| 専任教員 | 嘱託講師 | 専任職員 | 有期職員 | 職員合計 | 総計 |
| 43   | 4    | 47   | 2    | 4    | 6  |
| 47   |      | 2    |      | 6    |    |
| 53   |      | 4    |      | 57   |    |

# 同志社幼稚園

Doshisha Kindergarten

## 保育・広報プログラムを充実化。少子化社会で選ばれる幼稚園へ



| DATA |   |
|------|---|
| 創立   | 1897年   |
| 所在地  | 〒602-0844 京都市上京区寺町通石薬師下る染殿町665番地1<br>TEL:075-748-0027 |
| URL  | https://kinder.doshisha.ac.jp/                        |

### 英語キッズ・体操キッズを全学年に保育時間内で実施

目に見えない教育はもちろん、技術的な素養を向上させることを通した子どもたちの成長も大切にしています。その一環として、保育時間外に希望者を対象として行った英語キッズと体操キッズを、全学年を対象に週1回、保育時間内に導入しました。英語キッズは、ネイティブの専門講師を手配。幼児期からの英語教育は多くの保護者が希望しているものの一つであり、そのニーズに応えることができました。2022年度も引き続き実施します。

### 一貫教育ならではの国際交流

本園では、豊かなコミュニケーション力と国際的視野で物事を見る力の育成を目指しています。その一環として、リチャーズハウスを利用する留学生、AKPが受け入れた留学生など、様々な文化的背景を持つ方と触れ合う機会を設ける予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実現しませんでした。2022年度こそは実施したいと考えています。園児が歌を披露したり、ダンスやゲームと一緒に楽しんだりする中で、母語が異なる相手について知ろうとすること、自分の思いを伝えようとするを通して、国際理解力の芽を培います。

### 経験を活かし、より良い形で行事を実施

行事については、2020年度の経験を踏まえ、感染防止対策を徹底しながら、園児・保護者にとってより良い形での実施を目指しました。運動会は2020年度、保護者には学年別に来園いただき、それぞれ全プログラムを通して観覧いただきましたが、2021年度は全学年合同の演目は動画配信とし、保護者の来園・園児による演技ともに学年別としました。クリスマス礼拝・祝会は園内のホールではなく、京都コンサートホールにて実施。いずれも昨年度は園児1名につき保護者1名の参加でしたが、2021年度は密を避ける対策を強化したことにより、園児1名につき保護者2名に参加していただくことができました。

### 入園説明会をはじめとする広報活動

入園説明会は対面で2回実施し、中止になった2回をカバーする目的で、動画配信を行いました。幼稚園選びにおいては子どもの意見を尊重するケースが多いため、広報活動においては親子で来園いただく体験型プログラムが重要な位置づけにあります。2021年度は実施できずでしたが、2022年度に向けては、未就園児の親子を対象とした登録制で、1年間を通して園舎や園庭、在園児との触れ合いを体験できる「天使のはね」の募集を行いました。週1回程度のペースでの実施を目指します。

### 2021年度の総括と150周年に向けた思い

新型コロナウイルス感染症に関わる対応に追われた1年でしたが、最大の課題は、少子化が進む中、いかに入園希望者を増やしていくかということにあります。その解決策の一つとして挙げられるのが、年少組よりも1年早く入園する、いわゆる最年少組の設置。導入のハードルは高く、簡単に実現するものではないものの、4年保育に対するニーズがあることも確かです。入園希望者数の状況を見ながら、検討していければと思っています。

| 同志社幼稚園 2021年度の事業実績                      |   |   |      |      |
|---|---|---|------|------|
| 区分                                      | 事業                                      | 内容補足  |      |      |
| 教職員採用                                   | 教員・専任1名、嘱託1名、アルバイト2名の計4名                | 教育充実のため必要な教職員採用                                   |      |      |
| 教育・研究                                   | 教育カリキュラムで、知・徳・体をバランスよく強化する。新園舎での環境設定の工夫 | 教育内容の目標達成に努めた。教育力・人間力の育みを目指した。遊びの中から学べる環境作りを工夫した。 |      |      |
| 財政                                      | 教育援助助金                                  | 教育内容を充実するために募集                                    |      |      |
| <b>入園定員、入園者数、収容定員、園児数</b> (2021年5月1日現在) |   |   |      |      |
|   | 入園定員                                    | 入学者数  | 収容定員 | 在籍者数 |
| 幼稚園                                     | 30                                      | 32  | 100  | 101  |
| <b>教員数、職員数</b> (2021年5月1日現在)            |   |   |      |      |
|   | 教職員数                                    |   |      |      |
|   | 総計                                      |   |      |      |
|   | 10                                      |   |      |      |

## 沿革

History

|                   |   |
|-------------------|---|
| 1875(明治8)年 11月29日 | 官許「同志社英学校」を開校<br>新島襄初代社長に就任                                       |
| 1876(明治9)年 9月     | 今出川校地(相国寺門前の薩摩藩邸跡)に校舎、食堂を建て寺町から移る                                 |
| 10月               | 京都御苑内の旧柳原邸(現・京都迎賓館の一部)で女子塾を開設                                     |
| 1877(明治10)年 4月    | 同志社分校女紅場を開設   |
| 9月                | 女紅場を同志社女学校と改称   |
| 1883(明治16)年 2月    | 「同志社社則」を制定  |
| 1884(明治17)年 4月    | 新島、2度目の海外旅行に出席(翌年12月帰国)   |
| 9月                | 同志社最初の煉瓦建築、彰栄館竣工(国の重要文化財)   |
| 1886(明治19)年 6月    | 新礼拝堂(チャペル)竣工(国の重要文化財)   |
| 1887(明治20)年 11月   | 書籍館(現・有終館)開館(国の重要文化財)<br>同志社病院・京都看護婦学校の開院、開校式                     |
| 1888(明治21)年 11月   | 「同志社大学設立の旨意」を全国の主要雑誌・新聞に発表  |
| 1890(明治23)年 1月23日 | 新島、静養先の神奈川県大磯にて永眠(46歳)  |
| 7月                | アメリカの実業家J.N.ハリスの10万ドルの寄付によるハリス理化学館竣工(国の重要文化財)                     |
| 9月                | ハリス理化学校開校   |
| 1891(明治24)年 9月    | 政法学校開校  |
| 1892(明治25)年 6月    | [女学校]本科を普通科、高等科を専門科(師範科、文学科、神学科)に改める                              |
| 1893(明治26)年 10月   | 同志社徽章(校章)を制定  |
| 1894(明治27)年 1月    | 神学館(現・フラーフ記念館)開館式(国の重要文化財)  |
| 1896(明治29)年 4月    | 普通学校を同志社高等普通学校と改称し、新たに同志社尋常中学校を開設                                 |
| 1897(明治30)年 3月    | M.F.デントン、出町幼稚園(現・同志社幼稚園)を開園                                       |
| 1900(明治33)年       | 出町幼稚園を今出川幼稚園と改称   |
| 1901(明治34)年 3月    | [女学校]普通科を高等普通部と改め、新たに専門部を設置                                       |
| 1904(明治37)年 4月    | 専門学校令による神学校と専門学校を開校<br>政法学校廃校                                     |
| 1906(明治39)年 4月    | 同志社病院・京都看護婦学校閉鎖<br>ハリス理化学校廃校                                      |
| 1908(明治41)年       | 同志社カレッジソングができる  |
| 1912(明治45)年 4月    | 専門学校令による同志社大学(予科、神学部、政治経済学部、英文科)、女学校専門部(英文科、家政科)を開校               |
| 1920(大正9)年 4月     | 大学令による同志社大学(文学部、法学部、大学院、予科)の開校                                    |
| 1922(大正11)年 4月    | 専門学校令による大学を専門学校(神学部、英語師範部、高等商業部、政治経済部)として再編成                      |
| 1928(昭和3)年 1月     | [女学校]普通学部を女学校高等女学部と改称   |
| 1929(昭和4)年 4月     | [専門学校]高等商業部を岩倉に移転   |
| 1930(昭和5)年 6月     | [女学校]専門部を女子専門学校と改称  |
| 9月                | [女学校]普通学部を高等女学部と改称  |
| 12月               | [専門学校]高等商業部を高等商業学校と改称   |
| 1943(昭和18)年 4月    | 中学校令による中学校開校  |
| 1944(昭和19)年 4月    | 工業専門学校(電気通信科、機械科、化学工業科)開校   |
| 1947(昭和22)年 4月    | 新学制により新制中学校、女子中学校発足   |
| 1948(昭和23)年 4月    | 新制大学(神学部、文学部、法学部、経済学部)新制高等学校、新制定時制商業高等学校、新制女子高等学校を設置              |
| 1949(昭和24)年 4月    | 商学部と工学部を新設し、大学は六学部となる<br>女子大学(学芸学部)開校<br>高等学校が岩倉校地へ移転             |
| 1950(昭和25)年 4月    | [大学]大学院修士課程(神・文・法・経済・商各研究科)を開設<br>[大学]短期大学部(夜間2年制)(英語・商経・工各学科)を開設 |

|                |   |
|----------------|---|
| 1951(昭和26)年 3月 | [大学]教養学部解散(1948年4月発足)   |
| 9月             | 香里学園を合併し、香里中学校、同高等学校を開校   |
| 1953(昭和28)年 4月 | [大学]大学院博士課程開設   |
| 1954(昭和29)年 4月 | [大学]短期大学部を発展的に解消、大学2部(4年制)(文・法・経済・商・工各学部)を開設  |
| 1955(昭和30)年 4月 | [大学]工学研究科修士課程開設   |
| 1967(昭和42)年 4月 | [女子大学]文学研究科修士課程開設   |
| 1968(昭和43)年 4月 | [女子大学]家政学研究科修士課程開設  |
| 1975(昭和50)年 4月 | 創立100周年を迎え、記念事業を行う<br>[女子大学]文学研究科博士後期課程開設   |
| 1976(昭和51)年 3月 | 商業高等学校廃校  |
| 1980(昭和55)年 4月 | 国際高等学校開校  |
| 1986(昭和61)年 4月 | 田辺校地(現・京田辺校地)開校<br>大学・女子大学の授業が開始<br>[女子大学]短期大学部開設   |
| 1988(昭和63)年 4月 | 国際中学校開校   |
| 1989(平成元)年 4月  | [女子大学]学芸学部にて日本語日本文学学科開設   |
| 1991(平成3)年 4月  | [大学]アメリカ研究科開設   |
| 1994(平成6)年 4月  | [大学]工学部および工学研究科、理工学研究所を田辺校地(現・京田辺校地)に統合移転   |
| 1995(平成7)年 4月  | [大学]総合政策科学研究科開設   |
| 1997(平成9)年 4月  | [大学]昼夜開講制を実施  |
| 1999(平成11)年 4月 | [大学]留学生別科を開設  |
| 2000(平成12)年 4月 | 創立125周年を迎え記念事業を行う<br>[女子大学]現代社会学部開設、短期大学部募集停止   |
| 2002(平成14)年 4月 | [女子大学]学芸学部にて情報メディア学科開設<br>[香里中学]共学化   |
| 2004(平成16)年 4月 | [大学]政策学部開設<br>工学部に情報システムデザイン学科、環境システム学科開設<br>司法研究科(法科大学院)開設<br>ビジネス研究科(ビジネススクール)開設<br>[女子大学]現代社会学部に現代こども学科開設<br>国際社会システム研究科開設 |
| 2005(平成17)年 4月 | 創立130周年を迎え記念事業を行う<br>[大学]文学部・文学研究科を再編して社会学部・社会学研究科開設<br>文化情報学部開設<br>[女子大学]薬学部開設   |
| 2006(平成18)年 4月 | 同志社小学校開校  |
| 2007(平成19)年 4月 | [大学]文化情報科学研究科開設<br>[女子大学]学芸学部にて国際教養学科開設   |
| 2008(平成20)年 4月 | [大学]生命医科学部開設、スポーツ健康科学部開設、工学部を再編理工学部開設、理工学部に数理システム学科開設、生命医科学研究科開設  |
| 2009(平成21)年 4月 | [大学]心理学部・心理学研究科開設<br>[女子大学]表象文化学部開設   |
| 2010(平成22)年 4月 | 創立135周年を迎え記念事業を行う<br>[大学]スポーツ健康科学研究科開設、グローバル・スタディーズ研究科開設<br>[中高]中学校・高等学校統合  |
| 2011(平成23)年 4月 | [大学]グローバル・コミュニケーション学部開設<br>同志社国際学院開校  |
| 2012(平成24)年 4月 | [大学]脳科学研究科開設<br>工学研究科を理工学研究科と改称<br>[女子大学]薬学研究科開設  |
| 2013(平成25)年 4月 | [大学]グローバル地域文化学部開設<br>[女子大学]音楽専攻科開設  |
| 2014(平成26)年 4月 | [大学]ビジネス研究科グローバル経営研究専攻修士課程開設  |
| 2015(平成27)年 4月 | 創立140周年を迎え記念事業を行う<br>[女子大学]看護学部開設   |
| 2017(平成29)年 9月 | [大学]留学生別科廃止<br>[大学]アメリカ研究科廃止  |
| 2018(平成30)年 4月 | [女子大学]看護学研究科開設  |
| 2020(令和2)年 4月  | [幼稚園]移転   |

(2022年4月現在)

# 財務の概要

## 2021年度決算の概況

2021年度も昨年度に引き続き、社会全体が新型コロナウイルス感染症に翻弄され続ける状況の中にありましたが、本法人においては、大学の「同志社大学ビジョン2025」、女子大学の「Vision150」を含め、創立150周年を迎える2025年を見据えた将来構想への着実な歩みを止めることなく、良心教育を基軸とした教育研究活動の高度化、活性化を推し進める一年となりました。

法人内各学校の学生・生徒・児童・園児数は、特に大学および女子大学の入学定員管理厳格化もあり、2020年度の42,091名から本年度は957名減少の41,134名(各5月1日現在)となりましたが、学生生徒等納付金の安定的収入を確保することができました。

また、同志社大学 2025 ALL DOSHISHA募金や同志社女子大学サポーターズ募金“ぶどうの樹”、新型コロナウイルス感染症に

伴う在学生支援募金および株式の現物寄付による寄付金の増収、受取利息・配当金の増収に加え、本年度特有の収入としての多々羅キャンパス売却に伴う資産売却差額などにより、事業活動収入計は予算を上回る額を確保することができました。

支出では、経常的に必要となる人件費および教育研究経費は、節減や執行残などにより減少しました。また、施設設備整備事業では、大学の新学生寮(継志寮)建設工事や香里中学校・高等学校のメディアセンター(繋真館)建設工事などを実施しました。

以下、学校法人会計基準に基づく計算書を中心にして、本年度の本学の財政状況を説明します。

(文中、表の金額は、説明のため百万円未満を四捨五入等調整し、百万円単位で表しています。)

## 学校会計の用語解説

国または、地方公共団体から経常費補助金の交付を受ける学校法人は、私立学校振興助成法の定めにより、学校法人会計基準に従って会計処理を行い、計算書類を作成しなければなりません。

計算書類は、主要なものとして資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の3種類があります。この3種類に加えて、付属の表として活動区分資金収支計算書を掲載しています。

### 資金収支計算書

当該年度の支払資金の顛末、すなわち学校法人の1年間の諸活動に伴うお金の動きを網羅したものです。

### 活動区分資金収支計算書

資金収支計算書を3つの活動区分(教育活動、施設整備等活動、その他の活動)ごとの収支に組み替えて、各々の活動の資金の流れを表したものです。

教育活動による資金収支は、キャッシュベースによる本業の教育研究活動の収支状況です。施設整備等活動による資金収支は、当年度の施設設備の整備にかかる支出とその財源を表しています。その他の活動による資金収支は、借入金や資金運用などの財務活動です。

### 事業活動収支計算書

当該年度の経常的な事業活動(教育活動収支、教育活動外収支)と臨時的な事業活動(特別収支)に区分して、それぞれの経営状況および収支の均衡状態を表したものです。

教育活動収支は、学校本来の経常的な教育研究活動にかかる収入および支出です。教育活動外収支は、経常的な財務活動および収益事業の活動にかかる収入および支出です。特別収支は、施設設備の整備などにかかる臨時的な収入および支出です。

### 貸借対照表

一定時点(3月末現在)の財産の状態を明らかにするものです。

### 学校会計と企業会計

企業会計の計算書類の主な目的は経営成績を明らかにして利益を測定することですが、学校会計の計算書類では収支の対応を明示して財政の均衡状態を表すことに主眼が置かれています。

教育研究活動を事業目的とする学校法人は公共性が高い公益法人であり、その安定性、継続性が強く求められていることから、学校法人会計基準も長期にわたる収支の均衡を求める内容となっています。

それぞれの計算書類で使用する用語とその意味は次のとおりです。

### 教育研究経費と管理経費

物件費は、直接教育研究に要するものとそれ以外の経費に分類します。前者を教育研究経費、後者を管理経費といいます。管理経費に該当するものは、役員の業務遂行、総務・人事・財務・経理その他法人業務、教職員の福利厚生、学生募集、食堂や売店、学寮(全寮制を除く)に要する経費などです。

### 事業活動収入

事業活動収支計算書の教育活動収支・教育活動外収支・特別収支の収入の部を合計したものです。当該年度の収入のうち、学校法人の負債とならない収入をいいます。したがって借入金、前受金、預り金などは含まれません。

### 事業活動支出

事業活動収支計算書の教育活動収支・教育活動外収支・特別収支の支出の部と予備費を合計したものです。人件費、物件費、減価償却額、借入金利息など当該年度に消費する支出です。

### 基本金組入額

基本金とは、学校法人がその諸活動の計画に基づいて継続的に維持すべき資産で、以下の第1号から第4号に該当するものです。これは事業活動収入と事業活動支出の差額(=基本金組入前当年度収支差額)の中から充当します。これを基本金の組入(くみいれ)といいます。

第1号基本金は自己資金による土地、建物、設備などの固定資産の取得額、第2号基本金は将来の固定資産取得に備えた資金の先行組入額、第3号基本金は基金の積立額、第4号基本金は恒常的に保持すべきものとされる1ヶ月分の運転資金相当額です。

### 当年度収支差額

事業活動収入と事業活動支出の差額(=基本金組入前当年度収支差額)から基本金組入額を控除した額で、当年度の財政の均衡状態を表します。これがマイナスであると、支出超過いわゆる赤字で、収支が均衡せず資金不足となっていることを示します。

## 資金収支計算書

2021年度法人総合資金収支計算書は表1のとおりです。

(〔 〕内は予算比・+は増加、△は減少)

### 1 収入の部

#### ■ 学生生徒等納付金収入

482億9,100万円(+1億1,700万円)

予算積算時の収納見込額からの差異により、主に国際中学校・高等学校で1,700万円の減収がある一方、女子大学で1億2,400万円、中学校・高等学校で1,200万円の増収です。

#### ■ 手数料収入

20億2,400万円(△5,300万円)

減少の主な要因は入学検定料で、予算計上数に対する入学志願者数の見込みからの増減により、主に女子大学で6,000万円の減収です。

#### ■ 寄付金収入

7億6,700万円(+1,500万円)

民間企業、在学生の保護者、卒業生、父母の会、校友会などからの寄付の他、研究助成あての奨学寄付、同志社大学2025 ALL DOSHISHA募金や同志社女子大学サポーターズ募金“ぶどうの樹”、新型コロナウイルス感染症に伴う在学生支援募金への寄付などを受け入れました。

#### ■ 補助金収入

62億8,100万円(+2億2,900万円)

国庫補助金は、大学、女子大学における日本私立学校振興・共済事業団の私立大学等経常費補助金や文部科学省の私立学校施設整備費補助金および研究設備整備費等補助金に加え、高等教育の修学支援新制度に伴う授業料等減免費交付金等を受け入れ、予算に対して2,900万円増収の42億4,800万円となりました。

地方公共団体補助金は、京都府や大阪府などから各中学校・高等学校、小学校、国際学院、幼稚園への私学運営費補助金や学費軽減に係る補助金などで、予算に対して1億9,700万円増収の20億2,900万円となりました。

#### ■ 資産売却収入

21億円(+21億円)

大学において国際交流およびスポーツ施設としてこれまで活用してきた、多々羅キャンパスの売却に伴う収入です。

#### ■ 付随事業・収益事業収入

13億400万円(+1億5,900万円)

企業などからの共同研究・受託研究による収入、寮費や小学校給食費、知的財産に係る収入などを計上しています。大学の受託事業収入でワクチン職域接種に係る収入1億900万円を含み2億6,100万円の増収がある一方、大学の補助活動収入で1億1,400万円の減収です。

#### ■ 受取利息・配当金収入

3億9,000万円(+2億1,700万円)

第3号基本金引当特定資産運用収入およびその他の受取利息・配当金ともに、運用実績により増収となりました。

#### ■ 雑収入

10億700万円(△9,900万円)

教室利用料などの施設設備利用料で8,300万円の減収です。

#### ■ その他の収入

264億5,300万円(+231億7,400万円)

第2号基本金引当特定資産取崩収入は大学の新学生寮(継志寮)建設資金や香里中学校・高等学校のメディアセンター(繋真館)建設資金への充当です。また、第3号基本金、退職給与、減価償却の引当特定資産取崩収入は、満期を迎えた有価証券の償還などによるものです。

表1 2021(令和3)年度 法人総合資金収支計算書

(単位:百万円)

| 科目        | 支出の部    |         |          | 科目          | 収入の部     |          |          |
|-----------|---------|---------|----------|-------------|----------|----------|----------|
|           | 予算      | 決算      | 差異       |             | 予算       | 決算       | 差異       |
| 人件費支出     | 32,160  | 31,315  | 845      | 学生生徒等納付金収入  | 48,174   | 48,291   | △ 117    |
| 教育研究経費支出  | 16,831  | 15,872  | 959      | 手数料収入       | 2,077    | 2,024    | 53       |
| 管理経費支出    | 2,557   | 2,775   | △ 218    | 寄付金収入       | 752      | 767      | △ 15     |
| 借入金等利息支出  | 0       | 0       | 0        | 補助金収入       | 6,052    | 6,281    | △ 229    |
| 借入金等返済支出  | 0       | 0       | 0        | 資産売却収入      | 0        | 2,100    | △ 2,100  |
| 施設関係支出    | 5,178   | 3,497   | 1,681    | 付随事業・収益事業収入 | 1,145    | 1,304    | △ 159    |
| 設備関係支出    | 1,341   | 1,071   | 270      | 受取利息・配当金収入  | 173      | 390      | △ 217    |
| 資産運用支出    | 3,500   | 31,750  | △ 28,250 | 雑収入         | 1,106    | 1,007    | 99       |
| その他の支出    | 1,209   | 1,575   | △ 366    | 借入金等収入      | 0        | 0        | 0        |
| 予備費       | 375     | 0       | 375      | 前受金収入       | 9,940    | 10,273   | △ 333    |
|           |         |         |          | その他の収入      | 3,279    | 26,453   | △ 23,174 |
| 資金支出調整勘定  | △ 1,087 | △ 1,448 | 361      | 資金収入調整勘定    | △ 10,717 | △ 10,641 | △ 76     |
| 翌年度繰越支払資金 | 24,810  | 26,735  | △ 1,925  | 前年度繰越支払資金   | 24,893   | 24,893   |          |
| 支出の部合計    | 86,874  | 113,142 | △ 26,268 | 収入の部合計      | 86,874   | 113,142  | △ 26,268 |

## 資金収支計算書

### 2 支出の部

#### 人件費支出

313億1,500万円(△8億4,500万円)

教員人件費は217億1,300万円が3億7,400万円の減少、職員人件費は86億4,000万円が2億4,000万円の減少で、大学での教員数の見込からの減少および教職員の退職などの予算積算時からの増などによるものです。退職金支出は9億4,700万円で、依願退職者に係る見込み額からの減少などにより2億3,200万円減少しました。

なお、前年度に比べると、教員人件費は4,700万円の減少、職員人件費は1億6,700万円の増加となっています。

#### 教育研究経費支出

158億7,200万円(△9億5,900万円)

大学での学部・研究科等教育研究費および施設設備維持管理費用の節減および執行残などにより、特に光熱水費、旅費交通費、修繕費が減少し、施設設備整備に係る事業費の予算計上後の勘定科目変更による増額があるものの、総額では予算を大きく下回りました。

なお、前年度は152億8,900万円で、コロナ禍の影響による旅費交通費などの執行の停滞がある一方、施設設備整備を重点的にを行い、5億8,300万円の増加となっています。

#### 管理経費支出

27億7,500万円(+2億1,800万円)

予算未計上のワクチン職域接種に係る委託費などにより予算に比べて増加し、前年度実績の27億円から7,500万円の増加となっています。

#### 施設関係支出

34億9,700万円(△16億8,100万円)

#### 設備関係支出

10億7,100万円(△2億7,000万円)

建物、構築物、機器備品、図書、ソフトウェアなどの固定資産取得による支出です。なお、固定資産への計上が必要とされるリース取引にかかるリース料総額を含んでいます。

本年度の主な施設設備整備事業は以下のとおりで、予算からの減少の主な要因は、予算計上事業の執行時の教育研究経費への勘定科目変更および工事計画変更による執行減です。

#### ■大学

新学生寮(継志寮)建設工事 11億8,200万円

教室・研究室棟(育真館)改築工事 2億9,100万円

京田辺キャンパストイレ改修工事 2億1,300万円

複合棟(寒梅館)空調設備改修工事 1億6,400万円

教室棟(寧静館)改築工事 1億6,200万円

#### ■香里中学校・高等学校

メディアセンター(繋真館)建設工事 6億5,700万円

#### 資産運用支出

317億5,000万円(+282億5,000万円)

有価証券の満期償還に伴う各引当特定資産などの買い替えおよび本年度に増額した各引当特定資産への繰り入れによる支出です。

表2 2021(令和3)年度 法人総合活動区分資金収支計算書

(単位:百万円)

| 科目            |            | 金額       | 科目               |                  | 金額               | 科目     |                  | 金額             |       |
|---------------|------------|----------|------------------|------------------|------------------|--------|------------------|----------------|-------|
| 収入            | 学生生徒等納付金収入 | 48,291   | 収入               | 施設設備寄付金収入        | 71               | 収入     | 金銭信託取崩収入         | 0              |       |
|               | 手数料収入      | 2,024    |                  | 施設設備補助金収入        | 112              |        | 第3号基本金引当特定資産取崩収入 | 4,222          |       |
|               | 特別寄付金収入    | 659      |                  | 施設設備売却収入         | 2,100            |        | 退職給与引当特定資産取崩収入   | 2,600          |       |
|               | 一般寄付金収入    | 37       |                  | 第2号基本金引当特定資産取崩収入 | 1,770            |        | 受取利息・配当金収入       | 390            |       |
|               | 経常費等補助金収入  | 6,169    |                  | 減価償却引当特定資産取崩収入   | 16,399           |        | その他の収入           | 575            |       |
|               | 付随事業収入     | 1,304    |                  | 施設整備等活動資金収入計     | 20,452           |        | その他の活動資金収入計      | 7,787          |       |
|               | 雑収入        | 896      |                  | 施設関係支出           | 3,497            |        | 金銭信託購入支出         | 1,000          |       |
|               | 教育活動資金収入計  | 59,380   |                  | 設備関係支出           | 1,071            |        | 第3号基本金引当特定資産繰入支出 | 4,233          |       |
|               | 支出         | 人件費支出    |                  | 31,315           | 第2号基本金引当特定資産繰入支出 |        | 3,500            | 退職給与引当特定資産繰入支出 | 2,618 |
|               |            | 教育研究経費支出 |                  | 15,872           | 減価償却引当特定資産繰入支出   |        | 20,399           | その他の支出         | 141   |
| 管理経費支出        |            | 2,751    | 施設整備等活動資金支出計     | 28,467           | その他の活動資金支出計      | 7,992  |                  |                |       |
| 教育活動資金支出計     |            | 49,938   | 差引               | △ 8,015          | 差引               | △ 205  |                  |                |       |
| 調整勘定等         |            | 562      | 調整勘定等            | 58               | 調整勘定等            | 0      |                  |                |       |
| 教育活動資金収支差額(A) |            | 10,004   | 施設整備等活動資金収支差額(B) | △ 7,957          | その他の活動資金収支差額(C)  | △ 205  |                  |                |       |
| 小計(A)+(B)     |            | 2,047    | 小計(A)+(B)        | 2,047            | 小計+(C)           | 1,842  |                  |                |       |
| 前年度繰越支払資金     |            | 24,893   | 前年度繰越支払資金        | 24,893           | 前年度繰越支払資金        | 24,893 |                  |                |       |
| 翌年度繰越支払資金     |            | 26,735   | 翌年度繰越支払資金        | 26,735           | 翌年度繰越支払資金        | 26,735 |                  |                |       |

表3 資金収支計算書の推移

(単位:百万円)

| 科目          | 2017     | 2018     | 2019     | 2020     | 2021     |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| <b>収入の部</b> |          |          |          |          |          |
| 学生生徒等納付金収入  | 48,504   | 48,680   | 48,381   | 48,456   | 48,291   |
| 手数料収入       | 2,501    | 2,328    | 2,197    | 1,986    | 2,024    |
| 寄付金収入       | 894      | 751      | 815      | 885      | 767      |
| 補助金収入       | 5,316    | 5,105    | 5,029    | 6,392    | 6,281    |
| 資産売却収入      | 21       | 8        | 0        | 230      | 2,100    |
| 付随事業・収益事業収入 | 1,348    | 1,157    | 1,088    | 1,132    | 1,304    |
| 受取利息・配当金収入  | 445      | 411      | 339      | 377      | 390      |
| 雑収入         | 1,747    | 1,422    | 1,634    | 1,233    | 1,007    |
| 借入金等収入      | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 前受金収入       | 9,942    | 9,612    | 9,718    | 9,883    | 10,273   |
| その他の収入      | 23,577   | 22,748   | 32,834   | 30,781   | 26,453   |
| 資金収入調整勘定    | △ 11,185 | △ 10,992 | △ 10,804 | △ 10,757 | △ 10,641 |
| 前年度繰越支払資金   | 26,222   | 28,871   | 28,566   | 30,639   | 24,893   |
| 収入の部合計      | 109,332  | 110,101  | 119,797  | 121,237  | 113,142  |
| <b>支出の部</b> |          |          |          |          |          |
| 人件費支出       | 32,222   | 31,627   | 32,347   | 31,779   | 31,315   |
| 教育研究経費支出    | 16,017   | 15,855   | 15,374   | 15,289   | 15,872   |
| 管理経費支出      | 2,668    | 2,852    | 2,566    | 2,700    | 2,751    |
| 借入金等利息支出    | 3        | 1        | 0        | 0        | 0        |
| 借入金等返済支出    | 91       | 78       | 11       | 0        | 0        |
| 施設関係支出      | 4,784    | 1,759    | 3,901    | 3,755    | 3,497    |
| 設備関係支出      | 1,990    | 1,094    | 1,298    | 1,342    | 1,071    |
| 資産運用支出      | 21,964   | 27,940   | 33,540   | 41,610   | 31,750   |
| その他の支出      | 2,488    | 1,900    | 1,596    | 1,399    | 1,575    |
| 予備費         | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 資金支出調整勘定    | △ 1,766  | △ 1,571  | △ 1,475  | △ 1,530  | △ 1,448  |
| 翌年度繰越支払資金   | 28,871   | 28,566   | 30,639   | 24,893   | 26,735   |
| 支出の部合計      | 109,332  | 110,101  | 119,797  | 121,237  | 113,142  |

表4 活動区分資金収支計算書の推移

(単位:百万円)

| 科目                    | 2017     | 2018     | 2019     | 2020     | 2021     |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| <b>教育活動による資金収支</b>    |          |          |          |          |          |
| 収入                    | 48,504   | 48,680   | 48,381   | 48,456   | 48,291   |
| 支出                    | 59,661   | 59,204   | 58,962   | 59,788   | 59,380   |
| 差引                    | △ 11,157 | △ 10,524 | △ 10,581 | △ 11,332 | △ 11,089 |
| 調整勘定等                 | △ 785    | △ 397    | △ 169    | 582      | 562      |
| 教育活動資金収支差額(A)         | 7,996    | 8,500    | 8,529    | 10,650   | 10,004   |
| <b>施設整備等活動による資金収支</b> |          |          |          |          |          |
| 収入                    | 419      | 87       | 146      | 135      | 71       |
| 支出                    | 19,875   | 14,715   | 18,900   | 18,697   | 20,452   |
| 差引                    | △ 19,456 | △ 14,628 | △ 18,754 | △ 18,562 | △ 20,381 |
| 調整勘定等                 | △ 113    | 43       | 89       | △ 115    | 58       |
| 施設整備等活動資金収支差額(B)      | △ 6,324  | △ 9,735  | △ 7,535  | △ 9,525  | △ 7,957  |
| 小計(A)+(B)             | 1,672    | △ 1,235  | 994      | 1,125    | 2,047    |
| <b>その他の活動による資金収支</b>  |          |          |          |          |          |
| 収入                    | 2,100    | 1,802    | 4,799    | 3,722    | 2,600    |
| 支出                    | 1,893    | 1,700    | 4,536    | 3,500    | 2,618    |
| 差引                    | 207      | 102      | 263      | 222      | △ 18     |
| 調整勘定等                 | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        |
| その他の活動資金収支差額(C)       | 207      | 102      | 263      | 222      | △ 18     |
| 小計+(C)                | 2,649    | △ 305    | 2,079    | △ 5,746  | 1,842    |
| 前年度繰越支払資金             | 26,222   | 28,871   | 28,566   | 30,639   | 24,893   |
| 翌年度繰越支払資金             | 28,871   | 28,566   | 30,639   | 24,893   | 26,735   |

# 事業活動収支計算書

2021年度法人総合事業活動収支計算書は表5のとおりです。

[( )内は予算比+は増加、△は減少]

## 1 事業活動収入計

613億3,200万円(+18億5,300万円)

学生生徒等納付金、手数料および経常費等補助金はほぼ予算どおりですが、寄付金で株式の現物寄付があったこと、受取利息・配当金の増収、多々羅キャンパス売却による資産売却差額などにより、予算比3.1%の増加となりました。前年度と比べても7億5,300万円、1.2%増となっています。

## 2 事業活動支出計

565億1,300万円(△16億7,600万円)

管理経費は予算額を上回る執行となりましたが、人件費および教育研究経費における節減や執行残に加え、予備費の未執行により、事業活動支出計は予算内に収まりました。予算に対して2.9%の減少となる一方、前年度からは4億7,100万円、0.8%増となっています。

## 3 基本金組入前当年度収支差額

48億1,900万円

予算では12億9,000万円の収入超過で基本金組入に十分な額を確保できていませんでしたが、事業活動収入の大幅増と事業活動収入の大幅減により、予算に対して35億2,900万円改善しました。また、前年度比で2億8,200万円収入超過が増加しました。

## 4 基本金組入額合計

41億2,200万円(+16億4,000万円)

### ■ 第1号基本金組入額

2億4,000万円(△6億8,300万円)

当年度の固定資産増加額は施設および設備関係支出、現物寄付で47億1,400万円、過年度未組入に係る組入(未払金支払)は6,400万円となり、一方で施設や設備の更新による当期除却高は27億円、過年度に組入れた第2号基本金からの振替額は17億

7,000万円、未払金計上による未組入額の増加は6,800万円となっています。

### ■ 第2号基本金組入額

35億円(+20億円)

将来に教学施設設備などを取得するため、大学で教学施設設備整備資金12億円、研究装置設備等整備資金1億円、女子大学で教育施設設備環境整備資金1億円、香里中中で教学施設整備資金1億円を予算計上額どおり組入れたほか、多々羅キャンパス売却に関連して大学で教学施設設備整備資金20億円の組入を行いました。

### ■ 第3号基本金組入額

3億8,200万円(+3億8,200万円)

大学で基金の運用果実による基金組入1,100万円、女子大学で株式の現物寄付による組入3億7,100万円を行いました。

### ■ 第4号基本金組入額

- (△5,900万円)

前年度決算額に基づき、本年度は組入が不要となりました。

## 5 当年度収支差額

6億9,700万円

予算では11億9,200万円の支出超過でしたが、事業活動収入の大幅増と事業活動支出の大幅減により、基本金組入額も増加する中、予算に対して18億8,900万円改善し、支出超過が収入超過に転じることとなりました。

## 6 基本金取崩額

27億6,400万円(+27億6,400万円)

予算未計上の多々羅キャンパス売却に係る除却および予算からの固定資産取得価額の減少により、多額の基本金取崩額が発生することとなりました。

## 7 翌年度繰越収支差額

△236億1,100万円

表5 2021(令和3)年度 法人総合事業活動収支計算書

(単位:百万円)

| 収入の部        |        |        | 支出の部    |                 |          | 特別収支     |         |  |
|-------------|--------|--------|---------|-----------------|----------|----------|---------|--|
| 科目          | 予算     | 決算     | 差異      | 科目              | 予算       | 決算       | 差異      |  |
| 学生生徒等納付金    | 48,174 | 48,291 | △ 117   | 資産売却差額          | 0        | 742      | △ 742   |  |
| 手数料         | 2,077  | 2,024  | 53      | その他の特別収入        | 252      | 440      | △ 188   |  |
| 寄付金         | 500    | 1,067  | △ 567   | うち 施設設備寄付金・現物寄付 | 252      | 218      | 34      |  |
| 経常費等補助金     | 6,052  | 6,169  | △ 117   | うち 施設設備補助金      | 0        | 112      | △ 112   |  |
| 付随事業収入      | 1,145  | 1,304  | △ 159   | 特別収入計           | 252      | 1,182    | △ 930   |  |
| 雑収入         | 1,106  | 905    | 201     | 資産処分差額          | 404      | 539      | △ 135   |  |
| 教育活動収入計     | 59,054 | 59,760 | △ 706   | その他の特別支出        | 0        | 25       | △ 25    |  |
| 人件費         | 32,095 | 31,333 | 762     | 特別支出計           | 404      | 564      | △ 160   |  |
| 教育研究経費      | 22,382 | 21,453 | 929     | 特別収支差額          | △ 152    | 618      | △ 770   |  |
| うち 減価償却額    | 5,551  | 5,581  | △ 30    | 予備費             | 375      | 0        | 375     |  |
| 管理経費        | 2,918  | 3,132  | △ 214   | 基本金組入前当年度収支差額   | 1,290    | 4,819    | △ 3,529 |  |
| うち 減価償却額    | 361    | 381    | △ 20    | 基本金組入額合計        | △ 2,482  | △ 4,122  | 1,640   |  |
| 徴収不能額等      | 15     | 31     | △ 16    | 第1号基本金組入額       | △ 923    | △ 240    | △ 683   |  |
| 教育活動支出計     | 57,410 | 55,949 | 1,461   | 第2号基本金組入額       | △ 1,500  | △ 3,500  | 2,000   |  |
| 教育活動収支差額    | 1,644  | 3,811  | △ 2,167 | 第3号基本金組入額       | 0        | △ 382    | 382     |  |
| 受取利息・配当金    | 173    | 390    | △ 217   | 第4号基本金組入額       | △ 59     | 0        | △ 59    |  |
| その他の教育活動外収入 | 0      | 0      | 0       | 当年度収支差額         | △ 1,192  | 697      | △ 1,889 |  |
| 教育活動外収入計    | 173    | 390    | △ 217   | 前年度繰越収支差額       | △ 27,072 | △ 27,072 | 0       |  |
| 借入金利息       | 0      | 0      | 0       | 基本金取崩額          | 0        | 2,764    | △ 2,764 |  |
| その他の教育活動外支出 | 0      | 0      | 0       | 翌年度繰越収支差額       | △ 28,264 | △ 23,611 | △ 4,653 |  |
| 教育活動外支出計    | 0      | 0      | 0       | (参考)            |          |          |         |  |
| 教育活動外収支差額   | 173    | 390    | △ 217   | 事業活動収入計         | 59,479   | 61,332   | △ 1,853 |  |
| 経常収支差額      | 1,817  | 4,201  | △ 2,384 | 事業活動支出計         | 58,189   | 56,513   | 1,676   |  |

図1 事業活動収入の構成比

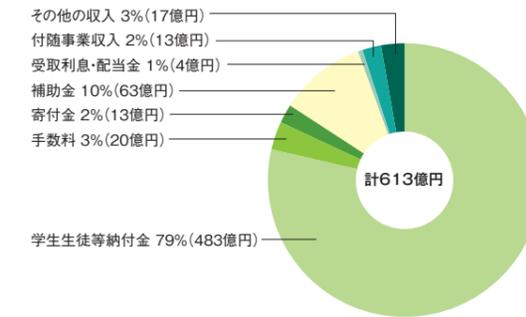


図2 事業活動支出+基本金組入額の構成比

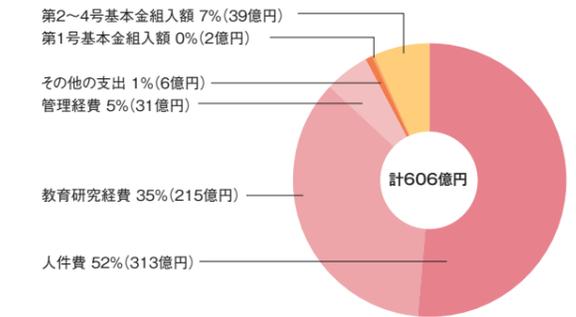


表6 収支の推移

(単位:百万円)

| 科目            | 2012     | 2013     | 2014     | 2015     | 2016     | 2017     | 2018     | 2019     | 2020     | 2021     |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 学生生徒等納付金      | 46,811   | 47,413   | 47,762   | 47,920   | 48,462   | 48,504   | 48,680   | 48,381   | 48,456   | 48,291   |
| 手数料           | 2,266    | 2,329    | 2,246    | 2,242    | 2,416    | 2,501    | 2,328    | 2,197    | 1,986    | 2,024    |
| 寄付金           | 1,411    | 903      | 832      | 747      | 798      | 1,093    | 823      | 1,265    | 970      | 1,285    |
| 補助金           | 6,106    | 7,180    | 6,164    | 5,846    | 4,969    | 5,315    | 5,105    | 5,029    | 6,392    | 6,281    |
| 受取利息・配当金      | 859      | 777      | 675      | 954      | 508      | 445      | 411      | 339      | 377      | 390      |
| 付随事業収入        | 945      | 1,071    | 1,139    | 1,372    | 1,243    | 1,348    | 1,157    | 1,088    | 1,132    | 1,304    |
| その他の収入        | 1,914    | 1,495    | 1,479    | 1,099    | 1,080    | 1,770    | 1,460    | 1,665    | 1,266    | 1,757    |
| 事業活動収入合計      | 60,312   | 61,168   | 60,297   | 60,180   | 59,476   | 60,976   | 59,964   | 59,964   | 60,579   | 61,332   |
| 人件費           | 29,509   | 30,213   | 30,768   | 30,799   | 31,138   | 32,014   | 31,525   | 32,084   | 31,588   | 31,333   |
| 教育研究経費        | 21,352   | 21,910   | 22,526   | 22,898   | 22,435   | 22,124   | 22,012   | 21,272   | 21,004   | 21,453   |
| 管理経費          | 2,797    | 2,884    | 2,975    | 3,003    | 2,793    | 2,908    | 3,122    | 2,847    | 2,989    | 3,132    |
| その他の支出        | 632      | 752      | 249      | 223      | 529      | 375      | 215      | 567      | 461      | 595      |
| 事業活動支出計       | 54,290   | 55,759   | 56,518   | 56,923   | 56,895   | 57,421   | 56,874   | 56,770   | 56,042   | 56,513   |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 6,022    | 5,409    | 3,779    | 3,257    | 2,581    | 3,555    | 3,090    | 3,194    | 4,537    | 4,819    |
| 基本金組入額合計      | △ 7,093  | △ 5,791  | △ 6,374  | △ 4,379  | △ 3,378  | △ 1,760  | △ 2,109  | △ 3,664  | △ 4,133  | △ 4,122  |
| 当年度収支差額       | △ 1,071  | △ 382    | △ 2,595  | △ 1,122  | △ 797    | 1,795    | 981      | △ 470    | 404      | 697      |
| 前年度繰越収支差額     | △ 26,099 | △ 27,170 | △ 27,552 | △ 30,144 | △ 31,072 | △ 31,465 | △ 29,652 | △ 28,264 | △ 28,136 | △ 27,072 |
| 基本金取崩額        | 0        | 0        | 3        | 194      | 404      | 18       | 407      | 598      | 660      | 2,764    |
| 翌年度繰越収支差額     | △ 27,170 | △ 27,552 | △ 30,144 | △ 31,072 | △ 31,465 | △ 29,652 | △ 28,264 | △ 28,136 | △ 27,072 | △ 23,611 |

※2015年度からの学校法人会計基準の一部改正に伴い、2014年度以前については次のとおり基準改正後の科目に組み替えて表示しています。  
2014年度以前の帰属収入=事業活動収入、資産運用収入(施設設備利用料を除く)=受取利息・配当金、事業収入=付随事業収入、消費支出=事業活動支出

事業活動収入の多くを占める学生生徒等納付金はなだらかな増加傾向後は伸びが止まっていますが、それ以外の各収入の影響により、事業活動収入全体としては600億円を前後する状況と

なっています。一方、事業活動支出の伸びは留まる傾向にあり、基本金組入額も一定規模で推移しているため、当年度収支差額は収支均衡に近づいています。

図3 事業活動収入の伸び率



※2015年度からの学校法人会計基準の一部改正に伴い、2014年度以前については次のとおり基準改正後の科目に組み替えて表示しています。  
2014年度以前の帰属収入=事業活動収入、資産運用収入(施設設備利用料を除く)=受取利息・配当金、事業収入=付随事業収入、消費支出=事業活動支出

図3、図4は事業活動収入と事業活動支出の主な科目の伸び率です。事業活動収入では、学生生徒等納付金はなだらかな上昇カーブ後は伸びが止まっています。手数料は、近年はやや減少傾向です。付随事業収入は年によりばらつきがありますが、共同研究・受託研究などで

図4 事業活動支出の伸び率



の産官学連携の進展を反映しています。事業活動支出では、教育研究活動の活性化に比して教育研究経費は抑制気味ですが、人件費については計画的・安定的な教職員の配置との金額面のバランスに留意している状況を反映しています。

## 貸借対照表

2021年度法人総合貸借対照表は表7のとおりです。また、表8は過去10年間の貸借対照表の推移で、図5はこれをグラフ化したものです。繰越収支差額は支出超過であるため、棒グラフの基本金の先端部分に網掛けで表現しており、この部分が支出超過額となります。

### 1 資産の部

固定資産のうち有形固定資産は、教育研究活動の拠点となる土地、建物、構築物や機器備品の整備充実と既存建物の取替更新により推移してきました。2012年度は、大学良心館、志高館、香里中学校・高等学校尚志館、香友館の建設、2014年度は、大学訪知館、言館、光館の建設、2015年度は、女子中学校・高等学校希望館の建設、2017年度は、女子大学新心館、楽真館、恵愛館の建設および聡恵館の増築、2019年度は、女子大学いづみ寮、幼稚園シャローム・ハウス、2020年度は大学致遠館、2021年度は大学継志寮、香里中学校・高等学校繋真館などの整備を進めています。2021年度末現在の建設仮勘定は、主に大学の教室・研究室棟(育真館)および教室棟(寧静館)改築工事によるものです。

特定資産は、第2号基本金、第3号基本金、退職給与および減価償却に係る引当特定資産をそれぞれ増額しました。

本年度末の固定資産総額は、有形固定資産が大きく減少する一方、これを上回る特定資産の増額により、前年度から25億8,700万円増加し、2,315億7,900万円となりました。

流動資産は、現金預金、金銭信託などで、本年度末は前年度からは26億7,500万円増加し、372億5,600万円となりました。

### 2 負債・純資産の部

固定負債の主な内容は退職給与引当金で、その全額を退職給与引当特定資産として保有しております。

流動負債は新入生学費の前受金が大部分を占めています。なお、本学では2019年度末に短期借入金を完済し、2021年度末現在も借入金残高はゼロとなっております。

基本金は、第1号基本金が自己資金による固定資産の取得と借入金の返済などで前年度比0.3%減の2,294億4,000万円、第2号基本金は計画に基づく組入と建設事業への充当の結果、前年度から17億3,000万円増加し110億4,000万円、第3号基本金は既存基金への組入れにより前年度から3億8,200万円増加し203億500万円、第4号基本金は前年度同額で、41億1,000万円となっています。

収支差額は、大規模な建設事業を自己資金で賄っていることもあり、依然として支出超過の状況ですが、昨年度から34億6,100万円収支が改善し、翌年度に繰り越す支出超過額は236億1,100万円となりました。

なお、減価償却額累計額は1,013億4,000万円で、減価償却額の累計額に対する自己資金の充足率については、76.7%となっております(2019年度70.4%、2020年度72.7%)。

表7 法人総合貸借対照表

2022(令和4)年 3月31日現在  
(単位:百万円)

| 資産の部          |                |         |         | 負債の部                 |                 |          |       |
|---------------|----------------|---------|---------|----------------------|-----------------|----------|-------|
| 科目            | 本年度末           | 前年度末    | 増減      | 科目                   | 本年度末            | 前年度末     | 増減    |
| <b>【固定資産】</b> | <b>231,579</b> | 228,992 | 2,587   | <b>【固定負債】</b>        | <b>14,328</b>   | 14,311   | 17    |
| (有形固定資産)      | 128,576        | 131,553 | △ 2,977 | 長期未払金                | 21              | 22       | △ 1   |
| 土地            | 17,452         | 18,463  | △ 1,011 | 退職給与引当金              | 14,288          | 14,270   | 18    |
| 建物            | 80,333         | 80,328  | 5       | 受入保証金                | 19              | 19       | 0     |
| 構築物           | 3,910          | 4,087   | △ 177   |                      |                 |          |       |
| 教育研究用機器備品     | 7,666          | 8,513   | △ 847   | <b>【流動負債】</b>        | <b>13,223</b>   | 12,798   | 425   |
| 管理用機器備品       | 173            | 198     | △ 25    | 未払金                  | 1,170           | 1,176    | △ 6   |
| 図書            | 18,518         | 18,350  | 168     | 前受金                  | 10,273          | 9,883    | 390   |
| 車両・舟艇・航空機     | 18             | 17      | 1       | 預り金                  | 1,492           | 1,470    | 22    |
| 建設仮勘定         | 506            | 1,597   | △ 1,091 | 修学旅行費預り金             | 275             | 260      | 15    |
|               |                |         |         | 仮受金                  | 13              | 9        | 4     |
| (特定資産)        | 100,633        | 94,503  | 6,130   | <b>負債の部合計</b>        | <b>27,551</b>   | 27,109   | 442   |
| 第2号基本金引当特定資産  | 11,040         | 9,310   | 1,730   |                      |                 |          |       |
| 第3号基本金引当特定資産  | 20,305         | 19,923  | 382     |                      |                 |          |       |
| 退職給与引当特定資産    | 14,288         | 14,270  | 18      |                      |                 |          |       |
| 減価償却引当特定資産    | 55,000         | 51,000  | 4,000   |                      |                 |          |       |
|               |                |         |         |                      |                 |          |       |
| (その他の固定資産)    | 2,370          | 2,936   | △ 566   |                      |                 |          |       |
| 借地権           | 208            | 208     | 0       | <b>【基本金】</b>         | <b>264,895</b>  | 263,536  | 1,359 |
| 電話加入権         | 20             | 20      | 0       | 第1号基本金               | 229,440         | 230,193  | △ 753 |
| 施設利用権         | 25             | 26      | △ 1     | 第2号基本金               | 11,040          | 9,310    | 1,730 |
| ソフトウェア        | 236            | 404     | △ 168   | 第3号基本金               | 20,305          | 19,923   | 382   |
| 有価証券          | 20             | 20      | 0       | 第4号基本金               | 4,110           | 4,110    | 0     |
| 長期貸付金         | 1,788          | 2,185   | △ 397   |                      |                 |          |       |
| 支払保証金         | 72             | 72      | 0       | <b>【繰越収支差額】</b>      | <b>△ 23,611</b> | △ 27,072 | 3,461 |
| 出資金           | 1              | 1       | 0       | (翌年度繰越収支差額)          | △ 23,611        | △ 27,072 | 3,461 |
|               |                |         |         | <b>純資産の部</b>         |                 |          |       |
| <b>【流動資産】</b> | <b>37,256</b>  | 34,581  | 2,675   | <b>純資産の部合計</b>       | <b>241,284</b>  | 236,464  | 4,820 |
| 現金預金          | 26,735         | 24,893  | 1,842   |                      |                 |          |       |
| 未収入金          | 732            | 1,003   | △ 271   | <b>減価償却額の累計額の合計額</b> | <b>101,340</b>  |          |       |
| 短期貸付金         | 0              | 1       | △ 1     | <b>基本金未組入額</b>       | <b>89</b>       |          |       |
| 金銭信託          | 9,000          | 8,000   | 1,000   |                      |                 |          |       |
| 前払金           | 291            | 288     | 3       |                      |                 |          |       |
| 仮払金           | 222            | 136     | 86      |                      |                 |          |       |
| 修学旅行費預り資産     | 276            | 260     | 16      |                      |                 |          |       |
| <b>資産の部合計</b> | <b>268,835</b> | 263,573 | 5,262   | <b>負債および純資産の部合計</b>  | <b>268,835</b>  | 263,573  | 5,262 |

表8 貸借対照表の推移

(単位:百万円)

| 資産の部          |                |                |                |                |                |                |                |                |                |                |
|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 科目            | 2012           | 2013           | 2014           | 2015           | 2016           | 2017           | 2018           | 2019           | 2020           | 2021           |
| 固定資産          | 209,969        | 213,161        | 217,887        | 220,878        | 222,646        | 222,507        | 225,394        | 226,303        | 228,992        | 231,579        |
| 有形固定資産        | 135,723        | 135,796        | 139,477        | 139,449        | 137,481        | 137,846        | 134,245        | 132,918        | 131,553        | 128,576        |
| 特定資産          |                |                |                | 76,311         | 80,180         | 80,133         | 87,191         | 89,905         | 94,503         | 100,633        |
| その他の固定資産      | 74,246         | 77,365         | 78,410         | 5,118          | 4,985          | 4,528          | 3,958          | 3,480          | 2,936          | 2,370          |
| 流動資産          | 26,415         | 28,219         | 26,924         | 27,685         | 27,908         | 30,895         | 30,454         | 32,540         | 34,581         | 37,256         |
| <b>資産の部合計</b> | <b>236,384</b> | <b>241,380</b> | <b>244,811</b> | <b>248,563</b> | <b>250,554</b> | <b>253,402</b> | <b>255,848</b> | <b>258,843</b> | <b>263,573</b> | <b>268,835</b> |

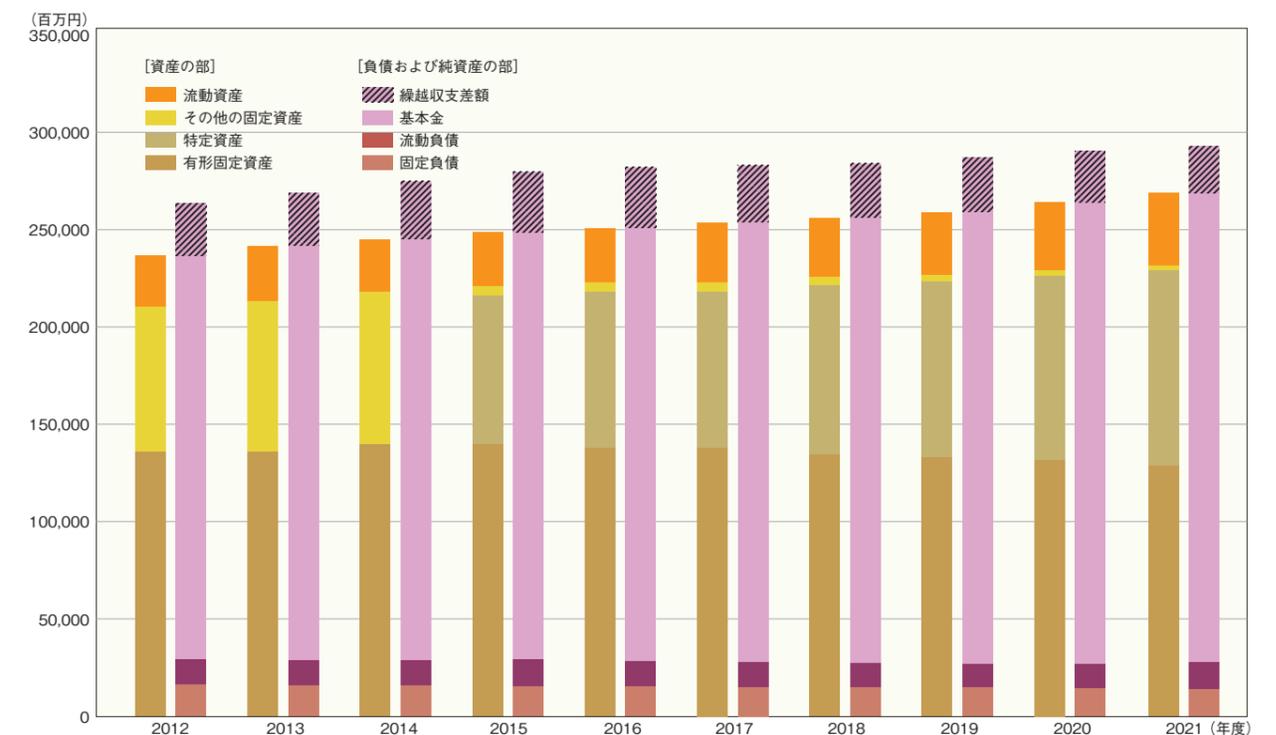
| 負債および純資産の部          |                |                |                |                |                |                |                |                |                |                |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 科目                  | 2012           | 2013           | 2014           | 2015           | 2016           | 2017           | 2018           | 2019           | 2020           | 2021           |
| 固定負債                | 16,239         | 15,797         | 15,566         | 15,346         | 15,229         | 14,916         | 14,819         | 14,546         | 14,311         | 14,328         |
| 流動負債                | 13,082         | 13,111         | 12,994         | 13,710         | 13,237         | 12,842         | 12,295         | 12,369         | 12,798         | 13,223         |
| <b>負債の部合計</b>       | <b>29,321</b>  | <b>28,908</b>  | <b>28,560</b>  | <b>29,056</b>  | <b>28,466</b>  | <b>27,758</b>  | <b>27,114</b>  | <b>26,915</b>  | <b>27,109</b>  | <b>27,551</b>  |
| 基本金                 | 234,233        | 240,024        | 246,395        | 250,579        | 253,553        | 255,296        | 256,998        | 260,064        | 263,536        | 264,895        |
| 繰越収支差額              | △ 27,170       | △ 27,552       | △ 30,144       | △ 31,072       | △ 31,465       | △ 29,652       | △ 28,264       | △ 28,136       | △ 27,072       | △ 23,611       |
| <b>純資産の部合計</b>      | <b>207,063</b> | <b>212,472</b> | <b>216,251</b> | <b>219,507</b> | <b>222,088</b> | <b>225,644</b> | <b>228,734</b> | <b>231,928</b> | <b>236,464</b> | <b>241,284</b> |
| <b>負債および純資産の部合計</b> | <b>236,384</b> | <b>241,380</b> | <b>244,811</b> | <b>248,563</b> | <b>250,554</b> | <b>253,402</b> | <b>255,848</b> | <b>258,843</b> | <b>263,573</b> | <b>268,835</b> |

|               |        |        |        |        |        |        |        |        |        |         |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 減価償却額の累計額の合計額 | 71,617 | 74,228 | 77,977 | 80,725 | 84,363 | 87,277 | 91,387 | 94,906 | 98,984 | 101,340 |
| 基本金未組入額       | 1,412  | 1,104  | 771    | 811    | 673    | 251    | 144    | 100    | 85     | 89      |

※2015年度からの学校法人会計基準の一部改正に伴い、基準改正後の科目に組み替えて表示しています。  
2014年度以前の消費収支差額=繰越収支差額、2015年度から、その他の固定資産については、その他の固定資産と特定資産に分けて表示しています。

図5 貸借対照表の推移



※2015年度からの学校法人会計基準の一部改正に伴い、基準改正後の科目に組み替えて表示しています。  
2014年度以前の消費収支差額=繰越収支差額、2015年度から、その他の固定資産については、その他の固定資産と特定資産に分けて表示しています。

## 財務比率

財務比率は、計算書の科目間の比率を算出して、経年変化の追跡や全国平均との比較を行い、財政状況の分析に利用するものです。表9、表10は本学と全国平均の比較です。

事業活動収支計算書(2014年度以前は消費収支計算書)関係比率について本学の指標値を全国平均と比較すると、学生生徒等納付金比率は高く、補助金比率は低めで、学費への依存度が高い収入構造となっています。経費に関する比率では、低い方がよいとされる人件費比率は全国平均をやや上回っていますが、管理経費比率は全国平均内にあります。また、教育研究経費比率は教育研究の充実度を表し、高いほうが望ましいとされており、本学は全国平均をわずかながら上回っています。

学校法人は事業活動収支差額の中から基本金組入額を賄うため、事業活動収支差額比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面での将来的な余裕につながるものとされています。本学では、2016年度までは比率が低下傾向にありましたが、近年は持ち直しており、2020年度は7.5%、2021年度は7.9%と

なっております。

貸借対照表関係比率では、固定比率で土地、施設設備などの固定資産が自己資金で賄えているかどうかを見ます。負債比率や総負債比率は、自己資金に対する負債、すなわち他人資金の割合です。また、基本金比率は、基本金組入の対象となる資産に対して組入れ済みの基本金がどれだけあるかを示すものです。

流動比率は、各種引当特定資産の充実と資金運用の効率化を図りつつ、安定的に200%以上を保っています。また、新規建設事業は借入金に依存せず自己資金で行っており、基本金比率はほぼ100%に近い数値を保っています。

教育の質向上をより一層推進するための教学改革を収支均衡の範囲内で継続的に行う「フローの安定化」と自己資金の安定的確保、基本金の増額、借入金等外部負債の減少を実現する「ストックの充実」の両立、すなわち、健全な財政運営を通じて強固な財政基盤を確立する過程が、各計算書類はもとより財務比率の推移にも表れています。

表9 消費収支計算書関係比率(2014年度以前) (単位%)

| 項目         | 算式(×100)          | 評価指標 | 2012 |      |      | 2013 |      |      | 2014 |      |      |
|------------|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|            |                   |      | 2012 | 2013 | 2014 | 2012 | 2013 | 2014 | 2012 | 2013 | 2014 |
| 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金<br>帰属収入  | -    | 77.6 | 77.5 | 79.2 |      |      |      |      |      |      |
| 寄付金比率      | 寄付金<br>帰属収入       | ↑    | 2.3  | 1.5  | 1.4  |      |      |      |      |      |      |
| 補助金比率      | 補助金<br>帰属収入       | ↑    | 10.1 | 11.7 | 10.2 |      |      |      |      |      |      |
| 人件費比率      | 人件費<br>帰属収入       | ↓    | 48.9 | 49.4 | 51.0 |      |      |      |      |      |      |
| 教育研究経費比率   | 教育研究経費<br>帰属収入    | ↑    | 35.4 | 35.8 | 37.4 |      |      |      |      |      |      |
| 管理経費比率     | 管理経費<br>帰属収入      | ↓    | 4.6  | 4.7  | 4.9  |      |      |      |      |      |      |
| 帰属収支差額比率   | 帰属収入-消費支出<br>帰属収入 | ↑    | 10.0 | 8.8  | 6.3  |      |      |      |      |      |      |

評価指標: ↑高い値がよい ↓低い値がよい

全国平均:「今日の私学財政」(日本私立学校振興・共済事業団)による医歯系法人を除く2020年度数値

事業活動収支計算書関係比率(2015年度以降) (単位%)

| 項目         | 算式(×100)                | 評価指標 | 2015 |      |      |      |      |      |      |      | 2021 |  | 全国平均 |
|------------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|------|
|            |                         |      | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2021 |      |  |      |
| 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金<br>経常収入        | -    | 80.7 | 82.5 | 80.7 | 81.6 | 81.0 | 80.5 | 80.3 | 74.4 |      |  |      |
| 寄付金比率      | 寄付金<br>事業活動収入           | ↑    | 1.2  | 1.3  | 1.8  | 1.4  | 2.1  | 1.6  | 2.1  | 2.3  |      |  |      |
| 補助金比率      | 補助金<br>事業活動収入           | ↑    | 9.7  | 8.4  | 8.7  | 8.5  | 8.4  | 10.6 | 10.2 | 14.1 |      |  |      |
| 人件費比率      | 人件費<br>経常収入             | ↓    | 51.9 | 53.0 | 53.3 | 52.9 | 53.7 | 52.5 | 52.1 | 51.8 |      |  |      |
| 教育研究経費比率   | 教育研究経費<br>経常収入          | ↑    | 38.6 | 38.2 | 36.8 | 36.9 | 35.6 | 34.9 | 35.7 | 35.2 |      |  |      |
| 管理経費比率     | 管理経費<br>経常収入            | ↓    | 5.1  | 4.8  | 4.8  | 5.2  | 4.8  | 5.0  | 5.2  | 8.2  |      |  |      |
| 事業活動収支差額比率 | 基本金組入前当年度収支差額<br>事業活動収入 | ↑    | 5.4  | 4.3  | 5.8  | 5.2  | 5.3  | 7.5  | 7.9  | 5.2  |      |  |      |

表10 貸借対照表関係比率(2014年度以前) (単位%)

| 項目       | 算式(×100)       | 評価指標 | 2012  |       |       | 2013 |      |      | 2014 |      |      |
|----------|----------------|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
|          |                |      | 2012  | 2013  | 2014  | 2012 | 2013 | 2014 | 2012 | 2013 | 2014 |
| 固定比率     | 固定資産<br>自己資金   | ↓    | 101.4 | 100.3 | 100.8 |      |      |      |      |      |      |
| 自己資金構成比率 | 自己資金<br>総資金    | ↑    | 87.6  | 88.0  | 88.3  |      |      |      |      |      |      |
| 流動比率     | 流動資産<br>流動負債   | ↑    | 201.9 | 215.2 | 207.2 |      |      |      |      |      |      |
| 負債比率     | 総負債<br>自己資金    | ↓    | 14.2  | 13.6  | 13.2  |      |      |      |      |      |      |
| 総負債比率    | 総負債<br>総資産     | ↓    | 12.4  | 12.0  | 11.7  |      |      |      |      |      |      |
| 基本金比率    | 基本金<br>基本金要組入額 | ↑    | 99.4  | 99.5  | 99.7  |      |      |      |      |      |      |

評価指標: ↑高い値がよい ↓低い値がよい

全国平均:「今日の私学財政」(日本私立学校振興・共済事業団)による医歯系法人を除く2020年度数値

貸借対照表関係比率(2015年度以降) (単位%)

| 項目      | 算式(×100)       | 評価指標 | 2015  |       |       |       |       |       |       |       | 2021 |  | 全国平均 |
|---------|----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|--|------|
|         |                |      | 2015  | 2016  | 2017  | 2018  | 2019  | 2020  | 2021  | 2021  |      |  |      |
| 固定比率    | 固定資産<br>純資産    | ↓    | 100.6 | 100.3 | 98.6  | 98.5  | 97.6  | 96.8  | 96.0  | 98.2  |      |  |      |
| 純資産構成比率 | 純資産<br>負債+純資産  | ↑    | 88.3  | 88.6  | 89.0  | 89.4  | 89.6  | 89.7  | 89.8  | 87.9  |      |  |      |
| 流動比率    | 流動資産<br>流動負債   | ↑    | 201.9 | 210.8 | 240.6 | 247.7 | 263.1 | 270.2 | 281.8 | 256.6 |      |  |      |
| 負債比率    | 総負債<br>純資産     | ↓    | 13.2  | 12.8  | 12.3  | 11.9  | 11.6  | 11.5  | 11.4  | 13.8  |      |  |      |
| 総負債比率   | 総負債<br>総資産     | ↓    | 11.7  | 11.4  | 11.0  | 10.6  | 10.4  | 10.3  | 10.2  | 12.1  |      |  |      |
| 基本金比率   | 基本金<br>基本金要組入額 | ↑    | 99.7  | 99.7  | 99.9  | 99.9  | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 97.2  |      |  |      |

## 学校別の状況

各学校の収支状況を表11「法人総合事業活動収支計算書 学校別内訳表」によって説明します。

大学では、教育活動収入における寄付金、特別収入における資産売却差額などで予算額を上回り、事業活動収入計は417億4,200万円、前年度に比べて1.6%増となりました。

事業活動支出は、人件費および教育研究経費について、予算執行残などにより、総額では予算額を下回りましたが、事業活動支出計は383億4,200万円で、前年度に比べて3.4%増となりました。

以上により、基本金組入前当年度収支差額は34億円の収入超過となり、当年度収支差額は9,600万円の収入超過となりました。

女子大学では、事業活動収入計は前年度比1.6%増の106億5,500万円となりました。また、事業活動支出合計は95億2,600万円で前年度と比べ7.2%減と大きく減少していますが、これは、前年度は新学生寮の建設に合わせて利用停止した、旧学生寮の売却に伴う資産処分差額を特別収支で計上していたことによるものです。

以上により、基本金組入前当年度収支差額は11億2,900万円の収入超過となり、当年度収支差額は4億6,300万円の収入超過となりました。

各中学校・高等学校、小学校、国際学院、幼稚園について、事業活動収入の多くを占める学生生徒等納付金および経常費等補助金は、前年度とほぼ同額または増収となっており、安定的に確保できて

います。また、支出もほぼ前年度どおりで、基本金組入額となる大規模な施設設備整備は、香里中学校・高等学校におけるメディアセンター(真真館)建設工事が該当します。以上により、初等部および国際部を併設する国際学院では多額の支出超過が発生していますが、その他の各学校は、概ね収支のバランスを取ることができています。

### ■ 学校別内訳表について

この計算書は学校法人会計基準による事業活動収支内訳表の体裁をとりつつも、部門間のみなし配分を避け、内部取引の収支を明らかにする目的で、計算書の体裁および計上方法を一部変更しています。

すなわち、学校法人部門は大学に、新設学部等の開設前の収支は、それぞれの設置校に含めています。また、各中学校・高等学校は、中学校、高等学校の合計額で、大学附属の小学校、国際学院も独立した部門として表示しています。

さらに、各学校の建設事業資金に係る法人内での調達額およびその償還額は繰入金・繰入金(施設設備)に計上し、法人部勘定欄で相殺しています。また、内部取引の各校認識額は繰入金・繰入金に、法人に係る経費の各校分担額は分担金に計上し、内部勘定欄で相殺しています。これに加えて、特別会計として住宅資金貸付金会計を計上しています。

表11 2021(令和3)年度 法人総合事業活動収支計算書 学校別内訳表 (単位:百万円)

| 科目            | 大学      | 女子大学   | 中高    | 国際中高  | 香里中高  | 女子中高  | 小学校 | 国際学院  | 幼稚園 | 法人部勘定 | 住宅会計 | 内部勘定 | 総額      |
|---------------|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|------|------|---------|
|               | 収入の部    |        |       |       |       |       |     |       |     |       |      |      |         |
| 学生生徒等納付金      | 32,923  | 8,844  | 1,781 | 1,150 | 1,278 | 1,292 | 536 | 435   | 52  |       |      |      | 48,291  |
| 手数料           | 1,666   | 275    | 16    | 15    | 30    | 16    | 3   | 2     | 1   |       |      |      | 2,024   |
| 寄付金           | 506     | 437    | 31    | 22    | 6     | 16    | 31  | 9     | 9   |       |      |      | 1,067   |
| 経常費等補助金       | 3,408   | 740    | 531   | 304   | 557   | 427   | 115 | 71    | 16  |       |      |      | 6,169   |
| 付随事業収入        | 1,058   | 124    | 0     | 59    | 0     | 0     | 63  | 0     | 0   |       |      |      | 1,304   |
| 雑収入           | 697     | 102    | 49    | 39    | 10    | 1     | 1   | 5     | 1   |       |      |      | 905     |
| 繰入金(教育活動)     | 4       | 3      | 5     | 3     | 3     | 2     | 1   | 2     | 0   |       |      |      | △ 23    |
| 分担金           | 163     | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | △ 163   |
| 教育活動収入計       | 40,425  | 10,525 | 2,413 | 1,592 | 1,884 | 1,754 | 750 | 524   | 79  | 0     | 0    |      | △ 186   |
| 支出の部          |         |        |       |       |       |       |     |       |     |       |      |      |         |
| 人件費           | 20,727  | 4,767  | 1,482 | 1,041 | 1,106 | 1,088 | 481 | 595   | 46  |       |      |      | 31,333  |
| 教育研究経費        | 15,082  | 3,792  | 691   | 352   | 670   | 436   | 219 | 184   | 27  |       |      |      | 21,453  |
| 管理経費          | 1,972   | 831    | 69    | 98    | 72    | 32    | 13  | 43    | 2   |       |      |      | 3,132   |
| 徴収不能額等        | 31      | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | 31      |
| 繰入金(教育活動)     | 19      | 1      | 0     | 1     | 0     | 0     | 1   | 1     | 0   |       |      |      | △ 23    |
| 分担金           | 0       | 115    | 15    | 11    | 11    | 11    | 0   | 0     | 0   |       |      |      | △ 163   |
| 教育活動支出計       | 37,831  | 9,506  | 2,257 | 1,503 | 1,859 | 1,567 | 714 | 823   | 75  | 0     | 0    |      | △ 186   |
| 教育活動収支差額      | 2,594   | 1,019  | 156   | 89    | 25    | 187   | 36  | △ 299 | 4   | 0     | 0    |      | 3,811   |
| 収入の部          |         |        |       |       |       |       |     |       |     |       |      |      |         |
| 受取利息・配当金      | 261     | 100    | 5     | 2     | 4     | 4     | 2   | 1     | 1   |       |      |      | 390     |
| その他の教育活動外収入   | 0       | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | 0       |
| 繰入金(その他)      | 6       | 2      | 1     | 1     | 1     | 1     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | △ 12    |
| 教育活動外収入計      | 267     | 102    | 6     | 3     | 5     | 5     | 2   | 1     | 1   | 0     | 10   |      | △ 12    |
| 支出の部          |         |        |       |       |       |       |     |       |     |       |      |      |         |
| 借入金利息         | 0       | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | 0       |
| その他の教育活動外支出   | 0       | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | 0       |
| 繰入金(その他)      | 1       | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | 10      |
| 教育活動外支出計      | 1       | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | △ 11    |
| 教育活動外収支差額     | 266     | 102    | 6     | 3     | 5     | 5     | 2   | 1     | 1   | 0     | 0    |      | △ 1     |
| 経常収支差額        | 2,860   | 1,121  | 162   | 92    | 30    | 192   | 38  | △ 298 | 5   | 0     | 0    |      | △ 1     |
| 収入の部          |         |        |       |       |       |       |     |       |     |       |      |      |         |
| 資産売却差額        | 742     | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | 742     |
| その他の特別収入      | 308     | 28     | 6     | 41    | 25    | 30    | 1   | 1     | 0   |       |      |      | 440     |
| 繰入金(施設設備)     | 0       | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | 350     |
| 特別収入計         | 1,050   | 28     | 6     | 41    | 25    | 30    | 1   | 1     | 0   | 350   | 0    |      | △ 350   |
| 支出の部          |         |        |       |       |       |       |     |       |     |       |      |      |         |
| 資産処分差額        | 496     | 20     | 2     | 0     | 17    | 2     | 0   | 2     | 0   |       |      |      | 539     |
| その他の特別支出      | 14      | 0      | 0     | 0     | 2     | 2     | 0   | 7     | 0   |       |      |      | 25      |
| 繰入金(施設設備)     | 0       | 0      | 0     | 120   | 101   | 130   | 0   | 0     | 0   |       |      |      | △ 351   |
| 特別支出計         | 510     | 20     | 2     | 120   | 120   | 134   | 0   | 9     | 0   | 0     | 0    |      | △ 351   |
| 特別収支差額        | 540     | 8      | 4     | △ 79  | △ 95  | △ 104 | 1   | △ 8   | 0   | 350   | 0    |      | 1       |
| 予備費           | 0       | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0   |       |      |      | 0       |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 3,400   | 1,129  | 166   | 13    | △ 65  | 88    | 39  | △ 306 | 5   | 350   | 0    |      | 4,819   |
| 基本金組入額合計      | △ 3,304 | △ 666  | △ 22  | △ 21  | △ 100 | △ 5   | △ 9 | 0     | 5   |       |      |      | △ 4,122 |
| 当年度収支差額       | 96      | 463    | 144   | △ 8   | △ 165 | 83    | 30  | △ 306 | 10  | 350   | 0    |      | 697     |
| (参考)          |         |        |       |       |       |       |     |       |     |       |      |      |         |
| 事業活動収入計       | 41,742  | 10,655 | 2,425 | 1,636 | 1,914 | 1,789 | 753 | 526   | 80  | 350   | 10   |      | △ 548   |
| 事業活動支出計       | 38,342  | 9,526  | 2,259 | 1,623 | 1,979 | 1,701 | 714 | 832   | 75  | 0     | 10   |      | △ 548   |

## 中期財政目標および中期財政計画ならびにその達成状況

本法人では、中期財政目標および中期財政計画を定め、これに単年度の予算編成を組み合わせ、財政運営を行い、財政基盤の安定化に努めます。また、中期財政計画の達成状況については、毎年、点検・評価を行い、必要な見直しを行うとともに、次年度の予算編成に繋げていきます。

### 中期財政目標

本法人では、2025年度までの財政目標を次のとおり設定します。

#### 1) 事業活動収支差額比率

(基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入)

事業収支差額比率は、8%を目標とします。収入の拡大、支出の抑制等により、事業活動収支差額を確保し、将来は10%以上を目指します。

#### 2) 減価償却額の累計額に対する自己資金(減価償却引当特定資産等)の充足率

(自己資金(減価償却額の累計額-翌年度繰越収支差額)÷減価償却額の累計額)

減価償却額の累計額に対する自己資金の充足率について、80%以上を目標とします。これまで、充足率を高めてきましたが、引き続き向上させ、将来は繰越支出超過額の解消を目指します。

### 中期財政計画

#### 1) 収支均衡予算の編成

収入の多様化および支出抑制を進め、収支均衡した予算編成を行い、財政目標の達成を目指します。

#### 2) 収入の多様化

- ① 学生生徒等納付金収入については、入学定員どおりの学生、生徒、児童、園児数を見込みます。
- ② 寄付金収入については、大学の「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA募金」、女子大学の「同志社女子大学サポーターズ募金“ぶどうの樹”」、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の父母を対象とした募金を積極的に展開するとともに募金活動の見直し、点検、評価を行い、さらに効果的な募金活動を追求し、寄付金比率3%以上を目指します。
- ③ 補助金収入については、大学および女子大学を中心に近年の

補助金動向を見据え、増収に取組み、補助金比率10%以上を目指します。

- ④ 付随事業・収益事業収入については、大学および女子大学において、産学連携活動を積極的展開し、受託事業の拡大に繋がります。
- ⑤ 受取利息・配当金収入については、効率的な資金運用を行い、資金運用計画で定める利回りの確保を目指します。

#### 3) 支出の抑制

- ① 人件費については、人事制度の継続的な検討、見直しを行うとともに株式会社同志社エンタープライズの活用、業務委託の拡大等を進め、人件費比率について、全国平均以下を維持するように努めます。
- ② 事業経費については、過年度の執行状況等を勘案し、効果や実績等を勘案して、メリハリのある予算を維持します。
- ③ 施設設備整備(基本金組入)については、第2号基本金への組入や特定支出準備金への繰入を行い、計画的な整備を推進します。なお、借入は行いません。

### 今期の達成状況

#### 1) 事業活動収支差額比率

2025年度までの8%達成に向け、2021年度は7%以上を目標としていたところ、7.9%となり、目標を達成することができました(2019年度5.3%、2020年度7.5%)。

#### 2) 減価償却額の累計額に対する自己資金(減価償却引当特定資産等)の充足率

2025年度までの80%達成に向け、2021年度は72%以上を目標としていたところ、76.7%となり、目標を達成することができました(2019年度70.4%、2020年度72.7%)。

表12 2022(令和4)年度以降の収支見通し

(単位:百万円)

| 科目          |          | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度    | 科目       |               | 2022年度   | 2023年度   | 2024年度   | 2025年度   | 2026年度  | 2027年度  |
|-------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|----------|---------------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|
| 収入の部        | 学生生徒等納付金 | 47,990 | 49,390 | 49,677 | 49,802 | 49,818 | 49,818    | 特別収入の部   | 資産売却差額        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0       | 0       |
|             | 手数料      | 2,019  | 2,014  | 2,004  | 2,011  | 2,011  | 2,009     |          | その他の特別収入      | 292      | 253      | 253      | 253      | 153     | 153     |
|             | 寄付金      | 490    | 577    | 577    | 577    | 377    | 377       |          | 特別収入計         | 292      | 253      | 253      | 253      | 153     | 153     |
|             | 経常費等補助金  | 6,296  | 6,055  | 6,054  | 6,055  | 6,055  | 6,055     |          | 資産処分差額        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0       | 0       |
|             | 付随事業収入   | 1,222  | 1,141  | 1,141  | 1,141  | 1,141  | 1,141     |          | その他の特別支出      | 0        | 0        | 0        | 0        | 0       | 0       |
|             | 雑収入      | 1,322  | 1,222  | 1,155  | 1,112  | 1,376  | 1,183     |          | 特別支出計         | 0        | 0        | 0        | 0        | 0       | 0       |
|             | 教育活動収入計  | 59,339 | 60,399 | 60,608 | 60,698 | 60,778 | 60,583    |          | 特別収支差額        | 292      | 253      | 253      | 253      | 153     | 153     |
|             | 人件費      | 32,505 | 32,502 | 32,411 | 32,513 | 32,976 | 32,806    |          | 予備費           | 377      | 378      | 377      | 387      | 379     | 377     |
|             | 教育研究経費   | 22,955 | 23,345 | 23,057 | 23,109 | 23,530 | 23,084    |          | 基本金組入前当年度収支差額 | 1,032    | 1,856    | 2,435    | 2,354    | 1,450   | 1,857   |
|             | 管理経費     | 3,002  | 2,764  | 2,773  | 2,780  | 2,788  | 2,804     |          | 基本金組入額合計      | △ 2,831  | △ 3,716  | △ 3,752  | △ 3,622  | △ 3,661 | △ 3,514 |
| 徴収不能額等      | 19       | 14     | 14     | 14     | 14     | 14     | 当年度収支差額   | △ 1,799  | △ 1,860       | △ 1,317  | △ 1,268  | △ 2,211  | △ 1,657  |         |         |
| 教育活動支出計     | 58,481   | 58,625 | 58,255 | 58,416 | 59,308 | 58,708 | 前年度繰越収支差額 | △ 23,611 | △ 25,053      | △ 26,906 | △ 28,115 | △ 29,117 | △ 31,317 |         |         |
| 教育活動収支差額    | 858      | 1,774  | 2,353  | 2,282  | 1,470  | 1,875  | 基本金取崩額    | 357      | 7             | 108      | 266      | 11       | 0        |         |         |
| 受取利息・配当金    | 259      | 207    | 206    | 206    | 206    | 206    | 翌年度繰越収支差額 | △ 25,053 | △ 26,906      | △ 28,115 | △ 29,117 | △ 31,317 | △ 32,974 |         |         |
| その他の教育活動外収入 | 0        | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 事業活動収入計   | 59,890   | 60,859        | 61,067   | 61,157   | 61,137   | 60,942   |         |         |
| 教育活動外収入計    | 259      | 207    | 206    | 206    | 206    | 206    | 事業活動支出計   | 58,858   | 59,003        | 58,632   | 58,803   | 59,687   | 59,085   |         |         |
| 借入金利息       | 0        | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | (参考)      |          |               |          |          |          |          |         |         |
| その他の教育活動外支出 | 0        | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |           |          |               |          |          |          |          |         |         |
| 教育活動外支出計    | 0        | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |           |          |               |          |          |          |          |         |         |
| 教育活動外収支差額   | 259      | 207    | 206    | 206    | 206    | 206    |           |          |               |          |          |          |          |         |         |
| 経常収支差額      | 1,117    | 1,981  | 2,559  | 2,488  | 1,676  | 2,081  |           |          |               |          |          |          |          |         |         |

## 資金運用の状況

資金運用については、法人内に資金運用委員会を設置し、資金運用関連規程に従って行っており、さらに2020年度からは中・長期的な資金運用の指針として定めた「同志社資金運用基本方針」に基づく運用を導入しています。本方針では、資金運用は、安定的な財政基盤を構築し、建学の精神に基づいた「良心教育」を基軸に教育研究活動を継続的に展開していくため、中長期財政計画に基づく所要の運用収入の確保を目的とすることとしています。特に、第3号基本金引当特定資産と減価償却引当特定資産については運用利回り目標を定め、従来の自家運用に加えて一定範囲内で投資一任契約による委託運用を導入するとともに、資金の運用および管理を適切に行うことができるよう、意思決定プロセスの透明化に配慮した、具体的な運用

方法や管理体制等を定めています。新型コロナウイルス感染症の流行や欧米の金融政策の転換、国際情勢の変化等により金融市場に動揺も見られましたが、本方針に沿った金融商品選定を通じた、安定的な運用収入の確保を目指し、2021年度の第3号引当特定資産運用収入は2億3,100万円となりました。また、2021年度末時点の委託運用全体の評価損益は6億9,300万円のプラスとなっています。

なお、資金運用委員会においては、運用助言会社の助言も得ながら、運用計画の立案、運用状況の管理および運用成果の点検を行い、その内容を理事会に報告しています。引き続き、短期的な市場の動向に左右されることなく、適正なリスク管理に基づく資金運用を進めます。

## 2022年度事業計画

学校法人同志社(以下「法人」という。)は、創立以来、建学の精神を高く掲げ、良心を手腕に運用する人物を社会に送り出す努力を続けてきました。社会全体が新型コロナウイルス感染症対策に翻弄される状況の中、法人内各学校・幼稚園(以下「各学校」という。)は、オンライン授業実施や家計が急変した在学生への緊急支援など、学生・生徒・児童・園児がより良い教育環境で学業を継続できるよう、必要な取組みを積極的に進めています。同志社大学及び同志社女子大学においては、引き続き厳格な入学定員管理にも留意しなければなりません。

このような厳しい環境の下にあっても、本法人は、高い志を持ち、不断の挑戦を続ける人物を養成すべく、建学の精神に基づいた良心教育を基軸に教育研究活動の高度化、活性化を目指します。

2022年度に法人及び各学校が実施する主な事業を説明します。

### 【キリスト教主義・自由主義・国際主義】

法人では、各学校及び関係部課と調整を図り、同志社礼拝堂、神学館礼拝堂、クラーク記念館礼拝堂、栄光館、新島記念講堂、各学校礼拝堂の情報環境を整備し、各学校のキリスト教関連行事(祈禱会、礼拝、チャペルアワー等)、式典、結婚式等を通じて同志社のキリスト教主義を学生、教職員はもちろん保護者、卒業生及び社会に向けて積極的に発信します。

同志社大学では、ACUCA(Association of Christian Universities and Colleges in Asia。アジアのキリスト教主義大学22校によりキリスト教主義教育の質の向上と相互連携を目的に1976年6月設立。2022年1月現在、9か国・地域の69機関が加盟。日本では15大学が加盟)全体の副幹事校及び日本委員会幹事校を2022年1月から務めており、さらに2024年1月からはACUCA全体の幹事校を務めます。キリスト教主義、国際主義の進展を図るとともに、引き続き、アジア地域における本学の存在感の向上を目指します。

また、2021年4月に発足した同志社大学ダイバーシティ推進委員会では、大学組織及び各教職員に対し、ダイバーシティに関するアンケートを実施しました。今年度は、そのアンケート結果をもとに、ダイバーシティ推進に係る具体的な施策について検討し、実施します。さらに、科学技術人材育成費補助事業である「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」への採択を受け、チュービンゲン大学やハーバード大学等の調査を行い、私立大学の強みを生かしたダイバーシティ推進モデルの構築を目指します。国際主義の推進として、昨年度掲げた「同志社大学創立150周年記念事業-「国際主義」の深化に向けた「人を植ゆる」の事業-」の計画に基づき、例えば、AKP(Associated Kyoto Program)50周年記念事業の実施により、より強固な関係構築を目指すなど、国際連携に係る取組みを推進します。

新型コロナウイルス感染症の影響により海外留学及び外国人留学生の受け入れが制限される状況においても、グローバルマインドの涵養が可能となるよう、オンラインを駆使した共修環境を実現します。

同志社女子大学では、従来の国際交流プログラムに加え、近年拡大したアジアの協定校を中心に、オンラインを活用した学生交流などを進めます。

### 【危機管理及びリスク管理】

法人では、危機管理については、法人及び各学校でそれぞれに「緊急対策本部規程(又は内規)」を制定し、緊急かつ重大な事態が発生した場合は、それぞれで直ちに「緊急対策本部」を設置し、理事長の下に各学校長が必要な措置がとれるよう、危機管理体制を整えています。新型コロナウイルス感染症拡大の状況においても、法人及び各学校はこの体制に基づき必要な措置をとってきましたが、事案を問わず緊急事態はいつでも起こりうるとの認識の下、法人全体としてより迅速かつ適切に対応することができるよう、法人全体で課題を共有します。

リスク管理については、法人及び各学校でそれぞれに「リスク管理

本部規程(又は内規)」を制定し、教育研究と管理運営を阻害する事態の発生を未然に防ぐために「リスク管理本部」を設置しています。また、法人の「リスク管理本部」と各学校長との間で「リスク管理連絡会」を組織しています。

特に、自然災害への対応については、危機管理担当の常務理事を中心に各学校における防災マニュアルの整備状況、備品・備蓄品の整備状況、防火・防災訓練の実施状況に関する情報を収集し、各学校との情報交換を密にし、法人全体の危機管理体制及びリスク管理体制の強化を図ります。

法人では、2021年12月9日付で同志社リスク管理本部の下に実施チームを設置し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び重症化予防のために、新型コロナワクチン追加接種(3回目接種)に係る職域接種を実施することを決定しました。2022年3月から5月にかけて今出川、京田辺キャンパス両会場で職域接種を実施します。

同志社大学では、全学防災訓練について、昨年度の今出川キャンパスでの実施結果を踏まえ、秋学期に京田辺キャンパスで実施します。

同志社女子大学では、今出川・京田辺両キャンパスにおいて、全学防災訓練を同時開催します。

同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社女子中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社小学校、同志社国際学院及び同志社幼稚園では、従来から行ってきた全校生徒、児童、園児を対象とした避難訓練を実施すると同時に、大規模災害発生時の備蓄品を準備します。

### 【ガバナンス強化】

法人では、理事長を補佐する常務理事を置き、常務理事による実効的な職務執行体制を構築することにより、理事長がより機動的かつ適切に学校法人の業務を統括できる体制を整えています。常務理事は、理事長の下で、法務、教学、一貫教育、将来構想、経営企画、危機管理、総務、施設、財務、広報、株式会社同志社エンタープライズ等を分担し、各常務理事の担当は理事長が決することとしています。常務理事が担当業務を円滑に執行するために、当該業務を所管する法人部及び大学の所管部長がこれを補佐する体制を構築しています。

このようなガバナンス体制の下、2020年4月施行の改正私立学校法では、学校法人同志社寄附行為一部変更等を通じ、役員・責任の明確化、理事・理事会機能の実質化、評議員会機能の実質化、監事監査体制の強化等を図ってきました。さらに昨年度には、一般社団法人日本私立大学連盟の「私立大学ガバナンス・コード」に準拠する旨を決定し、遵守状況を公表しました。本年度も経営方針や取組姿勢を自主的に点検し、健全な発展に繋げていきます。

### 【教育研究】

法人では、2022年4月から同志社一貫教育委員会を同志社一貫教育探求センターに統合します。総長が委員長を務め、各学校長等が委員となる同志社一貫教育探求センター会議を新たに設置して各学校間の連携を一層強化するとともに、これまで同志社一貫教育委員会が実施してきた同志社研修・交流会、同志社合同学校説明会、授業公開(授業見学会)等は同志社一貫教育探求センターが引き続き実施します。

同志社大学では、コロナ禍の経験により改めて見出すことができた、対面授業とネット配信授業それぞれの利点を学生が最大限享受できるよう、教室のマルチメディア環境整備に加え、授業動画配信のためのストリーミングメディアシステムのリプレースを行います。さらに、定期的に行っているインフラ系情報システムのリプレースにより、情報環境を一層充実します。

学部教育においては、社会の要請に応えるべく、数理・データサイエンス・AIに関する新たな教育プログラムとして、「同志社データサイエンス・AI教育プログラム」(DDASHディーダッシュ:Doshisha Approved

## 2022年度事業計画

Program for Data science and AI Smart Higher Education)を開始します。また、これまでの英語教育の伝統をさらに発展させ、習熟度別クラス編成の拡充、少人数クラス体制など、多様化する学生のニーズにフレキシブルに対応し、自律した外国語学習者を育てるべく、新たな英語のカリキュラムを開始します。

大学院教育においては、Society 5.0、環境、多文化共生、イノベーション等の社会的、世界規模的課題をテーマに、大学院学生の多様なキャリア形成に資する教育プログラムの充実を図ると共に、前年度4月に開設した「アドバンス・リベラルアーツ科目群」を共同研究の連携企業等に開放し、教育における社会連携を推進します。

研究に関しては、特定課題に向けて全学の研究力を結集する「All Doshisha Research Model 2025」を構築し、初の事業である「COVID-19 Research Project」に続き、今年度は「諸君ヨ、一人ハ大切ナリ」同志社大学SDGs 研究」プロジェクトを実施します。さらに研究機関や企業との世界規模での連携を目指し、脱炭素化社会を実現するイノベーターの育成にも取り組むべく、2021年6月に設置した「カーボンサイクル教育研究プラットフォーム」に参加する企業等を募り、情報交換、技術検討を進め、社会実装に向けた枠組みの形成と共同研究を実施します。

同志社女子大学では、より効果的な遠隔授業の在り方を探求するために、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とし、遠隔授業を学科毎に選定、実施します。また、遠隔授業の実施形態を「双方向オンライン型」授業も含めて、限定しないこととしました。加えて、今出川・京田辺両キャンパスで開講されている科目を2キャンパス間接続することで、他キャンパスで開講されている対面授業を「遠隔」で受講することができるようにします。さらに、共通学芸科目区分に「データサイエンス基礎」を開設し、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に準拠した全学的な数理・データサイエンス・AI教育を実施します。

同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社女子中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社小学校、同志社国際学院及び同志社幼稚園では、2022年度から年次進行で実施される、高等学校の学習指導要領の改訂に対応した教育活動を展開します。また、国のGIGAスクール構想の進展状況を踏まえつつ、各学校の教育方針に沿った形でICTを活用した教育活動を展開します。

## 【学生・生徒・児童・園児の支援】

法人では、2020年6月に開始した「新型コロナウイルス感染症に伴う在学学生支援募金」を継続し、同志社教育を受けることを希望し入学した在学生が経済的な事情によって失意のうちに学校生活を終えることがないよう、各学校を通じて支援金を給付します。

各学校では、学生・生徒・児童・園児が安心して勉学に専念できるよう、各学校独自の修学支援のための奨学金制度を継続します。同志社大学及び同志社女子大学では、2020年度から新たに開始された国の「高等教育の修学支援新制度」に基づく支援を継続します。

同志社大学では、2021年4月に設置した「スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室」において、身体、精神等の障がいや、多様な性別や性的指向・性自認をもつ学生が、学生生活を送るうえで必要かつ適切な支援と機会を得られるよう、全学的協力体制を推進します。また、増加の一途を辿る学生相談に対応するため、カウンセラーの勤務日数増や新たなカウンセリングルームの整備を行い、カウンセリング体制を充実します。

2021年9月に入寮を開始した教育寮である継志寮では、地域社会との関わり等を通じた実践学習に参加し、その成果の発表や振り返りを通して自己の成長を確認する取組みとして Residential Learning Program (RLP)を設けており、2022年度から本格的に活動を開始します。また、新型コロナウイルス感染症への対応として、2020年度から設定

した同志社大学奨学金の特別採用枠での学生への経済的支援を継続します。

同志社女子大学では、2020年度に開寮した京田辺キャンパス「いづみ寮」及び両キャンパスに開設した「障がい学生サポートセンター」の運営について検証・改善を行い、支援内容を更に充実します。

同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社女子中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校では、各学校の実情に応じて特別支援教育コーディネーターやカウンセラーを効果的に配置し、生徒を支援します。

## 【学生・生徒・児童・園児の受け入れ】

法人では、少子化問題に直面し、受験者の獲得が年を追って厳しくなる状況は、各学校に共通する克服すべき課題であるとの認識の下に、同志社一貫教育探求センター運営委員会の下に設置された実行部会を中心に合同学校説明会を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて2020年度以降いくつかの学校で取り組んでいるオンライン進学相談会など、従来の枠組みに捉われない新たな学生募集活動の手法を各学校で広く活かすことができるよう支援します。

## 【人事厚生】

法人では、各学校の人事計画に基づき、以下の人員数(専任教職員)を基礎として教職員に係る人件費を計上し、各学校の運営にあたります。

(単位:人)

|                   | 教員             |               | 職員             |               | 2022年度<br>予算人数 |     |
|-------------------|----------------|---------------|----------------|---------------|----------------|-----|
|                   | 2021年度<br>予算人数 | 採用・退職等の<br>増減 | 2021年度<br>予算人数 | 採用・退職等の<br>増減 |                |     |
| 同志社大学             | 642            | △23<br>+24    | 643            | 345           | △5<br>+6       | 346 |
| 同志社女子大学           | 122            | △2<br>+5      | 125            | 78            | △3<br>+3       | 78  |
| 同志社<br>中学校・高等学校   | 86             | △3<br>+2      | 85             | 11            | -              | 11  |
| 同志社香里<br>中学校・高等学校 | 68             | △1<br>+1      | 68             | 8             | -              | 8   |
| 同志社女子<br>中学校・高等学校 | 64             | -             | 66             | 9             | -              | 9   |
| 同志社国際<br>中学校・高等学校 | 56             | △1<br>+1      | 56             | 7             | △1<br>+1       | 7   |
| 同志社小学校            | 27             | △1<br>+1      | 27             | 2             | -              | 2   |
| 同志社国際学院           | 24             | △2<br>-       | 22             | 3             | -              | 3   |
| 同志社幼稚園            | 4              | -             | 4              | -             | -              | -   |

また、人事労務管理に係るコンプライアンスの徹底に向け、2022年4月1日から順次施行される改正育児・介護休業法への対応を適切に行うとともに、小中高教員の労働時間把握に向けた取組みを進めます。

同志社大学では、ワークフローの導入、Web会議やリモートワークでの活用を踏まえた事務用パソコンのノート型へのリプレース等、ICT活用による業務効率化をさらに推進します。

同志社女子大学では、大学運営における様々な分野でのデジタル化・ペーパーレス化をさらに推進し、業務の合理化・最適化に取り組みます。電子決裁システムで取り扱う文書の対象を挙げ、新たに文書管理システムを導入するほか、各種会議のオンライン化を推進します。

同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社女子中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校では、2022年4月から施行する中学校・高等学校部活動指導員規程を活用し、課外活動を含めた学校運営の安定と適正な労働環境構築の両立に取り組みます。

## 【施設設備】

同志社大学では、今出川キャンパスにおいて、2020年度に策定した「耐震化計画」に基づき、寧静館、育真館の改築、待辰館の耐震改修

工事を行うほか、2022年度・2023年度の2か年での今出川キャンパス正門周り整備工事に着手します。また、2025年度中の竣工を目指し、新図書館の設計を進めます。京田辺キャンパスでは、キャンパスリニューアル事業としてのデバイス記念館天井等改修工事及び過年度から計画的に実施しているトイレ改修工事に加え、新型コロナウイルス感染症対応として真知館1号館及び3号館への換気設備設置工事を進め、さらにはスポーツコンプレックス事業に着手します。

同志社女子大学では、2019年度に策定した「キャンパス営繕計画」に基づき、新型コロナウイルス感染症対策に重点を置いて、知徳館、友和館及び新島記念講堂の湿式トイレの乾式化を進めます。また、大規模災害に対する施設設備の安全性向上対策としての非構造部材の耐震改修では、今出川キャンパスのブロック塀への対策を行います。

同志社中学校・高等学校では、ICT教育を促進すべく、図書館、メディアセンターや教室の情報機器リニューアルを図り、ハード面、ソフト面を一層充実します。また、照明のLED化に加え、人工芝グラウンド、テニスコート、校舎の整備を計画します。

同志社香里中学校・高等学校では、60周年記念事業で建設された施設の補修に着手します。自然災害で被害を受けたプール屋根、防災設備の充実、天文台の設置などを含め、長期修繕・改修計画に基づく整備を進めます。

同志社女子中学校・高等学校では、より安全で快適な教育環境を保つため、新生館の改修を計画的に行います。また、ICT教育を促進するために、映像配信システム及びネットワーク設備を更新します。

同志社国際中学校・高等学校では、体育館(望雲館)への空調設備設置工事やコミュニケーションセンターのトイレ改修工事を行います。

同志社小学校では、チャペルコートの外壁や放送室を整備します。

同志社国際学院では、開校12年目を迎えて老朽化した各施設設備等について、順次適切に更新、修繕等を行います。

各学校の主要な施設設備整備は上述のとおりですが、ICT教育の促進と新型コロナウイルス感染症に対応した施設設備の整備は引き続き各学校に共通する喫緊の課題であり、前者においては情報機器の整備やネットワーク環境の充実、後者においては空調機器の整備やトイレの改修を各学校の施設設備の現状に即して実施します。

## 【財政】

法人では、中期財政目標及び中期財政計画を定め、これに単年度の予算編成を組み合わせる財政運営を行い、財政基盤の安定化を図ります。また、中期財政計画の達成状況については、毎年、点検・評価を行い、必要な見直しを実施して、次年度の予算編成に繋がります。

## 1. 2022年度財政目標

法人では、「学校法人同志社の中長期財政計画」において2025年度までの財政目標を定め、事業活動収支差額比率10%以上、当面は8%以上、減価償却額の累計額に対する自己資金の充足率80%以上の達成を目指しています。これの達成に向け、2022年度は、事業活動収支差額比率は8%以上、また、減価償却額の累計額に対する自己資金の充足率については、74%以上を目標とします。

## 2. 2022年度予算

## (1) 収入の拡大

- ① 学生生徒等納付金については、入学定員どおりの学生、生徒、児童、園児の確保を重点事項として位置づけ、安定的な財源確保を図ります。
- ② 寄付金については、法人において「同志社創立150周年記念事業募金」を推進します。また、各学校では、「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」、「同志社女子大学サポーターズ募金 “ぶどうの樹”」、高等学校、中学校、小学校、幼稚園の父母を

対象とした募金を積極的に展開します。

③ 補助金については、同志社大学及び同志社女子大学の私立大学等経常費補助金並びに高等学校等の運営費補助金等について、補助金の動向を勘案し、増収に積極的に取り組みます。

④ 付随事業・収益事業収入については、同志社大学において産学連携活動をより積極的に展開し、受託事業収入の増収を図ります。

⑤ 受取利息・配当金については、委託運用の活用を含め、効率的な資金運用を推進し、収入の拡大に努めます。特に、第3号基本金引当特定資産運用収入の利回り確保に重点的に取り組みます。

## (2) 支出の抑制

① 人件費については、新規採用・補充人事を慎重に行った上での各学校の人事計画に基づく所要額を計上します。

② 事業費については、2020年度事業を対象にして実施した事業計画の成果の検証結果も踏まえて、各学校の教育研究推進に必要な事業項目を厳選の上、計上します。

## (3) 基本金の組入

① 施設設備整備及び教育研究環境の充実に向け、同志社大学、同志社女子大学及び同志社香里中学校・高等学校においては、年次計画に基づく第2号基本金への組入を行います。

② 奨学事業の更なる充実に向け、同志社大学においては、第3号基本金(同志社大学奨学金基金)への組入を行います。

## 【広報】

法人では、法人広報と大学広報との連携の緊密化、また、同志社一貫教育探求センターを中心に同志社一貫教育の対外発信及び各学校の入試広報支援に取り組みます。

同志社大学では、広報の重要なツールであるホームページについて、2022年度から2023年度にかけて全面的にリニューアルします。また、大学案内を閲覧できる環境を拡充するためスマホアプリを作成し、受験生や本学に関心を寄せる方が情報を容易に入手できる環境を構築します。

同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社女子中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社小学校、同志社国際学院及び同志社幼稚園では、昨今のSNSによる情報発信の重要性に鑑み、ICT化及びホームページのリニューアルを計画的に推進します。

## 【記念事業】

法人では、創立150周年記念事業事務局を設置し、「150年に亘って積み重ねられてきた歴史を把握し、後世に伝えること」「同志社の現況を建学の精神、教育の理念に照らし合わせて検証すること」「200周年に向かって関係者が一丸となって新たなステップを踏み出すこと」をその意義に掲げ、同志社創立150周年記念事業委員会の下、2021年度から2026年度を実施期間として、様々な記念事業(ロゴマークの作成、記念ソングの作詞・作曲、記念式典、アメリカグレイス教会における記念礼拝の開催、記念映像の創作、記念ホームページの作成及びYouTube・SNS等を活用した情報発信、講演会・シンポジウムの全国開催、展示会の開催、募金事業等)に取り組みます。

2022年度は、同志社創立150周年記念イベントDoshisha New Dayの開催、新島襄寄港の地碑建立30周年記念イベントの開催(青森県風間浦村)、同志社・新島かるたの制作、同志社オリジナル賛美歌の制作、同志社手話の造語等の事業に取り組みます。

また、「同志社百五十年史」については、同編纂委員会が順調に編纂作業を進めており、まずは第3巻「部局編」について、各学校長、各部館所長及び関係団体宛に執筆協力を依頼し、2023年3月には各部門からの原稿を取り纏めます。



学校法人 同志社

学校法人 同志社 事業報告書2021  
The Doshisha Social Responsibility Report 2021

発行日：2022年5月28日  
学校法人 同志社  
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
<http://www.doshisha.ed.jp/>